

南米調査資料

生産調査會

026929-000-3

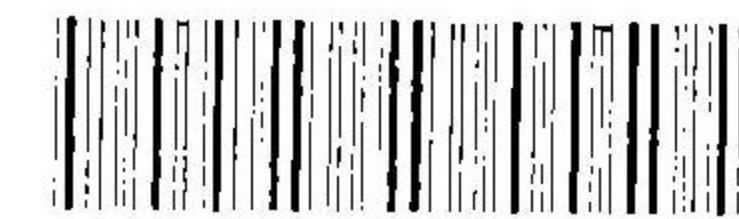
特20-765

南米調査資料

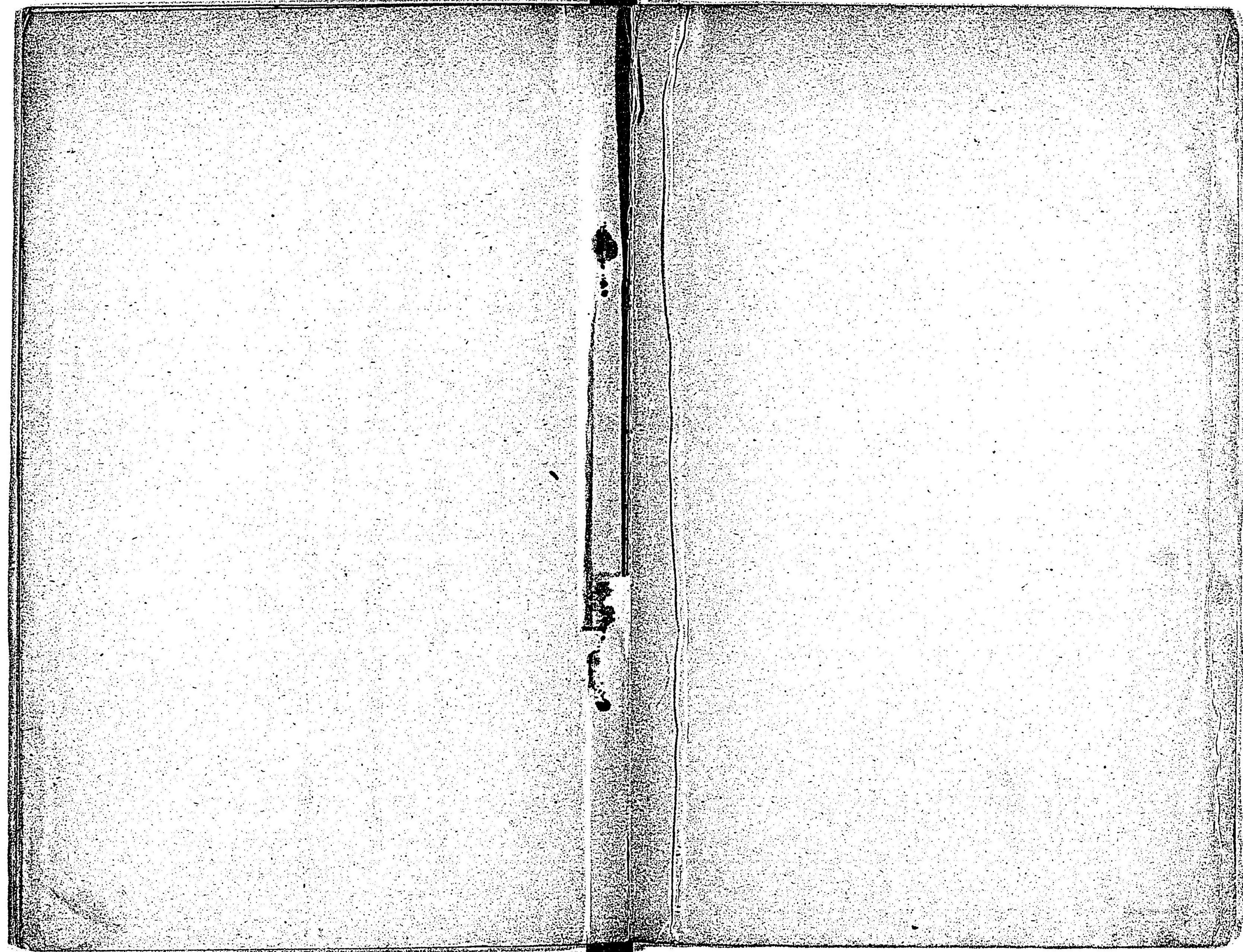
生産調査會

M44

ADG-0049





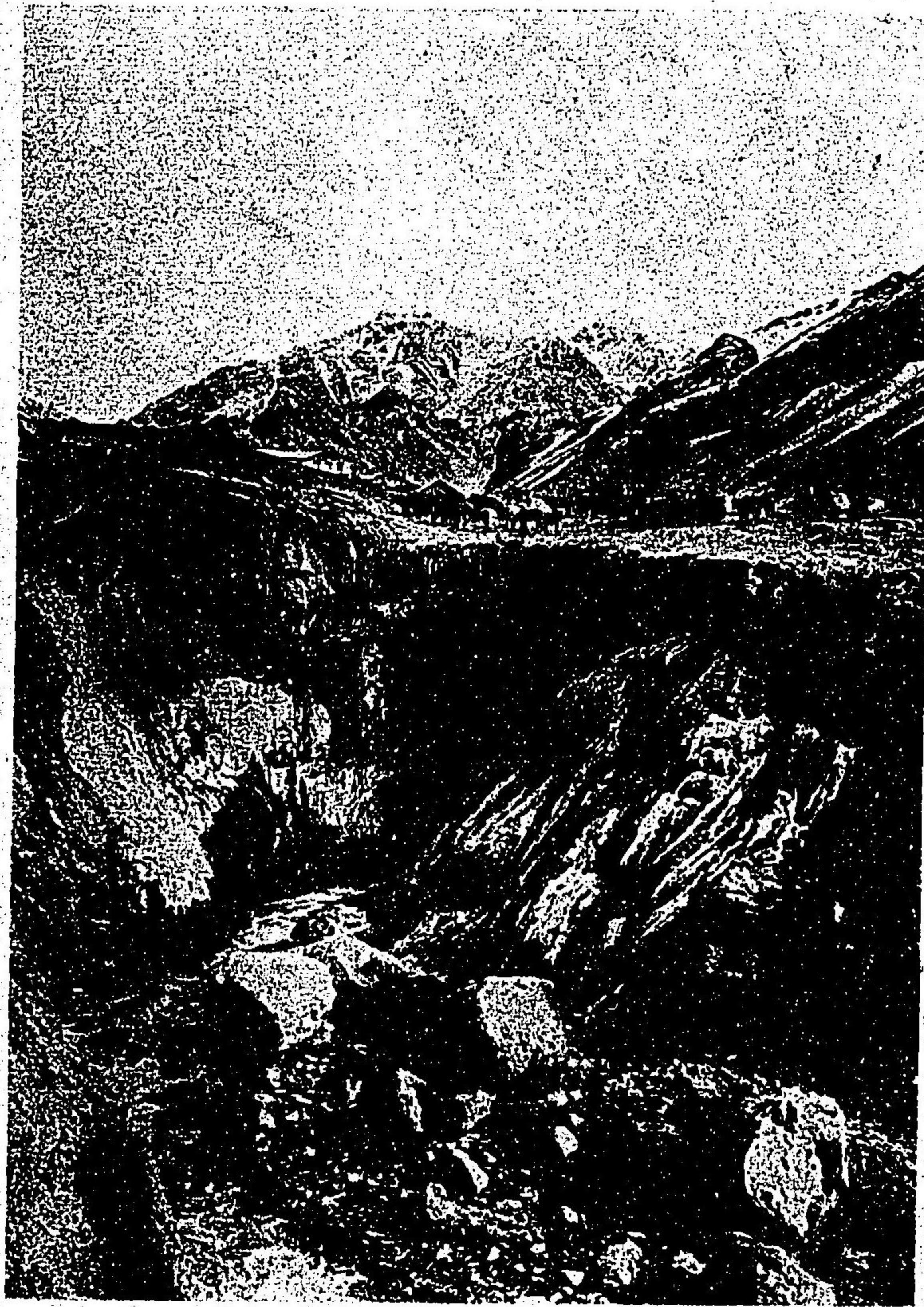




凡 例

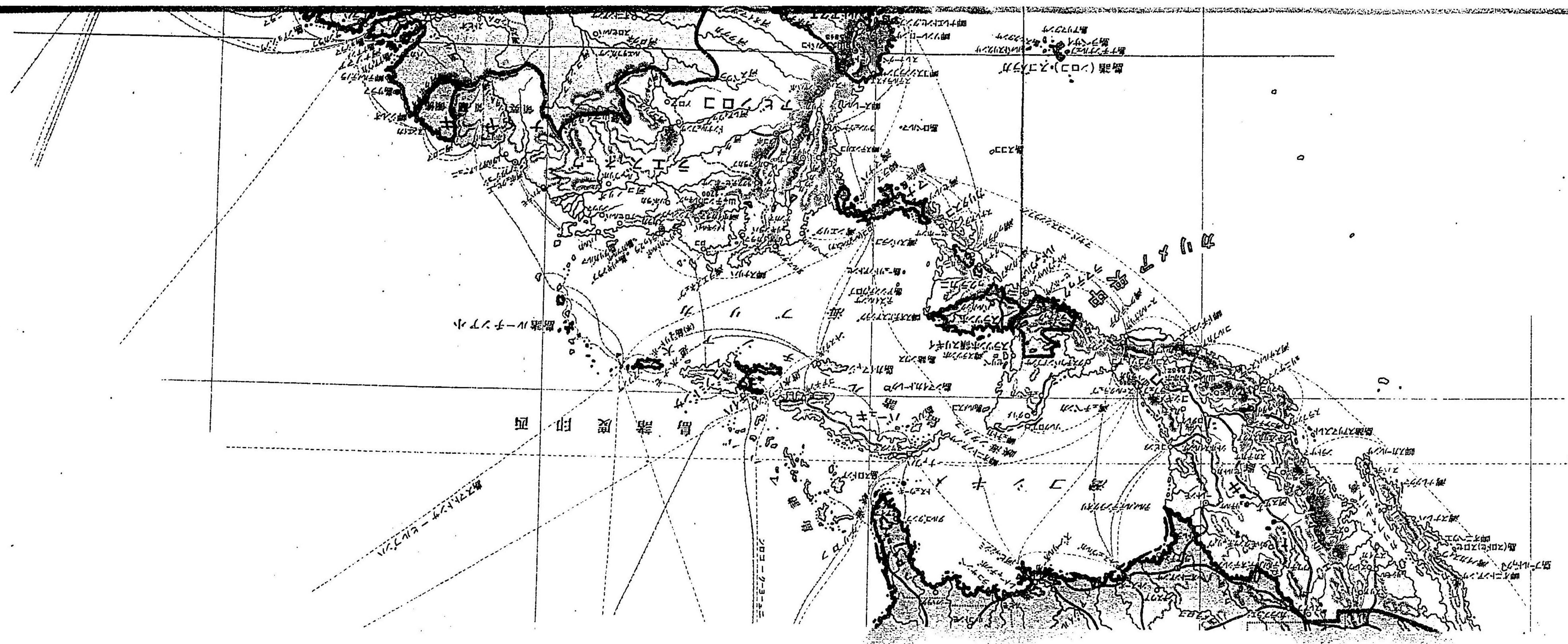
- 一、本書中ニハ南米ノミナラス墨西哥及巴奈馬ニ關スル記事及北米テキサス州ニ關スル報告ヲモ掲載セリ
- 二、本書ハ曩ニ農商務省參事官岡實カ北米合衆國中央亞米利加及南亞米利加ニ産業視察ノ爲出張シタル際隨時提出シタル報告書ヲ輯録シタルモノナリ
- 三、本書各篇ノ附録及第八篇ハ文學士中山文雄氏ノ起草ニ係ル南米各國ノ地誌ニ關スル記事ニシテ有用ナル參考資料ナルヲ以テ之ヲ掲載セリ





景光ノ中山「スデンア」

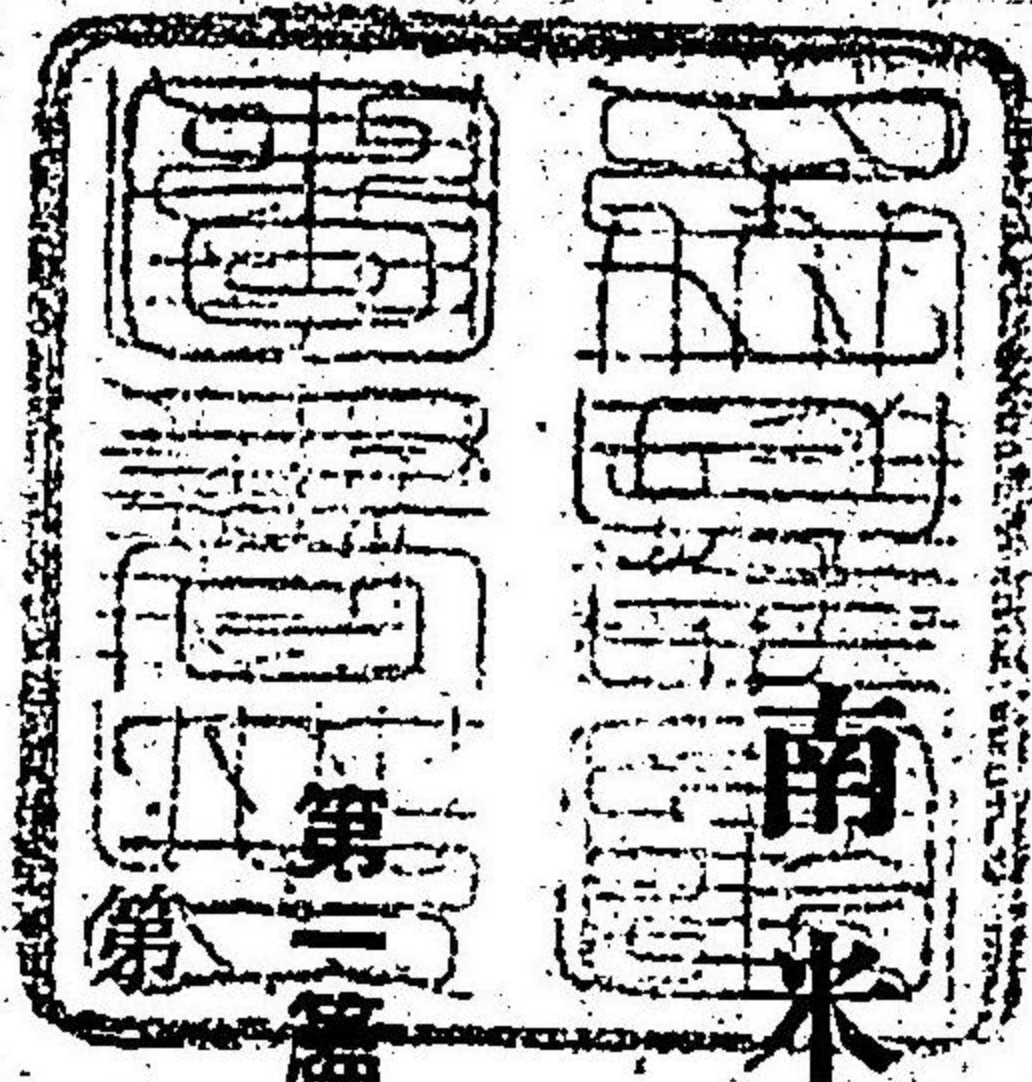












# 南米調查資料

## 總目次

第三篇 南米總論	三
第一章 北米と南米との比較	三
第二章 歐洲各國の角逐	五
第三章 労働者ノ不足	七
第四章 南米各國ノ特色	一〇
第一款 墨西哥	一〇
第二款 巴奈馬	一四
第三款 祕露	一六
第四款 智利	一八
第五款 亞爾然丁	一九
第六款 伯刺西爾	二〇
目次	一



第七款 結論.....二〇

附錄

南米地誌一斑.....三

第一 山脈.....三

第二 河流.....七

第三 氣候.....三

第四 地質.....三

第五 植物及動物.....三

第六 人種附土人.....九

第七 沿革.....三

第二篇 墨西哥.....九

第一章 總說.....九

第一款 墨西哥共和國國勢一斑.....九

第二款 墨國貿易ノ大勢.....七〇

第二章 商工.....六

第一款 總說.....六

第二款 棉花工業及綿布、棉花ノ貿易關係.....五

第三款 毛織物業.....六四

第四款 養蠶及製絲業並生絲及絹織物ノ輸入.....六五

第五款 絹織物業.....六七

第六款 製紙工業.....六八

第七款 製糖業.....六九

第八款 酒類釀造業.....六九

第九款 煙草製造業附煙草製造工場視察記.....九〇

第十款 家具製造業及工場視察ノ記事.....九一

第十一款 製粉業.....九二

第十二款 鐵工、製鐵及製鋼業.....九三

第十三款 陶器業.....九三

第十四款 金物業.....九四

目次



第十五款 帽子製造業	四
第十六款 「マツチ」業	五
第十七款 「ガラス」工業其他ノ雜工業	六
第十八款 墨國ニ於ケル日本商店及日本取扱店	七
第十九款 墨國ニ對スル日本重要輸出品	九
<b>第三章 鑛業</b>	一〇
第一款 大勢	一〇
第二款 鑛物ノ分布	一〇
第三款 石炭及石油	一〇
<b>第四章 農業</b>	一一
第一款 農業ノ現状	一一
第二款 政府ノ農業獎勵	一一
第三款 林業	一一
第四款 主要農産物概説	一一

第五款 牧畜業	一三
---------	----

附 録

<b>墨西哥地誌一斑</b>	一五
第一 位置地勢	一五
第二 河湖	一六
第三 氣候	一七
第四 植物	一九
第五 動物	二〇
第六 住民及沿革	二一
第七 宗教風俗	二六
第八 都市	二七
第九 産業	二七
第十 交通	二六



第三篇 巴奈馬

六

第一章 巴奈馬運河開鑿進行ノ現状……………一四三

第二章 開鑿設計ノ概要……………一四七

第三章 世界ノ運河ニ於ケル巴奈馬運河ノ位置……………一五〇

第四章 運河開鑿事業ノ沿革略……………一五一

第五章 巴奈馬共和國……………一五三

第六章 巴奈馬共和國ニ對スル米國ノ勢力……………一五五

第七章 運河開鑿ノ影響附開通後ノ哩程表……………一五九

附錄

巴奈馬地誌一斑

一六五

第一 位置地勢

一六五

第二 地方誌

一六五

第三 鐵道……………一六七

第四 運河……………一六七

第五 氣候……………一七九

第六 產物……………一七九

第七 沿革……………一七九

第八 政體……………一八〇

第四篇 祕露

一八五

第一章 祕露共和國ノ大勢

一八五

第一款 祕露ノ人種關係……………一八九

第二款 祕露ノ沿革……………一九〇

第三款 政治上ノ現在……………一九二

第四款 交通……………一九三

第五款 政治上及地理上ノ區分……………一九六

第六款 財政及經濟……………一九九

目次

七



第七款 秘露貿易	二〇五
第八款 秘露ノ海運	二〇六

第二章 秘露ノ商工業

第一款 生絲	二〇一
第二款 絹布	二〇二
第三款 絹製手巾及絹製「キモノ」	二〇三
第四款 花筵	二〇四
第五款 綿製品	二〇五
第六款 陶磁器	二〇六
第七款 漆器、銅器	二〇七
第八款 石炭	二〇八
第九款 木材	二〇九
第十款 其他ノ貨物	二一〇
第十一款 本邦品ノ取扱者及本邦人ノ商業	二一一

第三章 關稅制度

第四章 秘國ノ工業

第五章 日秘通商ノ將來

第六章 秘國ノ農業

第一款 總說	二一六
第一項 土地ノ大別	二一六
第二項 秘國農業ノ幼稚ナル所以	二一七
第三項 政府ノ農業獎勵	二一八
第二款 重要農產物概說	二一九
第一項 甘蔗	二二〇
第二項 棉花	二二一
第三項 護謨	二二二
第四項 畜產	二二三
第五項 其他ノ農產品概說	二二四



第七章 鑛業

第一款 總説 ..... 二六〇

第二款 各説 ..... 二六〇

  第一款 金 ..... 二六三

  第二款 銀 ..... 二六三

  第三款 銅 ..... 二六三

  第四項 鉛 ..... 二六四

  第五項 水銀 ..... 二六四

  第六項 錫 ..... 二六四

  第七項 鐵 ..... 二六四

  第八項 石油 ..... 二六五

  第九項 石炭 ..... 二六五

第三款 結論 ..... 二六五

附 錄

祕露地誌一斑

第一 地勢附インカ帝國及「オロヤ」鐵道の記事 ..... 二六七

第二 耕作地 ..... 二七三

第三 氣候 ..... 二七四

第四 地方誌 ..... 二七五

第五 住民及沿革 ..... 二七六

第六 産業 ..... 二八〇

第七 通商 ..... 二八一

第八 政治 ..... 二八三

第九 移民 ..... 二八三

第五篇 智利

第一章 智利國國勢一斑

第一款 大勢摘要 ..... 二八九

第二款 人種關係 ..... 二九三

目次



- 第三款 沿革概要.....三九五
- 第四款 交通.....三九六
- 第五款 區分.....三九六
- 第六款 結論.....三九六
- 第二章 智利國ニ於ケル商工業.....三九七
  - 第一款 總說.....三九七
  - 第二款 重要輸入品ノ狀況.....三九七
  - 第三款 智國關稅制度.....三九七
  - 第四款 智利國ヨリ輸入ノ見込アル商品.....三九七
- 附錄
- 智利地誌一斑.....三九五
  - 第一 地勢.....三九五
  - 第二 氣候.....三九五
  - 第三 地方誌附ラデルヒーゴ群島.....三九五

- 第四 産業附智利沃度詳記.....三七四
- 第五 住民.....三六六
- 第六 沿革.....三六九
- 第七 交通.....三六九
- 第八 移民.....三九〇
- 第九 商習慣.....三九〇
- 第十 政體宗教.....三九三
- 第六篇 亞爾然丁.....三九九
  - 第一章 亞國國勢一斑.....三九九
  - 第二章 日本重要輸出品ニ關スル調査.....四〇一
    - 第一款 總說.....四〇一
    - 第一項 概況.....四〇一
    - 第二項 日本人ノ商業.....四〇九



第三項 結論

一四

第二款 絹織物	四二
第三款 絹製手巾	四六
第四款 絹團扇	四九
第五款 花筵	五二
第六款 陶磁器	五二
第七款 漆器	五三
第八款 小机隅棚	五六
第九款 銅器	五九
第十款 扇子	五九
第十一款 紙製ナブキン	五九
第十二款 「コッピ」紙	六〇
第十三款 竹細工製家具	六〇
第十四款 柳籠類及經木製品	六一
第十五款 經木真田及麥稈真田	六三

第十六款 綿「フランネル」	六三
第十七款 麻布製袋	六三
第十八款 精米	六三
第十九款 茶	六四
第二十款 乾鱈	六五
第二章 亞國關稅ニ關スル調査	
第一款 亞國輸入日本重要輸出品ニ對スル關稅表	六六
第二款 亞國ニ商品輸入ノ稅關手續	六九
第三款 貨物ノ密輸入	六九
第四章 亞國重要輸出品ニ對スル調査	
第一款 小麥、小麥粉	七三
第二款 牛乾肉	七四
第三款 凍肉	七六
第四款 牛羊皮	七五



第五款	グリース	四五四
第六款	馬毛及骨	四五五
第七款	羊毛	四五五

附 錄

亞爾然丁地誌一斑

第一	位置地勢	四五七
第二	河湖	四五七
第三	氣候	四五六
第四	地方誌	四六〇
第五	沿革	四六一
第六	住民	四七〇
第七	交通附「アンデス」橫斷鐵道記事	四七一
第八	產物生業	四七二
第九	政體	四七六
第十	移民附「フオクランド」	四七九

第七篇 伯刺西爾

第一章 伯國國勢一斑

第二章 日本重要輸出品ニ關スル調査

第一款	總說	四九八
第二款	絹織物及絹製品	四九八
第三款	養蠶業及絹織物工業	五〇一
第四款	花筵	五〇四
第五款	陶磁器	五一〇
第六款	扇子	五一二
第七款	麥稈具田	五一三
第八款	茶	五一五
第九款	漆器	五一七
第十款	團扇	五二八
目次		五二九



- 第十一款 竹細工品.....五二九
- 第十二款 紙「ナブキン」.....五三一
- 第十三款 鱈油漬.....五三一
- 第十四款 紙製品.....五三三
- 第十五款 玩具.....五三三
- 第十六款 經木細工.....五三四
- 第十七款 妻楊枝.....五三四
- 第三章 伯國關稅ニ關スル調査**.....五三五
  - 第一款 伯國輸入日本重要輸出品關稅表.....五三五
  - 第二款 消費稅納付規則.....五三六
  - 第三款 伯國關稅ト亞國關稅トノ比較.....五三六
  - 第四款 伯國關稅手續.....五三六
- 第四章 伯國ヨリ本邦へ輸出品**.....五三四
  - 第一款 珈琲.....五三四

- 第二款 護謨.....五三五
- 第三款 精米.....五三三
- 第四款 砂糖.....五六七
- 第五款 煙草.....五七〇
- 第六款 磷寸.....五七三

附錄

伯刺西爾地誌一斑

- 第一 地勢.....五七三
- 第二 氣候.....五七六
- 第三 地方誌.....五七九
- 第四 交通商業.....五九四
- 第五 沿革.....六〇〇
- 第六 住民.....六〇一
- 第七 政體.....六〇三



第八篇 其他ノ南米諸國略誌

第一章 「コロンビア」..... 六〇九

第二章 「エクワドル」..... 六一四

第三章 「ボリビア」..... 六一三

第四章 「ウルガイ」..... 六一三

第五章 「バラガイ」..... 六一一

第六章 「ギアナ」..... 六一七

第七章 「ベネズエラ」..... 六一四

附錄 北米テキサス州ニ於ケル米作

第一章 總説..... 六六五

第一項 米國ニ於ケル米作適地..... 六六五

第二項 米作ニ對スル日本人米作ノ位置..... 六六六

第三項 作米ノ種類..... 六六六

第四項 最モ疎放ナル耕作法..... 六六六

第五項 土地ノ所得法..... 六六七

第六項 地價ノ騰貴..... 六六八

第七項 土地ノ借款及購入ノ條件..... 六六八

第八項 テキサスニ於ケル日本米作者..... 六六九

第九項 テキサス農業ト日本農業トノ關係..... 六七〇

第十項 テキサス農業ハ成效スヘクシテ失敗者ヲ出シタル理由..... 六七一

第二章 耕作前ノ準備(作業)..... 六七二

第一項 棚..... 六七二

第二項 灌溉..... 六七二

第三項 排水..... 六七三

第四項 地味及赤木ノ發生..... 六七三

第五項 日本米ノ優勝並陸稻ノ試作..... 六七三



第六項 米種ノ選擇

..... 六七三

第三章 耕作

..... 六七三

第四章 西原清東氏ノ米作ニ關スル談話

..... 六七九

第五章 岸吉松氏農場所見

..... 六八二

第九篇 南米調査結論

..... 六八九

第一章 總說

..... 七六九

第二章 商業上ノ關係

..... 六九三

第一款 商品

..... 六九三

第二款 商業上ノ注意

..... 六九四

第三章 工業上ノ關係

..... 六九六

第四章 鑛山鐵道業ノ關係

..... 六九六

第五章 漁業上ノ關係

..... 六九六

第六章 農業上ノ關係

..... 六九七

第七章 移民(殖民)ノ關係

..... 六九七

第八章 航海上ノ關係

..... 六九七

第九章 雜錄

..... 七〇〇



第一篇 南米總論



目次

第一篇 南米總論	三
第一章 北米と南米との比較	三
第二章 歐洲各國ノ角逐	五
第三章 勞働者ノ不足	七
第四章 南米各國ノ特色	一〇
第一款 墨西哥	一〇
第二款 巴奈馬	一四
第三款 祕露	一六
第四款 智利	一八
第五款 亞爾然丁	一九
第六款 伯刺西爾	二〇
第七款 結論	二〇

目次



附錄

南米地誌一斑

緒言……………三

第一 山脈……………三

第二 河流……………三

第三 氣候……………三

第四 地質……………三

第五 植物及動物……………三

第六 人種附土人……………三

第七 沿革……………三

南米調査資料

第一篇 總論

第二章 南米ト北米トノ比較



南米ト北米トノ比較

南北米利加ノ兩大陸ニ居住セル白人ハ共ニ等シク舊大陸ヨリ移住シタルモノナリト雖モ各民族ノ系統ヲ異ニシテ其ノ氣風、生活狀態等ニ著シキ相違アルヲ見ル即チ北米ノ住民ハ北歐ノ「チユート」民族最モ多數ヲ占メ一般ニ著實眞摯ノ氣風ヲ尙ヒ然カモ最モ敏捷ナル企業心ニ富ムト雖モ南米ノ住民ハ西班牙及葡萄牙等南歐羅旬民族ノ移住シタルモノニシテ概シテ華奢安逸ヲ好ムノ風アリ從テ企業家トシテ北米人ニ及ハサルコト遠シ南米ニ於テハ恰モ日本ニ於テ「紺屋ノ明後日」ト云フ俚諺アルカ如ク「南米人ノ明日」ナル評語アリ是レ即チ南米人一般ノ氣風カ保守因循ニシテ事物ノ處理兎角緩慢ニ流レ何事モ「明日」「明日」ヲ以テ事物ノ處理ヲ遷延スルノ意ヲ寓シタルモノナリ

次ニ北米ニ在リテハ教育モ亦次第ニ普及シ有名ナル學者發明家ヲ出シ將ニ歐洲ノ壘ヲ摩スルノ勢ヲ呈シタリト雖モ南米ニ於テハ宗教ノ關係アリテ教育甚タ振ハサルナリ即チ彼ノ地ニ勢力ヲ有スル羅馬舊教ノ僧侶ハ信徒ノ間ニ科學的智識ノ進歩スルヲ好マサルカ故ニ努メテ教育ノ普及ヲ阻害シ定著シタル殖民ノ團體モ亦學校ヲ興サンヨリハ寧ロ高塔巍峩タル教會堂ヲ新設スルコトニ腐心シ此ノ教會ノ牧師



ハ固陋ナル天國ノ教理ヲ説イテ益々人民ノ理解力ヲ蒙昧ナラシムルカ爲メ南米總人口約五千萬ノ中文  
字ヲ解セサルモノ實ニ九十「パーセント」ノ多數ヲ算スル狀況ナリ

南米ニハ白人約一千万人アリテ他ハ悉ク雜種及在來種ノ印度人ナルカ此等ノ土人ハ極メテ低度ノ生活  
ニ甘シシ生産モセサレハ又消費モセス日々狩獵ト惰眠ヲ事トシテ正式ノ産業ヲ營ムモノ鮮シ雜種ハ幾  
分カ白人ノ血液ヲ承ケ居ルカ爲メ市街地ニ於テ職業ニ從事スルモノアリト雖モ多數ハ教育ナキカ爲メ  
高等ノ職業ニ就クコト能ハス始終不規律ナル生業ヲ營ムモノ多キニ居ル而シテ詐欺盜賊等ノ惡事ヲナ  
ス者ハ多ク此ノ雜種中ヨリ輩出スルヲ常トスト云フ

南米ニ於ケル西班牙人ハ一般ニ逸樂ヲ好ミ又タ兎角衣食住ヲ奢ルノ風アリ即チ其ノ服裝ノ如キ中以上  
ノ社會ニ於テハ總テ佛蘭西式ヲ尙ヒ華麗豪華ニ流ル、ヲ見ル

産業上ノ關係ニ付キテ南米ト北米トヲ比較スレハ東部ノ平原地ハ農業、西部ノ山嶽地ハ鑛業ナルノ點  
ニ於テ相似タリト雖モ北米ノ北部ニ於テハ石炭鐵ノ產出豐富ナルカ故ニ工業勃興シ繁華ナル都市所在  
ニ勃興セルヲ見ルト雖モ南米ハ之ニ反シテ石炭ノ產出乏シキカ爲メ工業基ヲ振ハス只僅カニブラジル  
ニ於テハ水電ノ供給アルカ爲メ絹織物ノ工業起リ又墨西哥ニ四五ノ織物工業及紡績工業ノ起レルヲ見ル  
ノミ從テ將來ノ發達ニ付テモ工業上ニハ多大ノ望ヲ屬スル能ハス、唯ブラジルハ其ノ南方ノ山地ニ於  
テ好良ナル水力電氣ノ「ステーション」アルヲ以テ此ノ國ノミハ此ノ動力ヲ利用シテ工業起ルヘキ見込

アリ工業上ヨリ南米ヲ論スル者多クブラジルニ重キヲ置ク所以茲ニ在リ其ノ他ノ國ハ工業原料ハ豐富  
ナルモ此ノ原料ニヨリ大ニ工業上ノ發達ヲ圖ラントスルモノアルヲ認メスサレハ北米ノ保護政策ハ原  
料及石炭ノ豐富ナルカ爲メニ成功セリト雖モ南米ニ於テハ如何ニ關稅上ノ保護ヲ豐ニスルモ北米ノ輸  
ヲ履ム能ハサル可シ畢竟南米ハ農産國トシテ立ツヘク工業國トシテハ未タ容易ニ頭角ヲ露ハスヘキ機  
運ニ達セサルモノト思料セラレ

## 第二章 歐洲各國ノ角逐

南米ノ初メテ世界ニ紹介サル、ヤ當時ニ在リテハ最モ有爲活潑ナル殖民者及航海者タリシ西班牙民族  
ハ逸早く彼地ニ移住シ競フテ土地、鑛山等ノ權利ヲ獲得セシカ後チ英、獨、伊等ノ諸國カ南米航路ヲ  
開キシヨリ此等國民ノ渡來者モ漸次増加シ土地、鑛山ノ價格ハ倏忽ニシテ數倍ノ騰貴ヲ來セシタリ古  
參ノ西班牙民族ハ居ナカラニシテ多クノ收入ヲ得ルノ地位ヲ占メ自ラ安逸倫安ノ風ヲ馴致セシカハ今  
ヤ南米各國ニ於テ企業開發ノ爲ニ實際活動セルモノハ彼ノ古參ノ民族ニハ非スシテ多クハ北歐新來冒  
險者タル英、獨、佛、伊等ノ諸國民ナリ、サレハ南米ニ於ケル「外人」ノ勢力ノ著大ナルコト實ニ豫想  
ノ外ニ在リ就中英國人ハ到ル處各種ノ事業ニ投資シ鐵道、市街電車ノ多數ハ殆ント英人ノ資本ニ依ラ  
サルモノナク又南米各國ノ政府ニ對シテ多額ノ債權即チ公債ヲ有スルカ故ニ其ノ勢力最モ大ナリ從テ  
政治經濟上ニ於ケル英國ノ勢力ハ異常ニシテ或ハ英國公使ノ一舉一笑ハ直ニ政治外交ノ上ニ影響ヲ及



ホスト説クモノアリ中ニモ極端ナル論者ハ「英人ハ宣戰構和ノ實施ヲ把握スルヲ以テ南米各國間ニ於テ偶々戰爭ノ形勢起ラントスルコトアルモ英國ノ態度如何ニ依テハ勝敗ノ數直ニ明ナルヲ以テ結局戰ハスシテ落著スルヲ常トス」ト云ヘリ左レハ南米政府ノ企業モ若シ英國カ資本ノ供給ヲ肯セサルニ於テハ終ニ實行スヘカラサルニ終ルヲ常トスト云フ要スルニ英國人ハ内治外交及社會經濟上ノ問題ニ干與シ間接ニ有力ナル參謀官ノ地位ヲ占有セルハ事實ナルカ如シ

英國人ノ勢力ニ續イテ殆ント之レト伯仲ノ間ニ在ルハ獨逸人ナリ、然レトモ獨逸人ハ比較的ニ資本ニ乏シキヲ以テ大企業ニ關係スルヲ得ス寧ロ商取引ノ方面ヨリ英人ヲ凌駕セントスルノ勢アリ故ニ雜貨貿易ヲ始メ其ノ他ノ重要輸入品ニ關シテハ常ニ英國ト激烈ナル競争ヲ試ミ今ヤ毛織物及鐵ノ如キハ年ヲ逐フテ英人ノ販路ヲ浸蝕シツ、アリ此ノ形勢ハ自然兩國人ノ反目ヲ馴致シ彼等白人ノ社交上最モ得意トセル虛心坦懷ノ特色美風ハ漸ク没却セラレントス是レ注目スヘキ現象ノ一ナリ其ノ他佛國人ハ衣服商トシテ勢力ヲ有スル外資本家ノ團體ハ主トシテ港灣ノコトヲ請負ヒ一定期間其支配權ヲ有スルモノアリ佛國人ハ此等ノ關係ヨリ亦相應ノ勢力ヲ有ス而シテ伊太利人ハ中以下ノ商業及農業勞働者トシテ廣大ナル地盤ヲ占メツ、アリ

以上述フルカ如ク南米各國ニ於テハ歐人特ニ北歐渡來者ノ勢力甚ク大ナルカ故ニ各種企業ノ中樞ハ殆ント彼等ノ獨占ニ係ルト云フモ過言ニアラス而シテ北歐人ハ元來羅甸民族ノ氣風ヲ好マス又南米各國ノ政治ニ付テモ種々缺點多クシテ少シク大ナル事業ニ對シテハ「租稅以外ノ租稅」トモ稱スヘキ無名ノ誅求ヲ受ケ其ノ上ニ尙強制徵兵制度ヲ採用シテ比較的軍事ニ八釜敷ク若シ其ノ兵役ヲ免セラレント欲セハ金錢上ノ出捐ヲ要求セラルアリ其ノ他ノ一般社會組織ハ兎角北歐人ノ嫌忌スル處ナルヲ以テ縱令南米ニ渡來スルモ其ノ國ニ歸化スルモノ甚ク稀ナリ之レ南米ニハ外人即チ歐洲人ノ勢力最モ顯著ナル所以ニシテ北米ト異ル要點ノ一ナリ然レトモ南米各國ハ是等ノ外人ニ對シ殆ント國內ヲ開放シテ鐵道鑛山、沿岸貿易等種々有利ナル事業ヲ許與シ土著ノ西班牙人ハ却テ袖手安逸ニ耽ルノ狀況ナルニ因リ外人ハ只管企業投資ニ腐心シ漸次著大ナル勢力ヲ扶植シツ、アルモノト知ルヘシ

### 第三章 勞働者ノ不足

北米ニ在リテハ工業上ノ利益饒多ナルカ故ニ勞銀モ高ク歐羅巴大陸ノ過剩人口ハ競フテ北米ニ入ルノ狀況ナルモ中米及南米ニ在リテハ工業上ノ利益甚ク薄ク企業家モ亦多クハ第二流以下ノ者多キヲ以テ事業割合ニ振ハス從テ勞銀モ亦低廉ナル爲メ歐洲ノ移民ハ概シテ南米ニ渡航スルヲ好マス唯西班牙、葡萄牙、伊太利等ノ國民ハ其ノ國語カ西語ト類似セル關係上南米ニ入ルモノ鮮カラスト雖モ此等ノ國民ト雖モ第一ニ目指ハハ矢張り北米ニシテ「親戚故舊ノ關係上已ムヲ得サル事由」アルカ又ハ移民規則ノ條件ヲ充ス能ハズシテ其ノ上陸ヲ拒マレタルモノ、外始メヨリ南米ニ志スモノ甚ク稀ナリ然ルニ北米ニ於テハ渡航移民ノ潤澤ナル爲メ尙ニ東洋ノ移民ヲ排斥セントスルノ傾向アルノミナラス白人ト雖



モ身體ノ不健康ナル者及「見セ金」ヲ所持セサル者等ハ凡テ入國ヲ許可セサルナリ北米日本人會ノ調査ニ依レハ紐育邊リニ於テ上陸ヲ拒絶セラル、白人ノ數ハ却テ日本移民ノ拒絶セラル、數ヨリモ多キ比例ヲ示セリト云フ是レ畢竟歐洲各國ニ於テハ日本ノ如ク官ノ干渉ヲ以テ移民ヲ精選セサルニ因ルヘシト雖一ハ又北米ニ對スル移民ハ既ニ或ル程度迄充實セルニ基因スルモノナルコトハ疑ヲ容ルヘカラス如斯北米ニ在リテハ移民ノ充實セルニ反シ南米ニ於テハ非常ニ勞働者ノ缺乏ヲ告ケツ、アル爲メ移民ノ入國條件ヲ頗ル寬大ニシ且渡來者ニハ三等旅費ヲ賠償スル外或ハ一人ニ付百圓宛ノ賞與ヲ給與スル等白人移民ノ優遇至ラサルナシ加之渡航後勞働ニ從事シテ六ヶ月ヲ經過スルトキハ所謂自由移民トナシテ隨意ニ勞働スルコトヲ得セシメ又各國共可成此ノ自由勞働者ヲ引留ムルコトニ意ヲ用ヒ智利ト亞爾然丁トノ間ニ架レル橫貫鐵道ノ如キモ殊更其中間五十基米ヲ切斷シ交通上ノ不便ヲ忍ンテマテモ勞働者ノ逃走ヲ防禦シツ、アル狀況ナリ(是ハ轉近ニ至リテ接續セリ)依是觀之南米各國カ如何ニ移民ヲ渴望シ且之ヲ自國ニ引留メントスルコトニ苦心シツ、アルカラ推知スルニ足ルヘシ、然レトモ黃人即チ彼等ノ所謂「アジヤチツクス」ニ對シテハ餘リニ其ノ渡來ヲ歡迎セサルノ傾向アリ祕露ノ如キハ約六十年前ヨリ已ニ支那人ノ勞働者入り込ミ今日マテニ其ノ數殆ント十萬人ニ達シ彼等ノ多クハ渡航後須臾ニシテ勞働ヲ廢シ彼地ニ於テ行商ヲ營ミ相當ノ資ヲ貯フルトキハ更ニ店舖ヲ設ケ「安物賣ノ小店」ハ殆ント彼等ノ獨占スル狀況ナルカ故ニ今日祕露ノ首府リマニハ儼然タル支那人街ヲ組織シ茲ニハ彼等ノ嗜好ニ適セ

八

ル飲食店、芝居、寄席等モ完備セリ左レハ祕露國以外ノ南米人ハ此ノ勢ヲ看取シ黃禍ハ祕露ヨリ其ノ源ヲ發センナド、論スル者サヘ生シタリ去レハ祕露政府モ亦多少考慮スル所アリ此ノ上支那人ノ移民増加スルニ於テハ遂ニ白人ヲ壓倒シ其ノ商權ヲ奪フニ至ランコトヲ慮リ當初五十圓ナリシ入國稅ヲ百圓ニ引キ上ケ更ニ二年前ヨリハ之ヲ百五十圓ニ引上ケ其ノ入國ヲ制限スルニ至レリ而シテ此ノ入國稅ハ日本又ハ支那ニ駐在スル祕露領事ヨリ健康證明ノ下付ヲ受クル際手數料トシテ徵收セラル、モノナルカ其ノ訓令ニハ亞細亞人即チ「アジヤチツクス」ナル文字ノ記載シアル爲メ一見日本人ニモ適用セラル、モノ、如クナルモ祕露政府ハ日本人ニ對シテ之ヲ適用スルコトナシト言明セリ然レトモ何時ニテモ適用シ得ル狀態ナレハ充分注意ヲ拂ハサル可カラスト謂フ

次ニ智利ニ於テモ稍々東洋人排斥ノ傾向ヲ呈セリ蓋シ智利ノ土人ハ白人ト雜婚セサル爲メ混血種ヲ見ルコトナク從テ異色人種ヲ嫌忌スルノ風アリ元來當國人ハ日本人ニ對シテハ非常ニ同情ヲ有セルニモ拘ハラス日本移民ノ渡航ハ之ヲ歡ハサルナリ最モ未タ公然排斥スルカ如キ氣勢ハ現ハレサルモ智利國人ハ日本移民ノ渡來スル結果其ノ移民ト土人トノ間ニ爭鬭ヲ惹起シ遂ニハ移民問題ヲ口實トシテ日本トノ間ニ國際上ノ紛議ヲ生スルニ至ランモ測ラレストノ杞憂ヲ抱キ多數ノ人士ハ衷心ヨリ之ヲ歡迎セサルノ傾アリ

亞爾然丁モ亦智利ト同シク混血種甚タ稀ニシテ同國人ハ智利人ト同シク『西班牙ノ純正ナル血統』



“Pure Spanish blood”ナルコトヲ誇リトスル狀況ナレハ異民族タル日本人ヲ歡迎セサルノ傾向アルハ全ク智利ト同様ナルノミナラス、ブラジルノ如ク契約移民ハ一切之ヲ拒絕セリ併シ日本ノ企業家ノ渡來ハ寧ロ之ヲ歡迎セリ(近時ニ至リ多少日本人排斥ノ傾向アリト傳フルモ正當ナル企業者ヲ歡迎スルハ疑ナキ所ナリ)ブラジルハ他ト其ノ趣ヲ異ニシ混血種非常ニ多ク從テ異色人ニ對シ別段隔意ヲ有スルコトナキノミナラス日本移民ハ之ヲ歡迎セリ要スルニ南米各國ノ重ナルモノハ一般ニ勞働者ノ不足ヲ告ケツ、アルニ拘ラス人種ノ相違ニヨリ概ネ東洋移民ヲ歡迎セス唯墨西哥、祕露及伯刺西爾其ノ他ノ小國ハ混血種ノ多キト著シク勞働力不足セル爲メ必シモ異色ノ故ヲ以テ排斥セスト雖モ智利亞爾然丁等ニ於テハ全ク異色ノ故ヲ以テ東洋移民ヲ忻ハサルノ實況ナリ要之南米各國ニ於テハ北米ノ如ク公然日本人ヲ排斥セントスルカ如キ徵候ナシト雖モ白人ヲ歡迎スルト同様ニ歡迎スルモノニ非サルナリ唯北米ノ如ク未ダ熾ナル排日熱起ラスト云フニ過キサルノミ

#### 第四章 南米各國ノ特色

##### 第一款 墨西哥

墨西哥國ハ一名「新西班牙」ト稱セラレ西班牙人カ新大陸ニ於テ最モ早ク其ノ根據ヲ築キタル處ナリ從來此ノ國ニハ墨西哥印度人(メキシキカン)ト稱セラル、南北亞米利加ヲ通シテ最モ優等ナル印度人種息シ其ノ容貌及舉動ノ日本人ニ酷似セルモノアルヨリ或ハ漂流ノ亞細人カ此地ニ到著シテ繁殖セシ

ニアラスヤトノ説ヲナスモノアリ又一説ニハ元來南北亞米利加ノ土人ハ往昔ペーリング海峡ノ接續セシ時代ニ亞細亞人ノ新大陸ニ入りテ繁殖セシモノナレハ從テ墨西哥印度人モ亞細亞人ノ系統ヲ繼グモノナリト云フ説アリ

異色人種ノ混淆

墨西哥ノ土人ハ較、開明ノ域ニ達セルモノアリ又西班牙人トノ人種ノ混淆モ比較的ニ能ク行ハレタルカ故ニ此國ニハ雜種甚タ多シ現大統領「デアス」氏ノ如キモ其ノ祖母ハ純然タル「メキシカンインデア」ナリ而シテ此ノ大統領「デアス」氏ハ南米羅甸共和國中有數ノ人物ナリト稱セラル元來當國ニ於ケル大統領ノ任期ハ四ケ年ノ定メナルカ國會ハ嘗テ同氏ノ絶ヘス大統領タルコトヲ希望ストノ信用決議ヲ爲シタルコトアリ氏ハ又嘗テ北米合衆國カ墨西哥ニ對シ常ニ有形無形ノ壓迫ヲ加ヘ嘗テハ領土ノ五分ノニヲ割カレ又今ヤ米人ハ事實ニ於テ鐵道、鑛山等ノ利權ヲ專有スルニ至レルヲ慨シ可成米人ノ勢力ヲ抑ユルノ政策ヲ執リ陽ニ北米トノ親好ヲ續グルモ陰ニハ國富及國粹ノ保存ニ努ムト云フ墨西哥大統領ハ印度人ノ血統ヲ受クルノミナラス政府部内ニ於テモ現任ノ農務大臣ノ如キ半印度人アリ議會ニテモ「半印」若クハ「四分一印」トモ云フヘキ雜種鮮カラス要スルニ墨西哥ニ於テハ人種ノ混淆能ク行ハレ一部ノ識者カ唱ヘツ、アル人種競争ノ如キハ墨西哥ニ於テハ見ルヘカラサル所ナリ

富源ハ鐵山

墨國ノ工業ハ稍々見ルヘキモノナキニアラスト雖モ氣候暑熱甚シキノミナラス工業發展ノ原動力タルヘキ石炭ノ缺乏ト勞働者ノ不足ナル爲メ外人ノ資本ヲ投下スルモノ多クハ比較的ニ之レヨリモ有利ナ



ル鑛業ニ向フヲ常トシ工業國トシテハ到底頭角ヲ擡グルノ見込少キニ似タリ農業モ亦北部一帯ノ地方ハ碓礮ニシテ耕作ニ適セサル所多ク唯南方ノ平原暑熱甚シキ所ニ稍々有望ノ土地アルノミ然レトモ政府ハ農業ノ獎勵ニ主力ヲ盡シ種々ナル補助金ヲ下付シテ之ヲ保護シ其ノ豫算ノ如キモ殆ント我農商務省ノ農務行政費ニ相當スル各項目ノ下ニ多額ノ費目ヲ計上セリ、然レトモ墨國ノ農業ハ比較的利益薄キカタメ外資ノ大部分ハ鑛山及鐵道事業ニ注入サレ其發達遲々トシテ振ハス從テ穀物ノ如キモ北米ヨリ供給ヲ受クルノ狀況ナレハ墨國カ農業國トシテ果シテ幾千ノ發達ヲナスヘキカ蓋シ容易ニ斷スヘカヲサルナリ

然レトモ墨國ハ前ニモ述フルカ如ク最モ鑛産ニ富ム即チ金、銀、銅、鐵ノ各種鑛物ハ西部大山脈及東部山脈内ニ伏在シ優ニ世界ノ一大寶庫ヲ成セリ其他石炭及石油等ノ生産アリト雖モ其ノ質善良ナラサルト探掘上ノ不便多キ爲メ餘リニ振ハス要スルニ墨國ノ富源ハ鑛業ヲ以テ第一ニ推サ、ルヘカラス

日本ニ對スル同情

墨西哥國ハ將來果シテ如何ナル運命ニ遭遇スヘキカ固ヨリ疑問ニ屬スル處ナレト大統領「デアス」氏始メ一般墨西哥人ハ略ホ其ノ將來ヲ察知シ日本カ曩ニ其ノ獨立ノ爲メニ國運ヲ堵シテ露西亞ヲ退ケ今ヤ太平洋ヲ隔テ、北米ヨリモ壓迫ヲ受ケツ、アルノ事實ハ最モ墨國ノ現狀ニ近シト思考セルカ爲メ日本ニ對シ多大ノ同情ヲ寄セツ、アリ加之同國ノ當路者モ亦是非日本ヲ學ハサルヘカラスト主張シ現ニ大統領「デアス」氏ノ如キハ日本ノ戰爭ニ從事セシ軍人ノ寫眞ヲ集メ又日本ノ戰爭ニ關スル英文ノ書籍ハ

悉ク所藏スル由ニテ是等ノコトハ墨國人ガ如何ニ日本ニ對シテ深厚ナル同情ヲ寄セツ、アルカヲ推知スルニ足ルヘシ（最近ニ於ケルマデロ氏カ起シタル内亂ニ際シ米國ノ黃色紙カ日本ヲ中傷スル爲メ日本ハ墨國ヲ輔クヘシトノ風説ヲ流布シタルカ如キ此ノ間ノ消息ヲ知ルヘシ）

サレハ墨國ニ於テハ大體ニ日本移民ヲ歡迎スルノ傾向アリト雖從來日本ノ移民ハ可成多クノ勞銀ヲ得ルカ爲メ屢々國境ヲ超ヘテ北米カリフォルニア州ニ脱走ヲ企ツル爲メ墨國政府ハ決シテ日本ヲ排斥スルカ如キコトナキニモ拘ラス日本政府ハ北米トノ干係上墨國ニ對スル移民ノ渡航ヲ禁スルニ至リシハ蓋シ已ムヲ得サルニ出テタル措置ナリト云フヘシ

輸出入

墨西哥ノ產物ニシテ我國ニ輸入セラルヘキモノハ差當リ皆無ト云フモ不可ナシ即チ鑛物、煙草等ハ我重要輸入品ニ非ス又護謨原料ハ將來ハ知ラス當分ハ其ノ需要大ナラス其他「マホガニー」ト稱スル西洋建築及家具材料、「ヘネグエン」ト稱スル恰モ棧欄ノ如キ非常ニ強キ纖維ヲ有スルモノ（船舶用ノ索）等アルモ是亦需要ノ見込少ナキヲ以テ殆ント輸入品トシテ論スルノ價值ナシ然シテ日本ヨリノ輸出品トシテハ絹手巾最モ有望ナリ彼地ハ熱度高キタメ土人及雜種ハ常ニ日本ノ絹手巾ヲ頸ニ巻キ「ガラ」ノ代用ニ供スル外絹手巾ハ病除ノ效アリトノ一種ノ迷信アリテ之ヲ需要スルモノ多シ其ノ輸入額ハ一年約三四百萬圓ニ達セルモ日本人ノ手ヲ經テ輸入セラル、ハ四分一ニ過キス其ノ他綿布、「メリヤス」並ニ一切ノ雜貨類ノ如キハ土人及雜種ノ社會ニ供給スルノ目的ヲ以テ粗末ニシテ且廉價ナルモノヲ輸出セハ成效ノ見込ナキニ非ス唯同國ハ富有ノ人歐米ノ如ク多カラサルト關稅ノ低廉ナラサルハ當初ヨリ心



得置カサルヘカラス

第二款 巴奈馬

巴奈馬ノ工事ハ元トコロンビヤ合衆國ノ領域中ニアリシトキ佛蘭西ノ蘇士運河ノ開鑿ニ成效セシ「ド、リセツブ」氏カ之レカ開鑿ニ著手セシヲ以テ初メトス氏ハ約五億ノ資ヲ投シタルモ半途ニシテ不成功ニ終リシ爲メ遂ニ詐欺師ノ汚名ヲ蒙リ其ノ事業ハ一時中止トナリシカ其ノ後米國政府ハニカラグワ運河ヲ開通セシムルヨリモ寧ロバナマ地峽ニ運河ヲ設クル方却テ得策ナリトノ議ヲ決シ佛蘭西會社カ遂行セシ既成ノ事蹟ノ全部ヲ擧ケテ之ヲ八千萬圓ニテ買收スルコトニ決シ同時ニコロンビヤ政府ニ對シテモ毎年一定ノ金額ヲ支拂ヒ外ニ一時金若干ヲ給付スルノ條件ヲ以テバナマ運河ノ開鑿ヲ再興シ且此ノ運河ノ左右各五哩ヲ米國ニ讓受ケ永久ニ租借權ヲ設定センコトヲ申込ミコロンビヤ政府モ亦之ニ對シテ同意ヲ表セシカ國會ノ反對アリシタメ遂ニ不成立ニ終リシヲ以テバナマ地方一帯ノ人民ハコロンビヤ政府ヨリ獨立シテバナマ共和國ヲ創設シタリ米國ハ其獨立ヲ認ムルト共ニ一方コロンビヤ政府ニ對シテモバナマ獨立ノ承認ヲ迫リテ成效セリ而シテ此ノ新立共和國ト新ニ條約ヲ締結シテ運河ノ左右各五哩ノ永久租借權ヲ獲得シ遂ニ所期ノ目的ヲ達シタルモノナリ故ニ今日ニ於テハバナマ共和國ハ形式上一ノ獨立國ニ相違ナキモ其ノ運河地帯ハ北米合衆國ノバナマ出張所トモ見ルヘキモノナリサレハ此ノ中樞ノ地帯ハ無論米國法ニ依テ支配サレ支那人ノ上陸禁止モ依然トシテ行ハレツ、アリ故ニ將來

バナマ地峽ノ設計

此ノ運河ノ開通ニ至ルモ東洋人ハ米國內地ニ入ルト同様ノ心得ヲ要スルモノトス  
 次ニバナマ地峽ノ工事設計如何ト云フニ太平洋方面ニ在リテハ湖ノ干満ニ十九呎ノ差アルニ大西洋方面ニ於テハ僅カニ一呎餘ノ差ヲ見ルニ過キサル爲メ即チ兩者ノ間ニ約十八呎ノ大差アルヲ以テ『水平運河』ヲ造ルコト能ハス故ニ恰モ我琵琶湖ノ疏水工事ノ如ク「ロック」(閘門)運河ノ設計ヲ採用セリ而シテ著手以來最早殆ント二分ノ一以上ノ開鑿ヲ終リタリ殘ル所二分ノ一ニシテ開鑿工事ハ全部完成スル順序ナリ然レトモ此開鑿ノミニテハ未タ巴奈馬運河ノ竣工ヲ告グル能ハス即チバナマ地峽ニ水ヲ溜メル爲ニハ其ノ兩端ニ土堤ヲ築カサルヘカラス而カモ其ノ土堤ノ長サハ千七百呎ノ大工事ニシテ少クトモ五年ヲ要スヘク次ニ又船渠ヲ築ク爲メニ約二年ヲ要スヘシ併シ此等ノ工事ハ皆同時ニ著手スル筈ナレハ今日ノ儘ニテ進行スルトキハ明治五十年前後ニ於テ全部竣工ヲ告グルモノト見テ大差ナカラン(今日ニテハ明治四十八年頃)又其ノ費用ハ總計四億萬圓ノ豫算ナルモ實際ハ到底不足ヲ免レス結局六億萬圓ヲ要スル見込ナリト云フ

運河開通期

巴奈馬地峽ニ在ル勞働者ノ數ハ二萬九千人、家族ヲ合セテ六萬人アリ米國政府ハ此等ノモノニ對シ肉蔬菜、麵粉等ノ食料品ヲ供給シツ、アリ而シテ之カ爲メ肉及蔬菜ノ類ハ常ニ皆冷藏庫ニ貯藏セリ又タ巴奈馬國ノコロンドンニハ世界第一ノ麵粉燒場ヲ設置セリ元ト佛蘭西人ノ經營セシ時代ニハ勞働者ノ病死スルモノ多數ニ上リ殊ニバナマ鐵道架設ノ際ニハ一本ノ枕木ニ付キ一人宛ノ死者(多クハ支那人)ヲ出



シタルカ如キ慘狀ヲ極メシカハ米國政府ハ之ニ鑒ミ特ニ衛生上ノ設備ニ意ヲ用ヒ肉蔬菜類ノ冷藏庫以外勞働者ノ住家ト雖モ外部ニ鐵網ヲ張り蚊蠅類ノ來襲ヲ防クト共ニ之ニ依リテ赤痢、マラリヤ、黃熱等ノ惡疫ヲ豫防スル等衛生設備ニ多額ノ費用ト非常ナル注意ヲ用ヒシ爲今日ニテハ勞働者モ安ンシテ仕事ニ從事シツ、アリ此ノ如ク米國政府ハ費用ヲ惜マス大々的設備ヲ以テ直轄事業トシテ其ノ進行ヲ計リツ、アルカ故ニ此ノバナマ運河ノ成效不成就ハ最早問題ニアラスシテ米國人ハ自國ノ名譽ニ關スル事業トシテ必ラス遂行スルコトナラン其ノ竣功期ノ果シテ明治五十年ナルヤ否ヤハ暫ク措クモ結局成效スルコトハ毫モ疑ナキ處ナリ

第三款 祕露

世界ニ稀有ノ氣候

南米ノ西岸ニ沿フテ南方ヨリ北方ニ向ヘル大潮流アリ之ヲ「フンボルト、カレント」大潮流ト稱ス此ノ潮流ハ寒流ナルカ爲ニ其ノ上ニハ絶ヘス寒風吹キ渡リ太平洋ヨリ濕氣ヲ脚ンテアンデス山ニ到ラントスル暖風ヲ遮ル爲メ祕露ト智利トノ國境ハ終年降雨ヲ見ルコトナク世界ニ稀ナル無雨帶ヲ現出セリ故ニ祕露ノ國內ハ到ル處砂漠或ハ土漠トモ稱スヘキ灰狀ノ土質ニシテ植物極メテ乏シク殆ント目ニ一青ヲ見サルノ光景ナリ

産物

祕露ノ産物ハ硝石、鳥糞、砂糖、棉花、珈琲等其ノ主ナルモノナリト雖モ硝石地帯ハ約二十年前智利トノ戰爭ニ敗岬ノ結果遂ニ智利ノ有ニ歸シ又鳥糞ハ彼ノアンデス山ニ鐵道ヲ敷設スル際英吉利ヨリ巨

萬ノ資ヲ借入レ其ノ國債ノ免除ヲ受クル爲メ交換條件トシテ其ノ探掘權ヲ英國ニ讓與セリ故ニ今日ニテハ鳥糞ハ祕露ノ産物ナリト雖モ畢竟英人カ獨占シテ歐洲へ輸出スルト云フニ過キサルナリ砂糖ハ品質良好ニシテ其ノ粒太ク且一度水洗ヲ行ヘハ九十七、八パーセントノ純分ヲ含有スルカ故ニ粗製糖ニテモ色白ク恰モ我精製糖ニ近似セリ然ルニ我日本ニ於テハ糖色ニ依リ關稅率ヲ異ニスル爲メ彼國ノ一番糖ハ粗製糖ナルニモ拘ラス之ヲ我國ニ輸入スルトキハ精製糖ト同等ノ關稅ヲ課セラル、カ如キ不公平アルヲ以テ今日ニテハ二番糖ト稱スル赤色糖ノミ多量ニ輸入スル狀況ナリ大統領「レギヤ」氏ハ我國カ砂糖ノ色澤ノミヲ以テ課稅標準トスルハ兩國貿易ノ爲非ナリトシ宜シク品質ヲ以テ其ノ標準トスルノ規定ニ改正スヘシトノ希望ヲ言明セリ惟フニ祕露ヨリ我國ニ輸入スヘキモノハ其ノ大部分ハ砂糖ナルカ故ニ此ノ關稅問題ニ付テハ南米貿易ノ發展ヲ圖ルカ爲メニハ將來一考スルノ價值アルヘキヲ信ス棉花ハ「ベルビヤン、ラック」ト稱スル最良質ノモノヲ産出シ主トシテ歐洲各國ニ輸出セラル其金額一年約四百萬圓ナリ

交通

次ニ祕露ノ國內ニハ彼ノ高峰アンデス山ノ縱斷セル爲メ陸上ノ交通甚タ不便ニシテ爲メニ文運ノ進歩ヲ妨グルコト尠カラス例ヘハ自國內ヲ旅行スルニモ遠ク倫敦ヲ迂回スルノ奇觀ヲ呈セルカ如キ地方アリ即チアマゾンノ上流ヨリ首都リマ市ニ赴カントスルニハカリアオヨリ船便ニ依テ巴奈馬ニ出テ更ニ巴奈馬ヨリ倫敦ヲ經由シテアマゾン河口ニ達シテ之ヲ溯航スルカ如キ其ノ一例ナリ



第四款 智利

人口、氣 智利國ハ人口約三百五十萬ニシテ其ノ國民ハ活潑ニシテ且ツ江戸兎流ヲ尙ヒ最モ負心ニ富メルコト等  
ハ我邦人ノ性格ニ酷似セルモノ多シ領土ノ面積ハ日本ノ約二倍ナルカ人口ノ割合ニハ比較的大規模ノ  
軍備ヲナセリ即チ海軍ニハ戰艦一隻、巡洋艦五六隻、水雷艇十二三隻ヲ有シ又陸軍モ相當ノ設備ヲ  
ナセリ之レ同國カ歴史上ノ關係ヨリシテ北方祕露ヲ威壓スルノ必要アルニ依ルモノナリト云フ

產物

智利ノ唯一ノ產物ハ硝石ナルカ此ノ硝石ハ世界ニ有名ナルモノニテ智利ノ經濟上ノ財源ノ過半以上、  
又政府ノ歲入ノ過半(輸出)ハ此ノ硝石ヨリ生スルモノナリ而シテ硝石地帯ノ所有者ハ盡ク「シンデゲ  
ト」ヲ組織シ又勞働者ハ勞働組合ヲ結ビ外國市場ニ對スル生産過多ノ弊ヲ防キツ、アリ然ルニ近頃獨  
逸ニ於テ空氣中ヨリ窒素ヲ分解スル電氣學上ノ發見アリシタメ智利人ハ非常ニ警戒ヲ爲シツ、アリ蓋  
シ此事ニシテ若シ成效センカ當ニ智利ノ經濟上ノ財源ヲ枯渴スルノミナラス政府ノ歲入モ又同時ニ過  
半ヲ失フノ結果ヲ生スヘケレハナリ加之智利ニシテ若シ破産状態ニ陥ランカ勢ヒ隣國ヲ侵スニ至ラ  
ンモ測ラレストテ亞爾然丁及祕露ニ於テモ空氣中ノ窒素問題ニ付キ多大ノ注意ヲ拂ヒツ、アリト傳ヘ  
ラル多少誇大ニ失スルノ流言ナルモ又以テ硝石カ如何ニ智利ニ於テ重キヲ爲セルカヲ見ルニ足ルヘ  
シ

移民と商

智利ノ一般ノ人氣ハ概シテ日本移民ノ渡來ヲ歡迎セサルモ日本ハ戰勝國トシテ又海軍國トシテ同時ニ

北米合衆國トノ關係圓滿ナラスト思惟セルカ爲日本國及日本國民ニ對スル同情ハ甚タ深厚ナリ商品ノ  
如キモ特ニ雜貨類ハ其ノ珍奇ナル點ヨリ大ニ歡迎スルノ傾向アリ此ノ外綿布、綿布製品、絹及絹製品  
等モ又多少ノ見込アルカ如シ

第五款 亞爾然丁

亞爾然丁國ハ人口約六百萬人日本ノ約九分ノ一ニ當ル此ノ中印度人ハ五萬人ニシテ黑人及雜種ハ一萬  
人ニ過キス面積ハ日本ノ七倍半ニ當リ全國ヲ通シテ大體ニ平原ノ多キ點ハ祕露及智利ト大差アル處ナ  
リ此ノ平原ハ地味豐饒ニシテ農業及牧畜ニハ最モ適當ノ地ナリ最モ農業ニ於テハ蝗ノ發生甚タシク  
大群ノ襲來スルトキハ白日尙ホ暗キノ光景ヲ呈スト云フサレハ政府モ之カ驅除ノ爲ニハ軍隊ヲ用ヒテ  
迄モ之ニ力ヲ盡セリ若シ亞爾然丁ノ農園ヨリ蝗ノ害ヲ除ケハ實ニ天與ノ樂土ト稱スルモ過言ニアラス  
貿易ハ一九〇六年ニ於テ輸入五億三千九百八十八萬餘圓輸出五億八千四百五十萬餘圓合計十一億二千  
其他鐵及鐵製品、玻璃、陶磁器、石炭等ニシテ輸出品ノ主ナルモノハ牧畜及農業上ノ生産物最モ多額  
ヲ占メ林產物之ニ次ケリ

次ニ亞爾然丁ニ於テハ「契約移民」ヲ拒絕スルヲ以テ日本ノ移民會社ニテハ當分移民ヲ送ルノ見込ナシ  
然レトモ將來獨立ノ移民渡航シテ農業ニ從事セハ大ニ有望ナルヲ以テ相當ノ資産アル者彼地ニ赴キ之



ヲ經營スルニ於テハ利益多カルヘシ

#### 第六款 伯刺西爾

伯刺西爾ハ人口千二百萬人面積ハ北米合衆國ニ比シ稍小ナリ、然レトモ北部アマゾン一帯ノ土地ハ非常ニ高熱ナル爲メ産業ハ同地方ノ護謨事業ヲ除ク外主トシテ南部ノ珈琲栽培ニ集中サレ普通農事ハ一向ニ進歩セス穀物ハアルゼンチンヨリ輸入ヲ仰グノ狀況ナリ

伯國ノ貿易ハ一九〇六年ニ於テ輸入三億六千六百六十七萬四千餘圓輸出五億三千五百九十九萬四千餘圓合計八億九千二百二十六萬九千餘圓ニシテ其ノ主ナル輸入品ハ既製品ヲ第一トシテ之ニ次クモノ食料品ナリ又輸出ノ主ナルモノハ珈琲ヲ最大トシ護謨、精米、砂糖等之ニ次ケリ又此ノ國ノ産業ハ前述ノ如ク珈琲ヲ以テ中心トセルカ故ニ日本ノ移民ハ専ラ普通農業ニ從事スルヲ最モ利益アリトス之ニ次クヘキハ前述シタル水力電氣ノ動力ニ依ル工業ヲ起スコトハ有望ナリ英吉利人ハ已ニ相當大ナル電氣供給ノ設備ヲ完成セリ加之ブラジル政府ハ日本人移民ノ來航ヲ希望シ全國ノ企業家モ亦之ヲ歡迎セル狀況ナレハ南米各國ニ於テ移民ノ最モ有利ニシテ且適當ナル地ハ蓋シ伯刺西爾國ヲ以テ第一ニ推サハルヘカラス

#### 第七款 結論

以上ハ南米各國ノ重ナルモノニ對スル概觀ナリ要スルニ土地多ク且ツ事業多クシテ労働者ト資本缺乏

ス而シテ歐洲人ハ今ヤ漸ヲ以テ此ノ新開地ニ於テ自己ノ運命ヲトセントシツ、アリ南米ト日本トノ通商關係ヲ考フルニ精巧ナル商品ハ之ヲ歐洲ニ讓ルモ中以下ノ需要ニ供スル雜貨ハ之ヲ日本ヨリ供給スルニ適スヘシ唯人口稀薄ナルヲ以テ其ノ分量ノ多カラサルヘキヲ憾トスルノミ工業ニ至リテハ南米各國共ニ北米ノ如ク進歩スヘキ素質ナシト雖モ我工人カ彼地ニ渡航スルニ於テハ大小ノ工業共ニ之ヲ經營シテ有益ナルモノナキニ非ス故ニ單ニ勞働スルノミノ移民ヲ送ルノ外所謂熟練労働者カ彼地ニ渡航シ職業ヲ求ムルニ於テハ必ス相當ノ位置アルヘク又本邦資本家カ土人ヲ率キテ彼地ニ工場ヲ起スモ利益アルヘシ農業ハ大西洋沿岸諸邦ニ於テ最モ其ノ利便多シ資本家カ農民ヲ率キテ農園ヲ開クモ可ナラン然シテ彼ノ指導者ナキ契約移民ヲ多數送ルコトハ尙ホ慎重ノ考慮ヲ要スルモノアルヘキモ伯刺西爾國ノ如キハ從來ノ成績必シモ盡ク失敗ナリト云フヲ得ス相當ノ組織ヲ立テ、精選セル移民ヲ送ルニ於テハ將來有望ナルヘキヲ信セントス

以下篇ヲ追フテ各國ニツキ其ノ狀勢ノ一斑ヲ述フヘシ



附錄  
南米地誌一斑



# 南米地誌一斑

## 緒言

本洲ハ巨  
大ナル三  
角形

南米ハ巨大ナル三角形ヲアシ「パナマ」地峡ニヨリテ北亞米利加ニ連ル北ハ「カリブ」海北東亞ニ東ハ大西洋西ハ太平洋ニ臨ム北緯十  
二度三十分ヨリ南緯五十五度五十九分ニ達シ全長四千八百哩幅三千二百哩面積六百八十八萬方哩海岸線ハ約一萬六千五百哩沿岸ノ出入少  
クシテ肢節ニ乏シキコト「アフリカ」過ギ全洲ノ四分ノ三ハ熱帯ニ賦ハリ海岸ニ島嶼少ナク縱カニ大陸ノ南端ニ沿ヒテ「テラデルフェ  
ロ」「チロ」及「シヨアネス」等ノ島アルノミ人口三千三百三十四萬二千七百アリ

政治上ノ  
區劃

「コロンビア」「エクアドル」「ボリビア」「ペルー」「チレー」「アルヘンチナ」「ブラジル」「ウルグアイ」「パラグアイ」「ギ  
アナ」「ベネズエラ」

## 第一山脈

アンデス  
山脈

主要ナル山脈ハアンデス山脈ニシテ大陸ノ南端ヨリ起リ西岸ニ密接シテ大陸ノ首尾ヲ縱貫シ太平洋岸ニ並行シテ南ハ「マゼラン」海峽ヨ  
リ北ハ「パナマ」地峡ニ達ス其長四千五百哩太平洋ニ向ヒテ急斜シ其間略百哩位ナリ而シテ更ニ北米ニ延長シ「ロッキ」山トナリ全洲ヨ  
リ縱斷シ合セテ九千哩ノ大山脈ヲナス

南米ノ六  
分ノ一ヲ  
占ム

此山脈ハ並行セル山脊ノ集合ヨリ其高原並ニ傾斜面ヲ合ムルトキハ略南米ノ六分ノ一ヲ占ム之ヲ三大部ニ區分スレハ南中北ノ山脈トナ  
ル

南部アン  
デス

一、南部「アンデス」山脈ハ一ノ山脈ヨリ南部ノ「ホーン」岬ヨリ南緯二十三度半ニ至ル部分ナリ「アンデス」山系中ノ最高峰「アコンカグ  
ア」峰ハ此脈中ニアリテ高さ二萬三千二百九十四尺アリ

中部アンデ  
ス

二、中部アンデス山脈ハ二列ノ山脈ヨリ成リ南クズコヨリ分岐シ南緯十度ノパスコニ至リテ又連結ス此山脈間ニ橫斷山脈連互シ高嶺ヲ  
作ル



北部アンデス 三、北部山脈ハヘルニアニ於ケルパスコヲ起點トシ分レテ三條トナリキト一附近ノ山脈中ニハアコンカグアニ匹敵ス可キ高峰アリ  
 全山脈一帯若石ヨリ成リ往々二千尺乃至三千尺ノ高サニ達シ其重厚點ハ海拔六千九百尺ニ達ス「パタゴニア」ニ於ケル「アンデス」山脈ハ南緯四十二度マデ直上シ太平洋ニ面スル方面ハ若石ニテ成レル島嶼ニテ包マル而シテ島嶼ハ大山作用ニヨリテ本大陸ヨリ分離シタルモノノ如シ

チレニア 〔チレニアアンデス〕ハ南緯四十二度ヨリ二十一度マデ一列ノ山脈ナレトモ北部ハ數條ノ山脊ヲナス  
 主要ナル峰ハ「アンソコ」火山(一萬六千尺)「メープ」火山(一萬五千尺)「ツパンガト」(一萬五千尺)等ナリ南部「アンデス」平均高度ハ他地方ヨリ低シト雖「アンソコ」火山ノ重厚點ハ獨リ南部ニ於ケルノミナラズ全山脈中ノ最高峰タル二萬三千二百九十四尺ナル「アコンカグア」峰ノ如キハ却テ此内ニアリ(此地方ニ於ケル雪線ハ一萬四千尺ナリ)

此「チレニアアンデス」ト太平洋トノ距離ハ八十哩ヨリ百五十哩其地域ハ海拔一千尺乃至一千五百尺ニ及フ南部ノ低地ハ植物繁茂スレトモ山地ニ至ルニ從ツテ繁茂セス  
 「ボリビア」ニ於ケル「アンデス」ハ全山脈中ノ中央部ニシテ南緯二十一度ヨリ十四度ニ至ル其長七度幅二百哩ヨリ二百五十哩ニ達スル巨大ナル岩層ヨリ成ル南緯十九度ノ所ニ於テ二大縱山脈ニ分レテ主要山脈ハ東部ニアリ西部ニ走ルモノハ海岸山脈ナリ竝走シテ其中間ニテ「サグワデル」ト稱スル高臺ヲ作ル高臺ハ一萬二千七百尺ナリ兩山脈ノ距離ハ二百三十哩ナレトモ所々横斷山脈ニヨリテ接續ス太平洋ノ傾斜面ハ其句配大ナリ東部モ亦急ニシテ多クノ支脈ヲ有ス此部ニ於ケル主要ナル頂點左ノ如シ

海岸山脈	緯度	經度
「サンマ」	(二萬二千三百五十尺)	一八、〇七
「バリナコタ」	(二萬二千三十尺)	一八、一七
「ガラテリー」	(二萬一千九百六十尺)	二〇、一三
「ボマレーブ」	(二萬一千七百尺)	一八、〇八
「ミスチー」	(一萬八千五百三十八尺)	一六、一九

「チビカニー」 (一萬九千七百四十尺) 一七、四〇 六九、四七  
 東部山脈  
 「ソラタ」 (二萬一千二百八十六尺) 一六、三八 六七、四九  
 「エリマニー」 南嶺(二萬千四百九十九尺) 一六、三三 六八、二五  
 北嶺(二萬千四百三十三尺) 一五、五二 六八、三三  
 「アンコヒーマ」 南(二萬千二百八十六尺) 一六、〇〇 六八、二五  
 「キアキアコマニー」北(二萬二千三百三十五尺) 一九、三〇 六八、一〇  
 「スパイワシー」 (二萬二百六十尺) 一六、三〇 六九、五二  
 「メサダネバダ」 (一萬九千〇六十尺) 一六、一〇 六八、一四  
 「アンゼル」 (一萬九千二百十尺) 一六、二五 六八、五八  
 「カカカ」 (一萬八千二百十尺) 一四、五七 六五、一〇  
 「コロロ」 (一萬七千九百三十尺)

此表ニヨレバ高峰ハ高臺ノ西部ニアルコトヲ知ルヘシ  
 「ヘルニア」ニ於ケル「アンデス」山脈ハ幅五十哩乃至百哩ノ砂漠ニヨリテ太平洋ニ臨ミ南緯十四度ヨリ五度ニ至ル東部ニ二支脈ヲ出シ一ハ北西ニ走リ「マラノン」河「ウアラガ」河ノ間ヲ過ギテ其分水界ヲナス他ノ一ハ「ウアラガ」河「ウカヤル」河ノ間ヲ走リ一萬一千尺ノ高臺ヲ圍ム之ヲ「バスヨ」或ハ「ウアヌコ」ト名ツク主要山脈ハ海岸山脈ナリ西北西ニ走リ太平洋ト竝行ス其太平洋トノ距離七十哩ナリ  
 エクアドルニ於ケル山脈ハ南緯ニ始マリ殆ント正北ニ走リ「キトー」ノ高臺ニ至ル高臺ハ長二百哩幅三十哩海拔九百六十尺ニシテ世界中最大ナル火山ノ列ニヨリテ圍繞セラレ

東山脈ニハ左ノ噴火山アリ  
 南米地誌一斑  
 二五



- 「サンデー」 (一萬七千二百尺)
- 「ツオングラガ」 (一萬六千五百七十九尺)
- 「コトバキシユ」 (一萬八千八百八十尺)
- 「アンテサナ」 (一萬九千四百八十八尺)
- 「カヤシベ」 (一萬九千五百三十五尺)

西部山ニ於ケル火山ハ「チンボラゾ」(一萬二千四百二十尺)ナリ  
南緯二度ノ東側ニ於テ「バラモ」ト稱スル山麓アリテ是ヨリ三列ニ分レ北上ス

- 一、「スマバズ」山脈ニシテ北東ニ走リ「マテカイボ」ノ湖ヲ過キ「カラカス」ニ至ル
- 二、「クエンゾ」山脈ニシテ北東ノ方向ヲトリテ「カウカ」及「マクダレナ」兩河ノ間ヲ走ル
- 三、「ココ」山脈ニシテ太平洋海岸ニ沿ヒ「バナマ」地峽ニ至リ「ロツキ」山脈ト連続ス

雪線上ニ屹立スルモノハ東部山系ニシテ「ドリマ」火山(北緯四度四十六分西經七十五度三十七分)ハ海拔一萬八千二百七十尺ニ達ス  
此雄大ナル山系ニハ歐洲ノ最高峰ノ頂點ニ等シキ處ニ數條ノ峠アリ此峠ハ大嶺狭キ險路ニシテ通行最モ危險ナリ

「アレクニバ」ヨリ「ブ」ニ至ル峠ハ海拔一萬四千六百二十尺  
「リマ」ヨリ「タルマ」及「バスコ」ニ至ル峠ハ一萬五千七百六十尺ニシテ「アンデス」山脈中最高ノ峠ナリ其他數條ノ峠アリテ何レモ一萬五千尺内外ナリ

峠旅行ト

旅行ハ驢ト北馬トノ間ニ生レシモノ「ク」及「ラマ」ノ背ニヨリテナスヲ常トス峠ハ何レモ滿目荒涼深谷懸崖左右ニ迫リ峻坂羊腸石磴立  
一步ヲ誤マレバ千仞ノ谷ニ墮ル可シ  
「ヘル」鐵道會社ニテハ海岸ヨリ「チ、カ、カ」湖畔ノ高臺ニ線路布設ノ計畫アリ  
「コロヤ」鐵道ハ海拔一萬五千六百五十尺處ニ隧道ヲ開鑿セリ  
此山脈ノ岩石ノ一部ハ花崗岩片麻岩雲母粘板岩ヨリ成リ大部分ハ「グリンストーン」雲母岩、玄武岩、石灰岩、砂岩、礫岩、等ヨリ成ル岩體

石質黃紫水晶其他ノ寶石及大抵ノ金屬アラサルハナク石炭層ノ如キハ高所ニモ存在シ鑛物ノ豐富ナルコト疑ケ可シ  
「チレー」アンデス」ハ活火山多ク十九座ヲ有ス

チ、カ、カ、  
湖畔ニ於  
ケル農産  
物

「エクワドル」アンデス」亦活火山ヲ有シ現時尙熾烈ヲ極ム大西洋ト此山脈トノ間ハ世界中最モ地震ニ富メル地方ナリ  
南端ハ氷河ノ痕跡ヲ存スレトモ他ニハ見ルコトナシ雪線ハ「チレー」ノ西山脈ニ於テハ一萬三千八百尺赤道下ニテハ一萬五千尺「ボリビ  
ア」ニテハ一萬七千尺而シテ馬鈴薯ハ九千八百尺乃至一萬三千尺ノ山上ニ於テ栽培セラレ小麥ハ一萬尺ノ處ニ於テ生育ス燕麥ハ一萬二  
千七百尺ノ高所ニアル「チ、カ、カ」湖畔ニ於テ成熟ス

銅山

此山名ハ「ペルー」語ノ「アンチ」ヨリ來リ銅ノ意味ニシテ最初ハ「クズコ」附近ノ山脈ニ付シタル名ナリシガ遂ニ全部ノ山系ニ擴  
用スルニ至ル「ブラシル」山系ハ數條ヨリ成リ海岸ニ接シテ走ルモノト遠ク内地ヲ駛走スルモノトアリ海岸山脈ハ「ブラシル」山系中  
高キモノナレドモ五千尺以上ニ達スル高峯稀ナリ海岸山脈ノ北部ナル「シユライスピ」ハ(七千七百尺)ハ南ニ向ヒ南緯十度ト二十  
三度トノ間ヲ走ル「シユラドス」イルマオス」等ノ山脈ハ北ニ赴キ海岸主要山脈トノ間ニ河谷ヲ造リ「シユラドス」バートンテス」ハ「ア  
マゾン」下流ノ水域地ト「バラグアイ」「バラナ」兩河ノ流域地トノ間ヲ走り高低起伏不規則ニシテ甚ダ高カラス

海岸山脈

海岸山脈ノ南部ハ峻峭ニシテ起伏多ク内地ノ山脈ハ傾斜緩ニシテ高カラス  
是等山脈ニ伏在スル鑛物少ナカラサレトモ此山脈ニ繁茂スル森林ノ産額ニ及ハサルコト遠シ

バリム山  
系

「バリム」山系ハ北「オリノコ」河ノ流域地ト南「アマゾン」流域地ト分水界ニ連車セル數條ノ山脈ヨリ成ル主要ナル山脈ハ「オリノコ」  
流域地及「アマゾン」流域地ヲ連接ス「カシクエアル」河ヨリ東方「アマゾン」河トニ近キ海岸ニ連車スル山脈ニシテ西部ヲ「シーラ  
バリム」ト云ヒ東部ヲ「シーラアカレ」ト云フ「シーラ」ハ錐ノコト)是等山脈ノ平均高度ハ四千尺ニシテ分水界上二千尺ナリ南北兩  
斜面ニハ通行シ能ハサル森林繁茂セリ許多ノ河川ハ兩方ノ平野ニ流レ處々巨大ナル飛泉急湍立列ス此「バリム」山系ハ地質學上ノ考證  
ニヨレハモト一ノ島ナリシカ第三世紀以後「オリノコ」「アマゾン」兩河ノ堆積作用ニヨリ本土ト連續シタルモノナリト稱セラル

第二 河流

南米ノ大部ハ殆ント大西洋ニ傾斜スルヲ以テ大河ハ大抵大西洋ニ注ク

南米地誌一斑



「アンデス」山ハ太平洋ニ接近シテ走ルヲ以テ太平洋面ニハ大河ヲ涵養スル餘地ヲ有セス。  
 「パリム」山系以北ノ傾斜面ニハ「オリノコ」河アリ  
 「アンデス」山系東部「ブラジル」山系以北ニハ「アマゾン」河アリ  
 「アンデス」山脈ノ東部「ブラジル」山脈ノ以南ニハ「ラブラタ」河アリ  
 「オリノコ」河ハ印度語ニテトグロマケル蛇ノ義ニシテ源ハ「パリム」山脈ノ西部ヨリ發シ西北東ニ流レ「パリム」ノ北部及「アンデス」ノ東部「カリビアン」海傾斜面ノ諸水ヲ集メ「ベネズエラ」ノ中央ヲ貫流シ數多ノ河口ニ分レ北緯八度四十分西經六十二度ノ處ニテ大西洋ヲ作り大西洋ニ注ク長一千六百哩流域地三十六萬六千方哩上流ハ急湍アリ航行ニ不便ナレドモ下流略九百哩間ハ舟楫ノ便アリ支流ノ有名ナルモノハ

- 「アタパホー」
- 「カロネー」
- 「グアビアレー」
- 「カウラ」
- 「メタ」
- 「ベンチヤレー」
- 「アラウカ」
- 「アブレ」

是等ノ支流中ニハ歐羅巴ノ多瑙河ヨリ大ナルモノアリ「オリノコ」河ハ「カシクエアレ」河ニ依ツテ「アマゾン」河ノ支流「ニグロ」河ト相通ス

河口ヨリ六百哩ノ處ハ幅殆ンド三哩、二百五十哩上流ナル「アングオスチラ」ハ幅四哩、河口ニ近キ處ハ二十哩以上アリ河口ノ前面ニハ「トリニット」島アリテ三角洲ヲ成ス此河ニハ二ヶ所ノ急湍アリ「アツレス」及「メープレスト」呼ブ「アツレス」ハ北緯五度八分ノ處ニアリ「メープレスト」ハ「アツレス」ヨリ略三十六哩ノ下流ニアリ此等ノ急湍ハ無數ノ小深ヨリ成リ許多ノ岩石河床ニ横ハリ河幅八千

尺ナレドモ是等ノ岩石ノタメニ水路ハ僅カニ二十尺ヲ有スルノミ水盤ハ四月ヨリ十月迄漸次増水シ七月八月ニ至リ最高ニ達ス此期ハ間流域地ニ氾濫ス兩岸ハ樹木鬱蒼無數ノ動物棲息ス

四月ハ水量低減シ河口ヨリ二百五十哩上流「フンゴスチラ」迄滿潮ス

此河ノ排水量ハ一秒間ニ約五十萬立方尺ニシテ支流ハ大抵舟楫ノ便ヲ有ス北東ノ貿易風ハ大西洋面ヨリ來ルヲ以テ船舶ハ數百哩ノ上流迄溯リ得ル便宜ヲ有スト云フ

上流ハ森林帶ニシテ下流ハ荒蕪タル「ラノス」ナリ牛馬ハ盛シニ此地ニ於テ牧養セラレ耕作地ハ播種三十回ニシテ始メテ一回ノ肥料ヲ施スノミ如何ニ肥沃ナルカラ知ルニ足ル

アマゾン河  
 コロンブスノ發見  
 此河口ハ千九百九十八年(足利義隆時代)「コロンブス」ニ依ツテ發見セラレ千五百三十一年ニ「デニゴ、デ、オルダツ」ニ依ツテ航行セラル「アマツナ」ハ印度人ノ所謂小船ヲ破壞スルノ意ナリ

河口ハ著名ナル暴瀾滿ト程スル急激ナル潮流アリテ滿月ノ時ニ起リ大西洋ノ海水一丈五尺餘ノ波浪ヲナシ逆上シ來リテ其益烈ナルコト船舶ヲ破壞ス可シ(千滿ノ差五十尺)

四千哩長

水源ハ「ペルー」アンデス」ヨリ發スル「マラノン」及「ウカヤリ」ノ兩河ヨリ出ツ此流ノ本流ナル「マラノン」河ハ南緯十度三十分西經七十六度十分ナル「セルロデパスコ」ノ銀山ニ近キ太平洋岸ヲ距ル六十哩ノ「ローコカ」湖水ヨリ發シ五百哩間北方ニ流レ南緯ニ至リ「エシワドル」ニ達シ右折東流シウカヤリ河ヲ併セテアマゾンノ本流トナリブラジルニ入り赤道直下ノ大平原ヲ流レ大西洋ニ注ク長四千哩河幅ハ河口ヨリ二千哩ノ上流「タバチンガ」ニ於テハ一哩半「マデイラ」河ノ會合點ニテハ三哩、五百哩ノ上流「サンタレム」ニテハ十哩ナリ流力ノ速力ハ一時間三哩ナリ而シテ水量多キヲ以テ動力非常ニ大ニシテ海岸ヨリ凡三百哩ノ沖迄海中ヲ東流シ湖水ト混セスト云フ河口ヨリ二千二百哩間ハ大船ノ航行ニ適シ大西洋ヨリ殆ント「アンデス」山下トノ交通ヲ便ニセリ河口ヨリ千哩上流ナル「マナオス」ニ於テハ平均深度二十七尋ニシテ最深キ處ハ五十尋ニ達ス

河口ハ幅五十哩「マラジョ」ト名ツタル一大島アリ本支流ノ流域ハ二百萬方哩アリ

西經六十四度四十分南緯三度ナル「テツフイ」ヨリ以東ハ支流縱橫湖澤多ク水恰モ網ノ目ノ如シ



本支併セ  
テ一萬五  
千哩ノ航  
路  
密林蒼鬱  
雲尚晴

若シ廣野ノ中ニ立チテ四方ヲ眺ムレバ水天相接シ宛然大洋ニ於ケル島嶼ノ如シ河豚海牛鴨「フリゲードバード」(一種ノ水鳥)等棲ミ旅人ヲシテ大ナル内海ヲ旅スル思ヒアラシム  
殊ニ此河特殊ノ光景トモ云フヘキハ深林ヲ流ル、數千ノ河川中ニ土人が獨木舟ヲ操リ上下スル一事ナリ本流二千四百哩間ハ急湍飛泉ノ航行ヲ妨ケルナク加之貿易風ハ川上ニ向ツテ吹クヲ以テ航行ノ便大ニ本支併セテ一萬五千哩ノ航路ヲ有シ汽船ノ往復ニ堪ユ可シ此國ハ歐米列國ニ船舶ノ航行ヲ許可シタレトモ未ダ河口ニ近キ「バラ」ヲ除クノ外繁盛ナル商業地ヲ存スルニ至ラス  
此河ノ流域地ハ常緑ノ密林蒼鬱天日ヲ蔽ヒ雲尚晴キ大叢林ヲナシ所謂世界稀有ノ大樹モ此間ニアレドモ客生ノ纏繞植物繁茂シク爲メニ一步モ足ヲ踏ミ入ルコト難ク舟行ニアラサレハ近寄ル能ハスト云フ林中ニハ無數ノ動物棲息ス尾長猿ノ群ヲナシテ樹間ヲ攀登昇降スル猿猴ニ奇觀ナリ材木ハ材質堅緻ニシテ木理美ナルヲ以テ指物ノ材料ニ適ス  
本支ノ河水中ニハ二千種以上ノ魚類棲息シ上流ニ産スル「ウミカメ」ハ美味ヲ以テ有名ナリ  
長サ千哩以上ノ支流十二ヲ存ス中最も有名ナルモノハ「マデイラ」ナリ  
北方ヨリ注グ重ナル支流ハ

- 「ナボ」
- 「アツマヨ」
- 「ジャブラ」
- 「ネグロ」
- 南方ヨリ注入スルモノハ
  - 「ウカヤレ」
  - 「ジャバリー」
  - 「ジュネー」
  - 「シユルマート」

- 「ラブレト」
- 「ブルス」
- 「マデイラ」
- 「ダシヨス」
- 「ジング」
- 「トカチンス」

此河ノ傾斜ハナボ河(千八百哩)ノ會合點ニテハ一哩ニ付僅カニ二吋ナリ  
潮汝ハ「バラ」市ヨリ四百五十哩ノ上流「オビドス」ニ及ブ此河ハ規則正シク水量ノ増減アレドモ何レモ同時ナリト云フヲ得ス十二月一日ヨリ六月迄増水シ下流ハ九月ヨリ十月ニカケ最も減水ス北方支流ノ滿水ハ夏秋ノ間ナレトモ最も本流ニ影響スルハ十一月十二月一月ノ候ニシテ南部諸水ノ増水期ハ即太陽ノ赤道以南ニ在ル時ナリ

婦人武士  
ラブラタ  
河  
入  
如  
ノ  
キ

此河ハ河口ハ千五百年(義證時代)西班牙人「ビンゴン」ニ發見セラレ後同國軍人「オレラナ」ニヨリテ航行探險セラレ「ナボ」「マラノン」ノ會合點ニ達セリ「オレラナ」ハ其航行中土人ノ話ニヨリテ此附近ニ婦人ノ武士即「アマゾン」部族ノ棲メルヲ確メタリ  
スイスノ學者「アカシス」ハ千八百六十五年(慶應元年)學術的探險ヲナシタリト云フ  
「ラブラタハ」西班牙語ニテ銀河ノ意ナリ其流域地ニ銀鑛多キヲ以テ發見者斯克命名シタリ  
「バラグアイ」「バラナ」「ウルグアイ」三大河ノ會合シタルモノニシテ一大海ノ如キ入江ナリ其長二百哩上流ヲ加フレバ二千五百哩千二百五十哩ハ舟楫ノ便アリ「バラナ」及「ウルグアイ」河ノ會合點ハ南緯三十四度西經五十八度三十分ノ所ニシテ其流域地ハ「アマゾン」河及「トカチンス」及「サンフランシスコ」ノ三河ノ流域地以南ノ諸水ヲ集メ「アルヘンチナ」「バラグアイ」「ウルグアイ」「三共和國」諸水ヲ合セテ海ニ入ル世界第一ノ幅廣キ河ニシテ「バラグアイ」河ト「マデイラ」河トノ分水界ハ僅カニ四哩ニシテ洪水ノトキハ兩河相通ス若シ茲ニ運河ヲ設クレバ「オリノコ」「アマゾン」「ラブラタ」ノ三大河ハ相通スルヲ以テ世界最大ノ通路トナル可シ

南米地誌一斑



巴拉ナ河 「巴拉ナ」河ハ「ブラシル」ノ海岸山脈ノ西麓ヨリ發シ所々ニ急湍飛泉アリテ船行ヲ妨グ瀧ノ大ナルモノハ「ブラシル」ノ「サルトグランド」ニアリ直下百四十五尺アリ「コリンテス」ニ於テ「バラグアイ」河ニ合ス  
「バラグアイ」河ハ西「ブラシル」ノ高嶺ヨリ發シ南流シ「デアンデス」ヨリ發スル數多ノ支流ヲ合セテ南流ス  
二期ニハ氾濫シ十尺乃至十二尺ノ深サヲ以テ流域地ヲ潤フ「ブエノスアイレス」ノ北西數哩ノ地ニ於テ「ウルグアイ」河ト合シ遂ニラブラタノ大河ヲ作り海ニ入ル「ウルグアイ」河ハ「ブラシル」ノ海岸山脈ノ「シユラカタリナ」ヨリ發シ西南西流シテ「巴拉ナ」河ト並流シ「ブエノスアイレス」ノ北數哩ノ地ニ於テ合ス

平原  
北「オリノコ」河ヨリ南「ラブラタ」河迄ヲ一大平原ト見做シ之ヲ三分スルトキハ  
一「ラノ」「オリノコ」河ノ流域地  
二「セルバ」「アマゾン」河ノ流域地  
三「パンバ」「ラブラタ」河ノ流域地

南米ノ三  
大平野  
「ラノ」ハ英本國ニ殆ソド相匹敵スル廣大ナル平野ニシテ高低起伏アリ乾燥期ハ滿目荒涼黃褐色ナル平原ナレトモ雨期ニ入レハ無數ノ草花ニヨリテ飾ラレ美麗ナル綠色ノ敷物ヲ敷ケルカ如キ觀ヲ呈シ自然ノ牧場ヲ現出ス盛ニ牛馬ノ牧養ヲナス

セルバ  
「セルバ」ハ森ノ叢ニシテ西班牙人ガ「アマゾン」流域地ノ森林帶ニ名ツケタル名ニシテ世界最大ノ森林ト稱セラル東西千二百哩南北八百哩北緯七度ヨリ南緯十八度ニ亙リ凡テノ樹木アリテ太古ヨリ斧鉞ノ聲テ入りシコトナシ特有ノモノハ上昇植物纏繞椰子等ニシテ莖莖ハ攀纏圍繞シ或ハ鎖ノ如ク或ハ梯子ノ如ク繁茂ヲ極メ下部ハ灌木叢生シ足ヲ入ル、コト能ハス

パンバ  
「パンバ」「アルヘンナ」ノ大平野ニシテ即「アンデス」山脈ト「巴拉ナ」河及大西洋ニヨツテ包マレタル部分ナリ此水平ナル草花ノ大洋ト稱セラル、平野ハ長千哩、大五十萬方哩樹木ナク降雨少ナシ  
二期ニハ丈一丈ノ「アサミ」ノ森及丈高キ牧草叢ヲナシ「パンバ」風ト稱スル風吹キ來リテ之ヲ蹂躪ス野生ノ牛馬群ハ此間ニ徘徊ス乾燥期ニハ砂漠ト變シ草花枯死ス

第二 氣候

南米ノ氣候ヲ知ランニハ左ノ二條件ヲ知ルヲ要ス  
一、土地ノ三分ノ二ハ熱帶下ニアルコト  
二、四分ノ三ハ貿易風ノ吹キ來ル處ニアルコト

貿易風ハ大西洋ヨリ北東南東ノ方向ヲトリテ吹キ來ル  
幅ノ最モ廣キ部分ハ赤道直下ニシテ熱下雨量ノ最モ多ク即チ多熱多濕ノ地方ナリ赤道直下ハ終歲雨多シ亞弗利加モ略同緯度ニアルモ最モ幅廣キ處ハ赤道直下ニアラス又何レノ海岸ヨリモ貿易風吹キ來ラザルヲ以テ乾燥シ炎熱殊ニ甚シ

本大陸ノ南部亞弗利加ヨリモ涼シキ原因左ノ如シ  
南北大西洋ヨリ來ルニ流ノ多濕ナル貿易風ハ  
南米ヲ冷涼ナラシムルコト  
多雨ナルコト

大森林アリテ常ニ水分ヲ保持シ且ツ陰影中ニアルコト  
熱帶下ニ山地高嶺等多キコト  
南氷洋ニ突出スルコト

西海岸ハ南氷洋ノ寒流ニ洗ハル、コト  
「アマゾン」ノ流域地ハ森林及東風ニ依リテ緩和セラル、ヲ以テ炎熱酷烈ナラズ期節ニヨリテ氣候ニ多少ノ變化ヲ見レトモ概スレハ永久ノ夏ナリ乾燥ノ二期ニ分レ降雨期ハ一三三四五ノ五ヶ月間トシ雷鳴暴風ノ伴ヒ來ルコトアリ

南米中最モ暑キ處ハ「ペネエラ」ノ「カスカステツア」(曠野)ニシテ最高溫度ハ日蔭ニ於テ九十八度ナリ  
「アマゾン」河畔ノ「バラ」市ハ平均溫度八十度、ブエノスアイレスハ六十八度ナリ

南米地誌一斑



西海岸ニハ長千哩ニ互ル無雨帶地方アリ

第四 地質

本大陸ノ基礎ハ花崗岩ヨリ成リ片麻岩雲母及石英等之ニ混ス

「アンデス」ハ重ニ花崗岩、片麻岩、雲母岩、玄武岩及其他ノ火成岩ヨリ成ル

第三紀層ニ沖積層ハ南米ノ大平野ノ大部分主要山脈間原野ニ海ニ面スル急斜面ニ存ス「パンパ」ノ沃野ハ「ラプラタ」河ノ沈澱作用ニ

ヨル沖積層ナリ

「ブラジル」及其他ニモ赤キ砂岩、石灰岩等存在ス休羅系三疊系ノ岩石ハ「アンデス」ノ西側ニ見出セリ

獨人「フンボルト」氏ハ「ベル」ニ於テ高七千尺ノ高大ナル石英ヲ見タリト云フ

「ペルーアンデス」ニ於テハ一萬四千七百五十尺ノ高處ニ石炭層アリ

「ブラジル」ノ「サンタカタリナ」州ニハ廣大ナル炭田アリ

「ボリビア」ノ「ボトシ」銀山ハ有名ニシテ西班牙人ノ占領以來三億萬以上ヲ採掘セリト云フ

「チレー」ノ「コピヤボ」モ銀ノ産出地ナリ

金ハ「ペルーアンデス」、「ブラジル」、「メネズエラ」、「チレー」ヨリ産ス

銅鑛ハ「チレー」ヨリ多量ニ産ス

「ブラジル」ヨリハ金剛石ヲ産ス

最モ美麗ナル綠柱玉(エメラルド)ハ「コロンビア」及「ベネズエラ」ヨリ出ツ

最モ美麗ナル綠柱玉(エメラルド)ハ「コロンビア」及「ベネズエラ」ヨリ出ツ

最モ美麗ナル綠柱玉(エメラルド)ハ「コロンビア」及「ベネズエラ」ヨリ出ツ

最モ美麗ナル綠柱玉(エメラルド)ハ「コロンビア」及「ベネズエラ」ヨリ出ツ

最モ美麗ナル綠柱玉(エメラルド)ハ「コロンビア」及「ベネズエラ」ヨリ出ツ

最モ美麗ナル綠柱玉(エメラルド)ハ「コロンビア」及「ベネズエラ」ヨリ出ツ

最モ美麗ナル綠柱玉(エメラルド)ハ「コロンビア」及「ベネズエラ」ヨリ出ツ

第五 植物及動物

本大陸面積ノ三分ノ二ハ森林ナリ「アマゾン」ノ流域地及「パラナ」河ノ上流地ハ植物ニ豐富ナルコト世界無比ト稱セラル「アマゾン」ノ森「アカシズ」ハ半哩平方ニ於テ百十種ノ樹木ヲ有ス所謂「ブラジルのマホガニー」、「セドロブラツクハート」、「トートイス」、「セル

ウッド」、「マカランドバー」(高二百尺)等アリ此等ノ樹木ハ家具什器ノ良材ニシテ中ニハ造船ノ材料ニ供セラルモノアリ

諸種ノ樹類蘇方木(スハウ)紅木カツツリ(乳樹)等亦多シ

「モライキセルザ」(グリンハート)等ハ「ギアナ」ノ産ニシテ造船ノ良材ナリ

「アマゾン」ノ流域地ハ高大ナル常緑木天空ヲ被ヒ纏繞植物ノ之ニ纏繞シテ美花ヲ開キ美觀ヲ呈スルノミナラス椰子咖啡、「カ、

オ」、「マニオツク」、「タバコ」、「バナ、」等特産アリ

橡類、「アナ、ス」、「パインアップル」、「ココアナツト」、「葡萄、山竹果(マンゴ)、「ナリモヤ」、「ガーパー」、南米熱帶産物、「マンガバ

ス」、「タピオカ(澱木ニシテ其根ヨク粉ニ類シタルモノヲ採リ土人常食ス)「ハニラ」、「マテ」等各地ニ産ス

甘蔗、小麥、玉黍蜀等南米各地ニ於テ栽培セラル

「アンデス」山下ニ生ズル「イズロキシロン」ト稱スル灌木ハ其葉ヨリ「コカ」ヲ製ス「ボリビア」及「ペルー」ノ土人ハ麻醉性刺激劑トシ

テ之ヲ飲用ス

「アンデス」ノ麓ヨリ出ヅル幾那樹及「アマゾン」湖澤中ニ生ズル「ビクトリアレギサ」ト稱スル世界第一ノ百合ハ共ニ有名ノモノナリ左ニ

明治四十一年四月私ハ森林ヲ調査セラレタル農務技師林學士成川房幸君ノ視察談ヲ參考ノ爲添付ス

先ツ英吉利カラズト來テ「ブラジル」國「リオデジャネーロ」ヘ着キマス此市ハ如何ニモ天然ノ風景私ハ一言ニシテ之ヲ評スレバ湖

戸内海ト松島トヲ一掃ニ集メテ其ノ規模ヲ大ニシタモテアルト言フタノテコサイマス其海岸ハ彌カ上ニ飾リ立テ港ノ中ニハ堂々タル

大船巨船幾十トナシ集ツテ各國ノ國旗カ翻々トシテ是ニ翻ツテ居ル此次ニ「アルゼンチン」ノ都「ブエノスアイレス」是ハ又一層上手テ

如何ニモ立派テ「ラプラタ」河ヲ壅留メ十哩ノ間ニ四ツ五ツノ大キナ「ドック」ヲ拵ヘテ其レニニ萬噸位ノ船ヲ入レルヤウニシテアル港

ノ全盛市街ノ體裁家ノ建テ方店頭ノ飾リ附電車自動車ノ往復ヨリ生活ノ狀態實際ノ禮節等一トシテ歐洲文明ノ都市ニ髣髴シナイモノ

ハ無イ市街ハ紐育ノ如キ大キナ高イ建物ハナイ又「ブリツクリン」ノ橋モコサイマセカ如何ニモ立派ナモノデ何處ニ不健康ノ分子カ

アルカ何處ニ野蠻人種カ居ルテアラウカト思フノテアリマシタ

南米地誌一斑



私ハ此「リオデジャネーロ」ニ往ツテ數日ノ後農商工部省此レハ我農商務省ト通信省トヲ一統ニ集メタ様ナ者テコサイマス其所ヘ往マシテ大臣ニ會ヒマシタ大臣ハ二十九歳テ非常ニ若イ立派ナ風采テ又大體御世辭カ奪イ好ク來テ下サツタ實ハ此方カラシテコソ先進國タル日本ヘ使ヲ差上ケテ親シク貴國ノ農産業ヲ觀察スヘキテアルノニ却ツテ貴國ノ方カラ觀察ヲサレルノハ甚々赤面ノ至リテアルカ併シ此國ニハ何分君ニ紹介スル程ノ立派ナ施設モ無イマタ國力新ラシイモノテアルカラ歐洲ノ如ク立派ナ秩序立ツタモノハ無イケレトモ此國ハ森林國テ是タケハ實ニ誇ルニ足ルモノテ木ハトシテ伐テ今日輸出スルノテアルサウシテ其林地ハ伐レハ直ク後カラ元ノ通りニナル是ハ甚々奇體テアルカ併ナガラ此所ニハチヨットモ見ル物ハ無イ宜シク僕ノ紹介狀ヲ持ツテ各州ニ一ツ往ツテ見テクダサイ君カ廻ルコトヲ知ラシテアルカラ相當ノ便宜ヲ得テ君カ望マレル丈ノ材料ヲ得ル事モ出來ヤウト思フサウシテ斯ノ如ク樹木ハ成長スルケレトモ君ノ國テモサウテアラウカ僕ノ國テハ高イ山ノ天邊ハ是ハ伐ラヌコトニシテアル君ノ國モ蓋シサウテアラウカ是ハ頗ル注意シテ居ル又伐リ方ニ注意セヌト「ヒュームス」ヲ害スル事カアル「ヒュームス」ト云フ事ハ僕ノ國テハ餘程注意シテ居ル云々ト云ハレタ如何ニモ「ヒュームス」ナント云フコトヲ學術的ニ大臣カ言フト云フ様ナコトハ頗ル不思議ニ感シタノテ私ハ茲ニ至ツテ大ニ感心シタ此大國ニシテサウシテ漸ク此國カ十年ソコノ進歩テアルニ拘ラス斯ノ如ク森林ニマテ意ヲ注キ秘密ナル學術ノ事ヤ又ハ保安林ノコトヲ大臣カ自ら云爲セラル、ノハ中々ニ進歩シタモノテ決シテ侮ルヘカラサルモノト密カニ私ハ恐レテ居ツタサウシテ又遂ニ大臣ノ曰クトウカ「サンパウロ」ヘ往ツテ見レト「サンパウロ」ハ「リオデジャネーロ」カラ南テアリマス是ハ御存シテコサイマセウカ咖啡ノ產地テアリマス珈琲ト共ニ其他ノ農産モ森林モ最モ進歩シタ所テ立派ナ物カアルノミナラス此所ナラハ森林教育ノ事モ見ラルルテアロフカラドウカ其處ヘ往テ見テ見レラタラハ又以君カ使命ノ幾分ヲ果スヲ得ルテアラフトノ挨拶頗ル謙遜テアツタ其レカラ程細テ後テ私ハ「サンパウロ」ヘ往ツテサウシテ大臣ノ言ヲ披瀝シ森林ハアタノ州ガ一番進歩シテ居ルソフテアルカラドウカ私ニ便宜ヲ與ヘテ見セテ與レヌカト言ヒマスト其所ノ農商工部大臣及ヒ次官等共ハ其レハ異ナコトヲ聞クモノヲ自分ノ州ニハ森林ハ潯山アルケレト此レニ對スル施設ト云フ様ナモノハチヨットモ有リハシナイト斯フ言フ簡單ナ答テアツタ底テイヤ併シ聯邦ノ農商工部大臣カ斯ク「ノコトヲ言ハレタニ就テハ定メテ立派ナ御施設アリト信スルカラトフカ見タイモノテアルト云ヒマシタラ自分ノ州ハ林業ナド、云フモノ、必要ハ更ニ無イノテアル「カルモン」氏ノ語ハ間違デアル「ミヅニルカルモン」ト云フハ聯邦農商工部大臣

ノ名デス此所カラ汽車デ三時間カ四時間ノ處ニ「ピラシカーバ」ト云フ所ガアル其所ニ農學校ガアルガ森林ノ科程アリト云フ事ハ聞イタコトハ無イト斯ウ云フコトヲ言ハレル私モ變ニ思ツタ自分ガ言葉ヲ聞キ間違ヘタモノデアロフカト疑ヒマシタガ實際サウデ無イ段々聞イテ見ルト本當ニ森林行政ダノ森林教育ナント云フ、モハ此國ニハチヨットモ必要ハ無イ單ニ是ハ「サンパウロ」ノミナラズ全體ニ於テ必要ハ無イノデアル儘カニ中央「リオデジャネーロ」市ノミ水道ノ水源林ニ對シテ保安林ノ取扱ヲナセルノミデアルガ是レトモ此市ノ美觀ヲ損セザラン爲メ市附近ノ山林ニ伐リ方ノ取締ヲ付セラルクライテアルト云フ事カ分カツタ中央テ聞クコト、地方テ聞クコト、斯ノ如ク違フノミナラス地方ニ於テ此森林ニ關係シ又農業ニ關係シテモ著シキ施設カ無イト云フコトハ是カ謂ユル南米式ナノテス此コトヲ申上ケルニ就テハ聊カ古クナリマス此國ノ成立ニ就テチヨット申上ケヤウト思ヒマス

抑モ南米ト云フ國ハ千五百年頃發見セラレタノテ例ニ「コロンプス」發見時代テコサイマス其時分ハ殆ト同時ニ此南米全體モ亦發見サレマシタ殊ニ此中「ブラジル」ハ葡萄牙ノ發見シタ國テ千五百三年四年頃イテ千五百三十年頃頃リニ探險隊ヲ送ツテ殖民ヲ行ヒマシタ殖民時代カ約三世紀間即チ千五百年千六百年千七百年マテ續キマシタ併ナカラ此時代ニ幾ラ葡萄牙カラ入ヲ送ツテモ此大國ニ於テ僅カノ人間テトモ立派ナ施設カ行ハレヤウ管モ「リオデジャネーロ」ニ攻メラレタ事カアリマシタソコテ此葡萄牙ノ王サンハ自ら來マセシテ千八百年頃トナリマシタ此時分ニ葡萄牙ガ「ナボレオン」ニ攻メラレタ事カアリマシタソコテ此葡萄牙ノ王サンハ自ら佛ノ大軍ニ抗スヘカラサルヲ知リテ殖民地ノ此「リオデジャネーロ」ヘ逃ゲ此所デ王サンニナツテ大ニ殖民地ノ改良ヲシテ是ヲ王國トシマシタ幾バクモナクシテ其子「ペドロ」一世ノ代トナリテ之ヲ帝國ト改メタ王國カラ帝國トナツタノガ千八百二十年頃帝政時代ノ續イタノガ約 十年千八百八十九年即チ明治二十二年丁度我國ノ憲法發布時代ニ是ガ共和國ニナツタノデゴサイマス所ガ其レマデト云フモノハ始終戰ガ絶エナカッタ國デアル幸ヒニモ始メ葡萄牙カラ逃ゲテ來タ王サンガ非常ナ英明ノ君主デ或ハ植物園ヲ始メ或ハ市街ヲ改良シ或ハ學術ニ行政ニ隨分貢獻シマシタ即チ帝國時代ニ内憂外患相踵イテ起ツタ此人ハ中々賢明ナ人デアツタノデスケレド困難ノ爲ニ手ヲ展バスコトガデキズモウ其儘ニナツテ仕舞ウテ其後ハチヨットモ進歩シナカツタ千八百八十九年帝政ガ共和ニナツタ時ハ實ニ「ブラジル」ガ特別ニ光輝アル歴史ヲ有ツテ居リマスノデ及ニ聲ヲズシテ王ハ笑ツテ本國ニ還ツタト云フ革命デアアル新様ナ立派ナ共和ガ出來マシタケレドモ其後ガイケナイ其後非常ニ喧嘩ガ起ツテ議會ハ政府ト衝突スル「リオデジャネーロ」ハ修羅ノ巷ニナル



斯ウ云フ風子漸ク其戦ガ片附イタノガ千九百年頃デアル其レカラ又其ノ外「アルゼンチン」「チリ」「ペリユー」等ノ諸國是ハ「ブラジ  
 ル」ノ如キ複雑ナル歴史ハ有テマセメ殖民時代ヨリ直ニ共和ニ移ツタノヲ共和トナリマシタノガ千八百二十年頃デ夫々相前後シテ獨  
 立シタノデアリマスカ是トモ互ニ喧嘩ハカリヤツタ國テ此内外ノ戦カ漸ク治ツタノカ是亦千九百年唯今テ漸ク十年ニナリマス此十  
 年ノ間漸ク民ハ大平ヲ樂ムト云フコトデアリマス「ブラジル」ハ其後ハ帝政時代ノ萬能ノ事項制度ヲ悉ク變ヘテ町ノ名マテ變ヘテ仕舞ツ  
 テ之ニ就テ滑稽ノ話カコサイマス町ノ名ヲ一度變ヘテ又附ケ變ヘテ今テハ町ノ名カ三ツアルナトカ御座イマスカ巡査カ其内ノ一ツヲ  
 知ツテ居テ他ノ二ツノ名前ヲ知ラナカウタカ爲メ飛ンテモナイ方所ヘ連レテ往テ大迂回ヲヤラサレタ事ガ御座イマシタ斯ウ云フ風テ  
 總テ制度ヲ悉ク變ヘ今日ハ殆ト創業時代或ハ過度時代トモ云フヘキデアアル而シテ平和ニホツテ氣ガツイテ見ルト今マテ内憂絶ニス  
 外患相踵イテ起ツテ來タカ爲ニ國內ハ疲弊シテ融通ハ少シモ付カナイ外債ハ積リ積ツテ何十億萬圓ト云フ巨額ニ上ホツテ居ル何ヨリ  
 大切ナ此金カナケレハ何事モ成シ得ラレヌノデアルカラ先第一ニ此金ノ工面カラシテカ、ラネハナラヌ金ヲ拵ヘルニ就テハ此國ノ生  
 產物ヲ増シ工業ヲ興サナケレハナラヌ生産物ヲ増シ工業ヲ興サウト思ツテモ人ハ極メテ少ナイ例ヘハ僅ニ一方里ニ四人トカ五人トカ  
 云フニ過キサル實況テコサイマスカラ先第一一人カラ拵ヘテカ、ラネハナラヌ人ヲ拵ヘテ此廣漠タル土地ヲ拓キ努ムヘキ業ヲ興シテ  
 サウシテ此殖産業ヲ勵ミ一方ニハ金ヲ拵ヘル即此金ヲ拵ヘテ又人ヲ拵ヘルト云フコトガ實ニ此時代ニハ何ヨリ彼國ノ急務ナノデコサイ  
 マス實ニ此二ツハ車ノ兩輪ノ如ク鳥ノ双翼ノ如ク共ニ兩方須臾モ忘ルヘカラサル所テ各國歷代ノ大統領ガ専心集慮スル所實ニ接續タ  
 ルモノデアリス殊ニ此人ヲ喚ブトイフコトニ付テハ或ハ憲法ヲ改正シテ外國人ニ土地所有ノ權ヲ認メ或ハ外國人ニ自國ノ官公職ニ就  
 クコトヲ許シ或ハ歸化法ヲ寬大ニシテ私生兒テモ又ハ少々施ノ付イタ人間テモ一人テモ自國ノ國籍ニアルモノヲ拵サウシテ種々ナ  
 ル手段ヲ執ツテ居ル或ハ奇蹟ナキ拵ヘテ外國語ヲ書テ頼リニ自國ノ有恩ナルコトヲ説キ甚タシキハ統計ニ朱ヲ入レテ不利益ノ  
 部分ヲ抹殺シテ只管外國人ノ腦裡ニ惡印象ヲ與ヘサラントシテ居ルノテス其レテアリマスカラ向フテ外國語ヲ書イタ印刷物ハ悉ク  
 宿引的タルコトヲ失ハナイ此方ニ來テ居ル書物或ハ英吉利邊テ書ツテ居ル書物ヲ請ンテ見ルト惡ルイ事ハ少シモ書イテ無イ其レハ何  
 ノ爲メカ必ス移民ト云フコトカ標榜シテアル其レテ又此國ノ商工業ヲ發達サヘルト云フ事ニ就テモ第一貨幣制度カ頗リ宜シクナイ金  
 紙ノ差カ非常ノ違ヒテ就中其最モ激シイノカ「チリ」「ペリユー」等ハ兌換券ヲ發行シテ居ル國テ其ノ價值ハチヨットモ無イ一圓持

ツテ往ツテ一圓ニナラス其相場ハ日々夜々變動シテ居ル恰モ我米穀取引所テ日々米相場ヲ貼出ス如ク銀行ヘ往キマスト午前ト午後  
 ニ其相場ヲ貼出シテ時ニ依ルト十七片、時ニ依ルト十片、十四片斯ノ如ク差カアル其レテ是ハ各國共ニ無倫相場ノ多少ハ御座イマス  
 カ皆同シ様ナ關係ナノテ是是テハイカスト云フコトテ今ハ外國カラドロン「金」ヲ持ツテ來テ準備金ヲ拵ヘ其レニ應ジテ兌換券ヲ發行  
 スルヤウナ手段ヲ執ツテ居リマス要スルニ今日ハ先ツ有ラン限リノ手段ヲ盡シテ人ヲ拵ヘマタ有ラン限リノ手段ヲ盡シテ金ヲ拵ヘル  
 此二ツカ各國ヲ通シテノ情勢デアリマス其レテ此「ブラジル」テコサイマスカ人ヲ拵スコトニ就テモ此國ノ全體カ殆ント森林ヲ掩ハレ  
 テ居ルカスノ如ク森林多クテハ連モ仕條カ無イ人ヲ拵ヘテモ人ヲ容レル所カ無イ人モ此山國テハ望ンテ來モスマイトウカ此森林ハ一  
 日モ早ク滅ビセントヲ望ムノデアリスウ云フ主義ト察セラレルノデアリマス故ニ森林ヲ伐ル者カ有レハ喜ンテ之ヲ迎ヘル歎シテ之  
 ヲ許シテ居ル前ニ戻リマスカ森林カスノ如ク有リ餘ル所テ何ンテモ此森林行政或ハ森林保護其他ノ機關ノ必要カコサイマセウ「サン  
 パウル」政府ノ林業ナシ林學必要ヲ認メスト云フノハ實ニ當然ノ事デアリマス  
 惓然ラハ是等ノ森林ハトウイフ所ニアツテソウシテ其レカ善ク用キラレテ居ルノデアラウカ如何ナル木カアルノデアラウカ活潑ニ商  
 業カ行ハレテ居ルノデアラウカト云フ様ナ事ヲ悉ク問テ見マス先此「ブラジル」カラ申シマスカ今聞ケテ居ルノハ此海岸ノグシ  
 ヤ「シタ」處テ此黒イノハ此レハ山テ白イ部分ハマタ未開ノ區域テコサイマス大體先斯ウ云フ驢梅テアルト云フテ宜シウコサイマセ  
 ウ鐵道ノ開ケテ居リマスノモ海岸地方テコサイマス此國ニハ一萬七何哩ト云フ鐵道ガコサイマスカソレカ皆開ケテ居ル海岸地方ニ  
 架ツテ居テサウシテ其鐵道ノ多クハ首府カラ首府ニ架ツテ居ルノテス鐵道カ首府カラ首府ヘ架ツテ居ルト申スト其レハ當リ前ノコト  
 テチヨット可笑シク聞ユル器テコサイマスケレトモ例ヘハ日本テ言ヒマスト東京カラ大阪ニ架ツテ居ルト云フ丈テ其間ノステーション  
 ン是カ誠ニオ粗末ステーションノ設備モナケレハ「ブラットホーム」モナイ其外ハ唯タホンノ汽車ニ水ヲ汲ム處或ハ旅客カ其處テ支  
 度ヲスル處是位ノモノニ時間表ガ拵ヘテアツテサウシテソレカボツリ「ト」點在シテ居ルノテアル旅行シテ見ルト實ニ不思議ナモノ  
 テス「リオデジャネーロ」ハ先ツ立派ナ東京テコサイマス之ヲ中心トシテ國ハ幾ツモノ州ニ分レ州ニハ又夫々首府カアル各州ノ大統領  
 中ニハ「リオデジャネーロ」即チ聯邦共和ノ大統領ト殆ト肩ヲ並ヘル位ノ隨分立派ナ人カアルサウ云フ立派ナ大統領ノアル所ハ首府ノ  
 市街ト云フモノモ亦中々立派ナモノデアリマス併シ其レハ極メテ僅テ二十州ノ中殆ト過半ハ先ツ日本テ申スト都役所々在地或ハ少シ



氣ノ利イタ町役場所在地ノモノカ此首府ナントコサイマス故ニ況ンヤ間ノ小サイ村ニ於テテヤ日本テ申シマス先ツ縣カアレハ  
 其下ニ郡カアル其又下ニ町村カアルト云フ順序テアル町村ハ言ハスト知レタ同シ権能ヲ有ツテ居ル人間カ相集ツタ一ノ集團地テアル  
 所カ此國ハ各州首府ノ下ニ郡トイフ様ナモノハナイノテ續イテ村カアルヘキ所ニハ「フアゼンダ」ト云フモノカアル「フアゼンダ」トハ  
 何テアルカト云フト一ノ所有地ニ外ナラヌノテアル此國ハ先刻申シマシタ如キ拓殖獎勵ノ國テアツテ是ハ昔ノ殖民時代カラ其主義カ  
 行ハレテ居タノテコサイマス何人ト雖モ此未開ノ森林地ニ這入ツテ所有ノ位置ヲ發表シ(拙稿)區別ヲ立テ、此處カラ此處マテト云フ  
 意思ヲ發表スレハ二十年間他ヨリ故障カ無イ以上ハ當然其人ノ所有ニ歸スルモノテアルト云フ習慣カ今ニ殘ツテ居ル此人ノ所有地ノ  
 事ヲ即チ「フアゼンダ」ト云フ其レテ一人ノ所有或ハ二萬町歩トカ或ハ五萬町歩トカ云フ隨分大ナルモノカアル勿論中ニハ二三百町歩  
 ノ小サナモノモナコサイマスソウシテ右申ス如ク何處テモ所有シ得ルノテコサイマスカ故ニ自然「選リトリ」ノ姿テ「フアゼンダ」ト  
 「フアゼンダ」トノ間ニ空地カ出來ル此レ即矢張り舊來ノ森林カ茲ニ殘ルノテアル底テ此「フアゼンダ」テコサイマス中央ニ此處ノ地  
 主カ居ツテ其身邊ニ自分カ眼下 見下スヘキ勞働者ノ多數ヲ控ヘテ居ルサウシテ其境域内ニハ或ハ森林アリ或ハ畑アリ或ハ牧場モア  
 リテ牛モ居レハ馬モ居ル百町歩二百町歩位ノモノハ必スシモソフテナイカ多ク「フアゼンダ」ハ其中ニ酒保アリテ凡テノ物資ヲ供給  
 シ醫者モレハ學校モアル恰カモ一ケ村ヲ組織シテ居ル様テアル斯ウ云フモノカ今ノ日本ノ村ニ當ル所ナントス日本テ云ハ、町村ノア  
 ルヘキ所カ即チ此「フアゼンダ」ニ當ルノテアリマシテコウ云フ處ニ今ノ鐵道カ通過シテ居ル即チ日本ノ驛ハ彼方デハ「フアゼンダ」ニ  
 是カラ時ニ珈琲ヲ出ス或ハ木材ヲ出スト云フ位テコサイマスカラサウ立派ナ「ステーション」ノ設備ヲスル必要モ無イノデスシカス  
 様ナ不便ヲ鐵道テモ之アル處ハ猶可ナリ之レカ僅ニ海岸地方ニ架ツテ居ルノミテスカラナカク、内地ノ產物ヲ速ニ引出ス杯ト云フコ  
 トハ望ムヘカラサル所テアル故ニ政府モ近頃大ニ鐵道ヲ速成ヲ圖ツテ是亦經營慘憺タルモノカアルノテス例ヘハ鐵道ヲ造ルモノアリ  
 ト云フ場合ニハ或ハ補助金ヲ出ストカ補助給利子ヲ支給スルトカ材料ハ關稅ヲ免スルトカ隨分寛大ナル處置ヲ取ツテ居ルノテスサウシ  
 テ全體ニ殆ト是ハ森林ト云フテ宜イテス

先ツ大體此地勢ノ纏梅カラ區別ヲ致シマス此國ヲ「アマゾン」ノ低地及ヒ其他ノ高原地方即チ低地地方ト高原地方トニ別ケテ宜カ  
 ラウト思フ「ブラジル」國タル海岸カラ見マス凡テノ山岳カ如何ニモ峻嶒タル有様テアマリマス中ヘ這入ツテ見マス凡ツ切リ様子

カ進ツテ最も高イ所ハ此所ニコロイマス(拙稿)是カ九千八百尺ト云フ國內テ一番高イ所國內平均高低ノ差カ三千尺此邊ハ全體ニ一  
 ノ高原テアル故ニ此邊ヲ高原地方ト云ヒ又「アマゾン」ハ之ヲ低地地方ト名ツケテ此ニツニ別ケテ宜カラウト思フ然ラハ其高原地方  
 ノ何處ニ立派ナ森林カアル何處カ利用シ得ラレカト云フト此邊即チ此「ブラタ」河ノ上流テアル即チ此國ノ中央部近邊最も豐富ニ  
 シテ立派ナモノカアルト云ヒマシテモ今日ハ探險未タ届カスシテ今ニ研究スル材料ヲ得ラレナイノテアマリマス無盡ナル森林カ  
 此處ニコサイマスケレトモ之ヲ研究スル材料スラ無イ此處カ即チ「アマゾン」ノ河口以北ノ沙漠地此カ赤道テ諸アマゾン略々赤道  
 ト御覽下サレハ此上ハ即チ沙漠地ナントス左スレハ殘ル所ハ是カ即チ「アマゾン」ノ低地カ又ハ海岸ノ此邊カト云フノミテコサイマス  
 アマゾン河ニ就テハ後ニ御話ヲ致シマスカ保護ノ產地テアマリマス材木ノ出ル所ハ何所ニアルカ「サンフランシスコ」河ノ流域カ先ツ利  
 用シ得ル森林テアル此レカ「リオデジャネーロ」州ニ近イ所テコサイマシテ其中ノ又最も首府ニ近イ所テ伐テ居ルノテアマリマス此處ト  
 ラハ汽車ノ便モイクラカ善ク河モアル所テス圖面テ見マス小サナモノテスケレトコレモ此「サンフランシスコ」流域ノ面積カチヨ  
 ツト七十五萬平方哩アルサツト日本全面積ノ三倍アル故ニ此端ツクレノ方テモ隨分大シタモノテアマリマス此處テ今木ヲ伐ツテ出シテ  
 居ルノデアリマス木ヲ伐ツテ居ルト申シテモ斯様ナ所ニアル森林ハ私ハ始メテ見マシタケレトモ實ニソレハ難然タルモノテ林況――  
 林ノ風ヲ申シマスト實ニ亭々タル潤葉樹ノ五十尺六十尺ノカ生エテ居リマスシ或ハ浪ノ如ク蜿蜒トシテ居ルノカアリマス「ジ  
 ヲノヒゲ」深ク地ニ垂レテ雨ノ如ク或ハ椰子ノ樹ハ圓蓋屋根ノ如ク芭蕉婆娑トシテ風ニ煽ホラレ仙人掌ハ圓ルカ如ク鋭イ棘ヲ磨イテ  
 居ルト云フ鹽梅テ實ニ難然タルコトオ話ノ外テアマリマス併シ今悉ク是ヲ片ツ端カラ伐リ分ケテ致シテ居ルト云フノテアマリマセン斯  
 様ト伐リ方ヲ致シマシテハ只々金カカ、ル許リテ伐タ木カ悉ク錢ニナルト云フノテモナイカラ收支償ハンノテ今日テハゴツツ、其中  
 ノ木ヲ選リ伐リシテ居ルノテアマリマス是ヲ先刻ノ不完全ナル汽車ニ載セテ「エスピリットサン」ト云フ所ヘ出シテソレカラ「リオデ  
 ジャネーロ」ヘモ出シ又船積ヲシテ送リ出シテモ居ルノテス底テトナ木ヲ伐リ出シテ來ルカト云フニ其處ニコサイマスノカ夫レテ  
 先ツ斯ノ如キ物テコサイマス一々名ヲ申シマシタ所カ……「ブラジル」ノ植物一萬七千種アル中今日伐リ出シテ來テ使ヘル様ナ木ト  
 云フタラ只今御目ニカケマシタ位ナモノテ二十種ハカリシキヤアマリマセン多クハ是レカ硬イ材テス即チ潤葉樹テ軟イ針葉樹ハ此處ニ  
 一ツアリマス是ハ「ビニョー」ト云フ即チ松テアマリマスカ是レハ日本ノ「コウヨウサン」テシテ南部ノ「バラナ」ト云フ所カラ僅カ計リ出







「アマゾン」ノ特産物ナル「アマゾン」一帯ニ此護謨ハ産スルノテアマリマスガ就中最多クアルノハ「リオニグロ、リオフランコ」ト云フ邊テ此邊カ一番良イノテアマリマス一體南米ニアル護謨ノ樹ハ四種アルカ其中最良ナルヲ「セリングゴラ」ト云ヒ學名ヲ「ヘビヤブラシリエンシス」ト云フ日光ノ直射スルヲ好マヌ木テ濕潤ナル湯澤地ニ生シ氣候蒸暑クシテ晝夜温度ノ差アル所杯ニハ生セヌモノテアル此性質コソ敵ニコノ「アマゾン」低地ニ誂ヘ向キテ其處ニ多量ニ存スル所以テアル是ハ雜ト拙キマシタカ是カ「セリングゴラ」ノ葉テ普通日本ノ植物園邊リニアリマス大キナ葉ノアルノトハ違ヒマス斯ウ云フモノナンテス(寫生圖ヲ示ス)是ハ南米四種ノ護謨ノ中テ最モ良イノテ特ニ品質ヲ區別シテ或ハ「フゴナ」トカ「セントレフゴナ」トカ或ハ「セルナムビー」トカ云フ標ニ品質ヲ區別シテ賣出シマス此「セリングゴラ」ノ外ニ「マニソバ」又ハ「マンガベラ」ト云フ護謨ノ種類カアルカ其レハ品質カ「セリングゴラ」ヨリモ劣等テ且此近邊ニハ無イノテ良イ「セリングゴラ」トイフノハ此不潔ナル今「アマゾン」本流ニ限ルノテアマリマス所ニチヨット護謨ノ採方ヲ御參考マテニ申上ケマセウ護謨ヲ採ルノハ矢張是モ「フアゼンダ」ト云フモノ、所有主テサウシテ其所ニハ今ノ亞米利加「インド」人ヲ使ツテ居ル其奴テナケレハ此場所柄テスカラ中々出来ナイ藝當ナンテス先年是ハ「ペリニ」テノ御監テコサイマスカ「インカ」護謨會社ト云フカアリマシテ其處ハ稍險峻ナル山テ「アマゾン」トハ地勢カ道ツテ居リマスカ明治殖民會社ノ手テ日本移民ヲ護謨採リニ入レタサウテコサイマス處カ普通土人カ一日ニ七、八ポンド位採ルノニ日本ノ移民ハ僅カニ二、三ポンドシカ採ラナクツタサウテ「アマゾン」テハ是迄日本人ノ勞働者ヲ入レタコトハ無イテスケレトモ到底歐羅巴人獨逸人伊太利人杯ニ望ムヘカラサル藝當テトフシテモ此事業ニ慣レタル亞米利加印度人ナラテハ此仕事ニ堪ヘ得ヌノテテ此亞米利加印度人ノ生存シテ居ルノモ亦此低地ヲ以テ墜卷トスルノテアル旁以テ此ドブノ如キ森林ト印度人トハ實ニ伯刺西爾ノ生命テアルノミナラス世界的商品ノ原料ノ源泉地トシテ頗ル貴重ナル所ナンテス

扱乾煉率ニナルト此勞働夫ハ山中へ這入ツテ木ヲ搜スノテコサイマス勞働夫ハ之ヲ印度語テ「セリングゴラ」ト云ヒマス(圖ヲ拙ク)斯ウ護謨ノ樹ハ必ス色々ノ木ト混淆シテ居リマカ此木ヲ搜シテ廻ルノテス朝ノ間彼等ハ小サイ是レツバカリノ玩弄ノ「ブリツキ」ノ「バケツ」ア、云フ物ヲ幾ラモ提ケテ山へ往ツテテウシテ木ヲ搜シ當テテ度根カラ六尺位上ノ所ニ先ツ印ヲ附ケル印ト云フノハ斯ウ云フ「バケツ」答テ及ノ幅カ「イン」位ノ小ナ答テ是テ一々疵ヲ附ケテ今「バケツ」ヲ著ケテ置クサウスト護謨ノ液汁

カ其「バケツ」ノ中へ滴下スルノテサウシテ又一尺ホト置イテ同シ水平線内ニ疵ヲ附ケテ又一尺程宛置イテ一本ノ木ノ周圍ヲ取巻キ又他ノ木ニ移ツテ同様ノ方法ヲ繰返サウシテ是カ大凡十時位マテ掛リマス其レテ戻ツテ來ル其頃迄ニハ百本位印ヲ附ケルソフテ十時頃ニ歸ツテ來テ其レカラ今度ハ稍々大ナル普通雜巾トトテ使フ位ノ「バケツ」アイツヲ持ツテ是ヲ集メニ往クノテ集メニ往ツテ戻ツテ來ルノカ略々一時位ニナリマスサウスト今度ハ又小屋ニ歸ツテ煙蒸スルノテコサイマス煙蒸スルト云フノハ「バルムナツト」テ護謨ノ液汁ヲ煙ヘルノテアリマス其レカ其「バルムナツト」テアリマス(實物ヲ示ス)是ハ「ウルクリ」ト申シマス煙蒸ニハ可燃力強クナケレハイケヌ「ウルクリ」カ最モ之レニ通スルノテアリマス此「ウルクリ」ト云フモノハ護謨林ニハ附物テコレヲ焚クト非常チ煙カ出ル其煙ヲ散漫サヒヌ爲ニ斯ウ云フ(所作ヲ示ス)上下ニ蓋モ底モナキ粗末ナル瓶テ被フセテ其口カラ煙ヲ出スト煙カ一處カラ出テ散漫セヌノテサウシテ今「セリングゴラ」ヲ「バケツ」カラ杓子へ著ケル(實物ヲ示ス)是ハ二尺或ハ一尺位ノ柄ノ長サノ杓子ノ形ヲシタ物テスカ其圓板へ今ノ護謨ノ液汁ヲ著ケル或ハ「バケツ」ヲ直ニ持ツテ往ツテ著ケルノモアリマスサウシテソレヲ火ノ上テ反轉シナカラコウ云フ風ニ煙ヘルノテス 所作ヲ示ス是ニ護謨ヲ著ケテ斯ウヤルサウシテ段々其護謨カ固マツテ來ル固マルト又此上ニ液汁ヲ著ケル終ヒニハコナ大キナ球カ出來ル(實物ヲ示ス)此大キナ球ヲ堅ニ鈍テ切ル切ツテ斯ウ開カシテ中カラ此杓子ヲ取出スノテスホンノ離形ヲ持ツテ來マシタカラ甚タ輕少テスコイツヲ切ツテ斯ウヤツテサウシテコレヲ取出シテ直ニ之ヲ貯藏シテ是ヲ以テ商品トシテ船ニ積ンテ「アマゾン」ノ出口ノ「バラ」ト云フ港へ送ツテ是カラ歐米諸國へ送ルノテ是ヲ「バラ」護謨ト云フノテ是カ護謨ノ離形テス(離形ヲ示ス)是カラ出マスル護謨ト云フモノハ世界ノ需要ノ約三分ノ二アルト云ヒマスカ實際ノ統計ヲ見ルト三分ノ二迄ハコサイマセヌ半分位ハ出ルタラウト思ツテ居リマス

要シマスルニ先ツ「ブラシル」國ニ於テ今「サンフランシスコ」附近ノ植物ノ數ニ付テハ或學者ノ如キ一萬七千種アリト言ツテ居ルカ其中今日用キラレテ居ル材木ト云ハ今御目ニ掛ケテ類テ極メテ少量十五六種位モコサイマシヨウ其他ハマルテ拙ツテ置クハカリノコトテアル「アマゾン」ニハ護謨カアル其他ノ地ハマルテ利用スヘカラサル今日ノ狀態テアル斯ウ云フ護謨ナンテコサイマスカ情何カ面白イ物カ有ルマイカト段々タツテ見マシタ所カ斯ウ云フ物カ此所ニ出來ルノテアリマス是ハ植物纖維テコサイマス今ハ少シモ是ヲ使ツテ居リマセヌ私ハ是ヲ農事協會ノ人ノ世話テ色々ヤツテ見マシタ或ハ細トカ細トカ云フモノニ出來ハシナイテアラウカト思



フタノテスカマタヨクハワカリマセシカ先ツ斯ウ云フ物ヲ持ツテ米マシタ(實物ヲ示ス)是ハ何ト云ツテ宜イカ空木ミタヤウハ物ヲ葉  
 カニユート出テキルモノテコサイマス是ハ一ツ生ノ物ヲ持ツテ米タテスカソイツカ折レテ仕舞ウテ役ニ立タヌヤウニナツテ仕舞ヒマ  
 シタ此織緋ハ中々丈夫テ光澤モアリマス(實物ヲ示ス)其レカラ是ハ矢張椰子ノ類テコサイマス「ツクン」ト云フモノ(實物ヲ示ス)是ハ  
 「ピンテラ」コレハ仙人掌ノ葉コイツハ水ヲ吸イテ持ツテ参リマシタカ之等ノ物ハ晒シカ利クヤ否ヤ實際使ツテトレタケノ價值カア  
 ルカ能ク研究シタ後テナケレハ確言モテキマセヌケレト先ツ斯フ見タ處テハ中々織緋モ丈夫テ綱ニテモ紐ニテモ又織物ニモ紙ニモナ  
 リツフテス斯フ物カ見當リマシタカラ持ツテ米タテコサイマス  
 段々「ブラシル」ハカリ長クナリマシテカラニ非常ニ時間ニ進レマシタカ大體後ハ急速力テヤツテ往キマス「アルゼンチン」此「アルゼ  
 ンチン」ト云フ國ハ(圖ヲ指ス)此所ニ此「アルゼンチン」ノ峠カアル一體「アルゼンチン」ノ北ヨリ段々南ニ低クナツテ此邊カ二  
 萬尺或ハ二萬五千尺次カ一萬七千尺ト斯ウ云フ山テ此邊カ八千尺テ又此「アルゼンチン」ト云フ山脈ハ一本モ木カ無イ是ハ不思議ナ程  
 高タル石テ皆ツハ尾尾ヲ御存シテコサイマセウカ尾尾ノ製煉所ノ後ロノカラ「シタヤウ」山テコサイマスサウシテ此他此國ハ  
 マルツキリ「ブラシル」トハ趣ヲ異ニシテ悉ク平原テ恰モ滿洲ヲ歩ク如キ氣カ致シマス故ニ森林ト云フモノモナク僅ニ北ノ方ニ此「ケ  
 ゴラツチヨ」ト云フ木カアルノミテ(實物ヲ示ス)此木ハ彼等カ云フニハ水カ這入レハ這入ル程硬クナル決シテ腐リハシナイ穀ヨリ  
 硬イト斯フ云フテ居ルチヨット「チーク」ニ類シタ木テスカ此木片ハ丁度私カ「ゲ」ニスアイレス」ニ往キマシタ折ニ水道ノ地下ノ「ト  
 ンネル」ニ斯ウ「ア」チ「ヲ」拵ヘル煉化代リニ使ツテ居ル所ヲ其儘一ツ持ツテ米マシタカ此レハ中々調法ナ木テ右申ス通りテ建築ニハ  
 適當シ又「タンニン」カ取レルノテス斯ウ云フ木カ唯一種出來ル計リテ其他ニハ此所ニハ内地産ノ木ト云フモノハチヨットモ無イ細工  
 ナトハチヨットモ出來マセヌ爲ニ北亞米利加カラ木カ來ルサウシテ此處ハ平原テ北半分ト云フモノハ農業地重モニ小麥中央以南ハ牧  
 畜羊牛馬是カ「アルゼンチン」ノ主要産物テ先ツ「此國ハ農業國ト云ウテ宜シカラウト思フ  
 次ハ「チリ」テコサイマス「チリ」ハ太平洋沿岸テスカ此海岸ハ一帯餘程標高カ違ツテ居マスノテ此邊ノ地勢カ餘程妙ナテス此所  
 ハ赤道テアリマスカ(圖ヲ指ス)東海岸ト同シ緯度ニモ拘ラス非常ニ此方ハ涼シテス此所ハ「ベリユ」ノ「カリヤ」テコレカ約南緯  
 十二度位テアルサツトマア東ノ「ブラシル」ノ「リオデジャネーロ」ト同緯度テ寧ハ北ニヨツテ居リマスノ「リオデジャネーロ」ヨリハ

此「カリヤ」ノ方カ餘程涼シイト云フモノハ西海岸一帯ハ南カラ寒流カ流レテ來ルコレカ海岸ニ接近シテ流ル其幅カタシカ二十哩程  
 ノ様ニ記憶シテ居リマスソシテ其レカ普通海面カラ七度低イデス此レ太平洋沿岸カ大西洋沿岸ヨリ涼シイ譯テアリマス其レテ此海  
 岸ハ一帯カ(圖ヲ指ス)スツカリ砂漠ミタヤウテ此太平洋中カラ蒸發スルヤツハ此寒流ニ妨ケラレテ寒流ノ處テ凝結シテ此處テ雨ニナ  
 リ陸地ハハ屆キマセヌカ大西洋ヨリ吹送ル風ハ「アルゼンチン」ニ避ケラレル故ニ太平洋沿岸ハ一體カ全ク砂漠テ無雨帶テ此邊ノ奥ノ田舎  
 へ往ツテ見マスト家ノ屋根カボール紙ヲ被セテアルト云フ有様テアリマス地勢カ斯クノ如クテアリマスカラ從テ太平洋沿岸ノ文明ハ  
 餘程東海岸ヨリハ後レテ居リマスルコトモ決シテ無理テハナイト思ハレマスソレテ此「チリ」ノ國ハ斯ノ如ク長クシテ幅カ狭イ東  
 ハ「アルゼンチン」ノ峠ニ限ラレテ幅カ廣イ處テ二十「キロメートル」狭イ所ハ五「キロメートル」位シカ無イ其レテ中央ノ「コンセプシオン」  
 アタリカラ「サンチアゴ」バルパライソ」近邊迄ノ間ニハ農業ガ少シ行ハレマス或ハ葡萄ヲ耕作スル其他果樹園位カアリマス其區域  
 ハ先ハ智利ノ中心テ農權ナ所テアリマスカ其以北ハ段々砂漠地ニ移リマス故農業ヨリ移ツテ漸次礦業ニ變リ遂ニハスツカリ砂漠地ニ  
 ナリマス「イキケ」近邊カ例ノ硝石ノ中心トナリマス智利ニ鐵道ノアリマスノハ國ノ中央部テアリマスルカ故ニ南方「パタゴニア」近  
 邊ニ立派ナ森林アリト雖トモ利用スルコトハ出來マセヌ僅ニ右ノ農業區域ノ附近テ木ヲ立立テタリ代木シタリシテ居リマスル計リテ  
 ス「イキケ」ノ北ハ砂漠地テス  
 又「ベリユ」是ハ「アルゼンチン」ノ山脈カ縱横ニ國內ニ連互シテ其内高キハ二萬尺又ハ一萬七千尺ノ山テアリマシテ國悉ク山テアリマ  
 ス中ニモ「アルゼンチン」ノ東ノ高原ニハ立派ナ森林ハアルノテスケレト此高峰ニ避ケラレテ是レヲチヨットモ使フコトカ出來ナイ右標ナ  
 譯テ「チリ」モ「ベリユ」モ木ニ缺乏シテ居ルカラ亞米利加カラドシ「松類」ヲ輸入シテ居ルノテアリマス但シ「ベリユ」ニハ内國  
 産ノ木一本モ使フテ居ルモノアリマセンカ「チリ」ニハ少シアリマス其レカ斯様ナ物テス此等ノ木ハ宜サソウニ見ヘマスカ是テ割レ  
 ルト云フコトテアリマス(實物ヲ示ス)「チリ」ニハ「アルゼンチン」ノ峠ハアリマシテモ東ノ國境ニ當テ居リマスルカ故ニマタイクラ  
 カ宜シフコサイマスカ「ベリユ」ト云フ國ハ「アルゼンチン」ノ東ニ農權ナル高原甚大ナルモノアリマスナレ共コレカ「アルゼンチン」ノ  
 爲ニ全ク別ノ國ノ如クナツテ仕舞フノテアリマス氣ノ毒ナモノテス激シイコトヲ申シマスト同シ「ベリユ」ノ國內テ「イキトス」ト云  
 フ所カアル此「イキトス」ト云フ所ハ「アルゼンチン」ノ東ニアツテ此高原地方ニ於ケル必要ナル都會テハアリ護謨ノ生産地テ「アマゾン」







大足人

「アルヘンチネ」ノ南部ニ「バタゴニア」ト云フ地方カアツテ茲ニ「バタゴニア」人ト云フ人種カ居ル而シテ此名稱ハ後人ノ誤稱ニシテ「バタゴニア」ト云フノカ本来ノ名テアル「バタゴニア」ト云フノハ其昔西班牙人カ始メテ此地方ニ上陸シタトコロ海岸ノ砂濱ニ大キナ足跡ヲ見付ケテ始メテ自分等ヨリモ大キイ人類カ住ンテ居ルコトカ分ツタシカシ未タ何ノ位大キナ人間カ實見シナイカラ假ニ其人間ヲ大足人「バタゴニア」ト稱シ其地方ヲ大足國「バタゴニア」ト云ツタノテアル而シテ此人種ハ實際トレ位ノ大キサテアツタカト云フニ昔ノ旅行家ナトハ話ヲ面白クスルタメニ色々オマケヲ付ケテ八尺位アルト云ツタカ種々ノ事實ニ綜合シテ見ルト平均五尺九寸凡ソ六尺位カト思ハレル其此地方ノ土人ハ概シテ眉毛カ薄クテ髭カナイカラ顔カ何トナク淋シク從ツテ一體ノ體格ヲ大キク見セルノテ世界ノ人類中先ツマツ高イ部分ニ組ミ入レルコトカ出來ル此土人ノ風俗ハ男女トモニ頭髮ヲ自然ノマ、ニ延ハシ常ニ鉢巻ヲ締メテ髪ノ亂ル、ヲ防キ身ニハ「グワナコ」トイフ獸ノ皮ヲ着テ居ル「グワナコ」ハ駱駝ノ一種テ大キサハ日本ノ鹿位ナモノテアルカ此地方ノ土人ニ取ツテハ此上モナイ重寶ト動物テアル

フエーヂヤン

彼等ノ住居ハ木ノ枝ヲ立テ「グワナコ」ノ皮ヲ張り食物ハ自然ノ供給ヲ仰キ殊ニ此ノ獸ノ肉ヲ賞味スル斯ノ如ク此獸ハ土人ノ衣食住ヲ供給スル大切ノモノテ土人ハ爭ツテ之ヲ捕ルノデアル此獸ハ常ニ群ヲナシテ山野ヲ徘徊スルカラ獵師ハ大勢隊ヲナシ馬背ニ跨リ紐ノ先キニ石ヲ付ケタモノヲ高ク捧ケ之ヲクル廻シナカラ追ヒカケルノテアルスルト紐ハ石ノ重ミテ空中ニ大圓ヲ畫キナカラウナリヲ生シテ廻リ廻ル柏子ニ「グワナコ」ノ身ニ剛レタカ最期首ナリ足ナリニ揃ミツイテ仕舞フノテアル  
「バタゴニア」カラ南方ヘ行クト「テラデル、フエー」ト云フ島カアツテ其處ニハ「フエー」ト稱スル土人カ居ル此ノ名稱ノ由來ト云フモノハ西班牙人カ航海シテ此地ニ至ツタトキニ處々ニ火ヲ焚イテ居ルモノヲ見テ始メテ人間ノ住ンテ居ルコトヲ知ツタト云フノテ西班牙語テ火ノ國ト云フ意味ノ名稱ヲ付ケタノテアル「テラ」ハ國土「デル」ハ「フエー」ハ火故ニ其處ニ住ム土人モ正シク云ハハ「火ノ土人」即チ「テラデルフエー」ト呼フヘキテアルカ今ハ略シテ單ニ「フエー」ト稱スルノテアル此土人ハ「バタゴニア」土人ホト大キクハナク開化ノ度ハ一層低ク毛髮ハ男女トモニ自然ノマ、ニ任カセテ少シモ手ヲ入レシコトナク如何ニ亂レヨウカ何ウシヨウカ決シテ構ハナイ是ハ敢テ儀容ヲ整ヘナイトカ頭髮ヲ粗末ニスルト云フコトハナク却テ反對ニ之ヲ神聖ナモノトシテ尊重スル思想カラ來タノテアルサレハ自分テ自分ノ頭髮ニ手ヲ觸レナイ程テアルカラ若シ他人カ之ニ觸ツタラ非常ナ侮辱トシテ之カ復讐ヲ

チレノ人

計ツタモノテ男子相互ノ意地上相手ヲ其儘ニシテ毘ケヌ場合ニハ何ヲ置イテモ先ツ此方ノ髪ノ毛ヲ掴ミ或ハ之ヲ引キ抜イテ凱歌ヲ奏スルノテアル生活ノ狀態ハ「バタゴニア」人ト大差ナク獸皮ヲ著粗造ト小舎ニ住ミ天然ノモノヲ食ヒ萬事石器時代其儘ノ有様テアル  
「アンデス」山西ノ太平洋方面ニ行クト「チレノ」ヤ「ペルー」ニ住ム土人カアルカ其内「チレノ」土人ハ衣服ヲ仕立ツルコトナク風呂敷様ノ毛織物ノ中央ニ首ノ這入ルタケノ穴ヲ穿テ首ヲ通シテ居ルノテアル其織物ノ原料ハ元彼ノ地ノ特産物ヲ用ヒタノテアルカ現在テバ歐米カラ輸入スル「フランケツト」ヲ以テ之ニ代用スルモノカ多イ此土人ノ生活ヲ特徴ノ方法モ略「バタゴニア」人ト同シタカラ茲ニ略スルカ要スルニ南米土人ノ主ナルモノハ以上ノ如キモノテアル

エクワド

最後ニ「エクワド」地方ノ奇習トシテ云フヘキハ人頭ヲ乾シ固メテ紀念物トスルコトテアル之ヲ作ル種族ハ「アマゾン」河ノ上流「サ」ンチアゴバスタサ」其他ノ支流即チ「エクワド」共和國ニ散在スルモノテ之ヲ總稱シテ「ヒバロ」族ト云フノテアル最モ古ハ單ニ此地方ノミニ限ラス「ペルー」ノ北部カラ「アルゼンチン」ノ「カタカル」カ地方ノ住民中ニモ同様ノ風習カアツタト傳ヘラレテ居ルカラ此物ノ分布ハ南米全土ノ大半ニ行キ互ツテ居ルト云ツテモ可イ此乾シ固メタ人頭ハ「ヒバロ」語テハ「チヤンチヤ」ト呼ビ歐羅巴テハ乾固人頭縮小人頭紀念人頭偶像の人頭ナド、呼ビ或ハ醜ツテ「インカス」ノ頭トモ稱スルノテアルカ自分ハ之ヲ乾首若クハ乾頭ト名ツケテ居ル然ラハ何故ニカウ云フモノヲ保存シテ置クカト云フニ或器物ニハ單ニ死シタ酋長ヲ紀念トスルタメト專イテアルカ穴勝サウハカリテハナク敵ノ首長若クハ武勇絶倫ノ男子ノ首ヲ取ツタ場合ニ之レヲ紀念トスルタメ其儘腐ラサスニ永久ニ保存シヨウト云フ目的ニ出タノテアル其製法ハ先ツ首ヲ斬リ目ヲツケ腦味噌ヲ這入ツタマ、ノ骨ヲ巧ミニ肉ヤ皮カラ取り離シ頭部ノ全體ヲ空ノ袋ノ様ニシテ夫レカラ火ヲ熱シタ小石ヲ密テ挾サンテ中ヘ入レテ内部ノ濕氣ヲ取り或ハ外部ヲ太陽ノ光ニ曝ラシ或ハ焚火ニ燻シタリシテ段々ニ乾シ固メテ行クノテアルカ之ヲ死ンテカラ九日ノ中ニ仕上ケナクテハナラヌトコトテアル其處テ出來上カツタモノハ元ノ形ヲ失ハスニ其儘小サクナツタモノテアルカラ全體ノ格好カ大人ノ面目ヲ失ハナイ上ニ頭髮ハ比較的ニ長イヤウニ見エルノテアル此乾頭ハ可成モノノ飾ヲ損シナイト云フコトヲ理想トセハナラヌカラ中々仕上ニ骨カ折レルカ土人等ハ一生ノ名譽トシテ之ヲ子々孫々ニ傳ヘルタメニ種々ニ苦心シテ之ヲ保ヘルノテアル而シテ斯ウヤツテ作リ上ケタ頭ハ後ニナツテ其レヲ何ウスルカト云フト一散ニハ祭禮ニ際シ火神ニ供ヘルトコトテアルカ重ナ目的トシテハ之ニ一種不可思議ノ威力ヲ有スル寶物トスルノテアツテ所有主ハ狩ヤ戰爭ニ出



カケル場合ニ之ヲ首ニカケ又ハ畑ノ物カ不作テアルトカ家畜ノ繁殖カ餘リ思ハシクナイトカ云フトキニハ此地方ノ婦人ハ此貨物ニ祈  
リヲ籠メ或ハ舞踏ヲナシ其效目カアレハ益尊信サレ若シナカツタ場合ニハ髮ノ毛ヲ剃ツタ上ニ森ノ中ニ投ケ込マレテ仕舞フノテアル  
(南米、坪井博士ノ談)

第七章 沿革

本大陸ハ千四百九十八年(御土御門明應年中)コロンブスニヨリテ發見セラレコロンブスハ第二回ノ航海ニ於テ「オリノコ」河口附近ニ上  
陸セリ

マメリゴ

ツチー

次ニ西班牙人「アロンゾーデーオヒタ」、以テ利人「アメリゴヴェスプツチー」ヲ從ヘテ千四百九十八年ヨリ千五百年迄南米北岸ヲ探險

和蘭人「カブラル」ハ千五百五年「ブラシル」ヲ發見セリ

其後「ビンセントピンソン」ハ千五百八年「リオデラプラタ」ノ口ニ入りタリト云フ

千五百十五年「バスコヌネッ、デ、バルボア」(西班牙ノ軍人)ハナマ地峽ヲ横キリ太平洋ヲ發見ス

西班牙ノ冒險者「ビザロ」ハ(千五年三十二年(天文年間)「ヘル」ヲ征服ス

千五百十九年「マゼラン」ハ南米ノ南端ヲ通過シ「マゼラン」海峽ヲ發見ス

其後西班牙人「ブラシル」ヲ除クノ外南米全部ヲ征服スルニ至ル

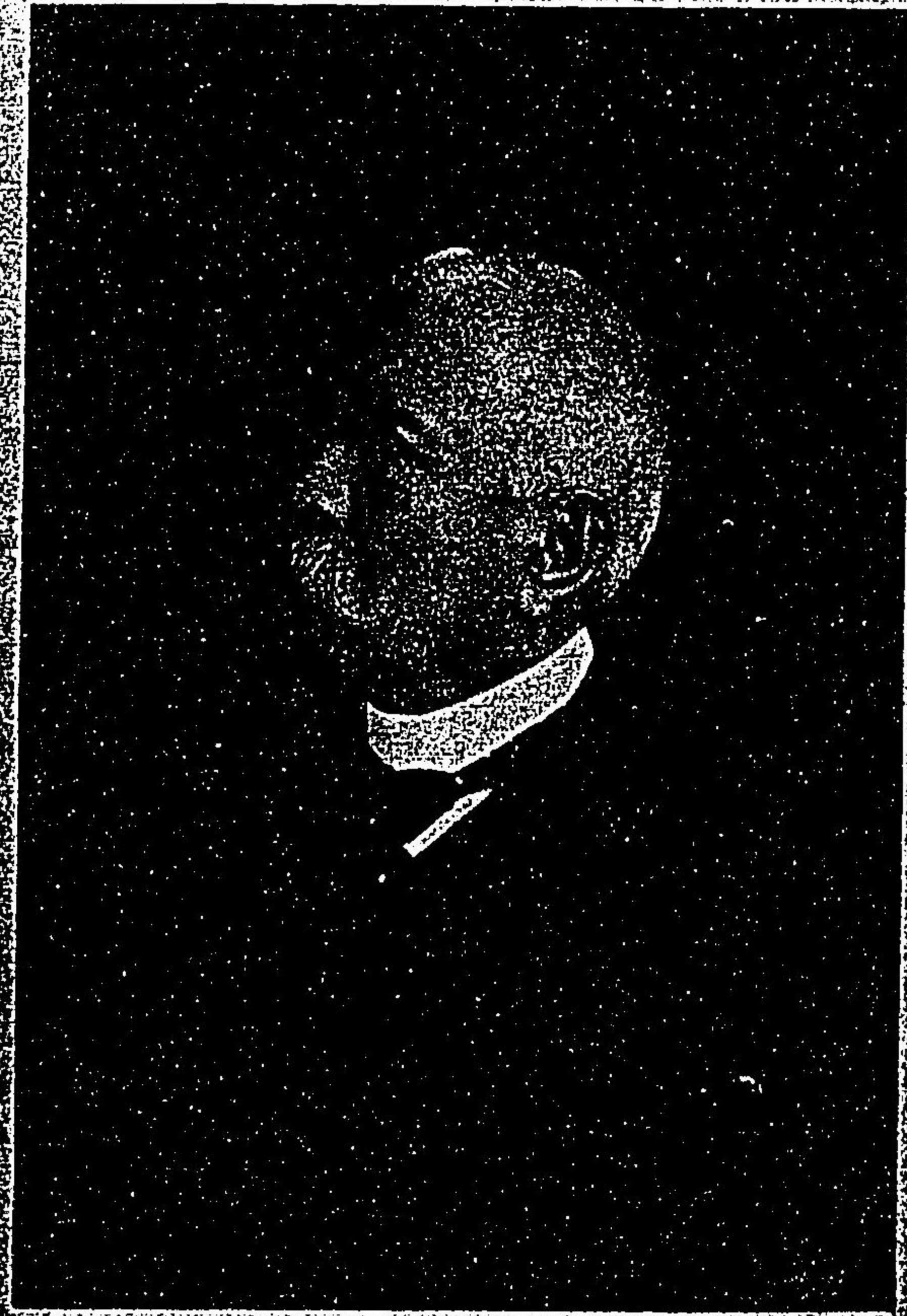
「ブラシル」ハ「ポルトガル」ノ屬地ナリシカ千八百二十二年(文政五)ニ至リ獨立シテ帝國トナリ後共和國トナル

西班牙ノ殖民地ハ千八百十年(文化七)反亂ヲ企テ獨立ノ旗ヲ翻シ千八百十七年「チリ」國獨立シテ共和國トナル

「コロンビア」ハ千八百十九年「ラプラタ」ハ千八百十年「パラグアイ」ハ千八百十年「ペルー」ハ千八百二十一年各獨立シタリ

第二篇 墨西哥





*Benigno*

墨 國 大 統 領

墨 國 大 統 領





墨西哥土人ノ風俗

墨西哥土人ノ老ヲ示セシモノモルセシ中ノ袋ハヘネケト稱ス  
ル當國有名ノ産出織ヲ以テ作ルモノモルセシ中ニハ植作物ノ肥  
リ土ヲ入ルタルモノナリ



目次

第二篇 墨西哥…………… 五九

第一章 總說…………… 五九

第一款 墨西哥共和國國勢一斑…………… 五九

第二款 墨國大勢摘要…………… 六〇

第二項 墨國土人ノ系統及墨國ノ人種關係…………… 六一

第三項 墨國ノ歷史概要…………… 六二

第四項 墨國領土ノ變遷…………… 六四

第五項 現在ノ政體…………… 六五

第六項 墨國ノ政治上及地理上ノ區分…………… 六七

第七項 鐵道略記…………… 六八

第二款 墨國貿易ノ大勢…………… 七〇

第二章 商工…………… 七三

第一款 總說…………… 七三

第一項 墨國ノ工業…………… 七三



第二項	工業獎勵法ト外資ノ影響	七四
第二款	棉花工業及綿布、棉花ノ貿易關係	七五
第一項	棉花工業ノ沿革	七五
第二項	綿布ノ輸入	七六
第三項	綿布ノ輸入細別	七七
第四項	棉花ノ輸出入	七九
第五項	棉花工業ノ概況	七九
第六項	各種綿織物	八一
第七項	棉花工場ノ視察記要	八二
第三款	毛織物業	八四
第四款	養蠶及製絲業並生絲及絹織物ノ輸入	八五
第五款	絹織物工業	八七
第六款	製紙工業	八八
第七款	製糖業	八九
第八款	酒類釀造業	八九

第九款	煙草製造業 附煙草製造工場ノ視察記事	九〇
第十款	家具製造業及工業視察ノ記事	九一
第十一款	製粉業	九二
第十二款	鐵工、製鐵及製鋼業	九二
第十三款	陶器業	九三
第十四款	金物業	九四
第十五款	帽子製造業	九五
第十六款	「マツチ」業	九五
第十七款	「ガラス」工業其他ノ雜工業	九六
第十八款	墨國ニ於ケル日本商店及日本取扱店	九七
第一項	首都ニ於ケル日本商店	九七
第二項	地方ニ於ケル日本商店	九八
第三項	日本商店ノ將來	九九
第十九款	墨國ニ對スル日本重要輸出品	九九
第一項	緒言	九九



第二項 絹織物(羽二重).....100

第三項 絹手巾(三六一四〇「インチ」平方).....101

第四項 花筵.....101

第五項 生絲.....101

第六項 雜貨.....101

第七項 運輸商慣習及關稅制度.....101

第八項 日墨將來ノ貿易品.....101

**第三章 鑛業**.....102

第一款 大勢.....102

第二款 鑛物ノ分布.....102

第三款 石炭及石油.....102

**第四章 農業**.....103

第一款 農業ノ現状.....103

第一項 低地.....103

第二項 溫帶地方及高原地方.....103

第三項 農業ノ不振.....104

第二款 政府ノ農業獎勵.....104

第三款 林業.....104

第四款 主要農産物概説.....104

第一項 玉蜀黍.....104

第二項 小麥.....104

第三項 米.....104

第四項 煙草.....100

第五項 棉花.....100

第六項 護謨原料.....100

第七項 甘蔗.....101

第八項 「チリル」護謨(Chicle).....101

第九項 「ヘネクエン」(Heneguen)纖維.....101

第十項 「イクスル」(Ixtle).....101

第五款 牧畜業.....103



附錄

墨西哥地誌一斑

第一 位置地勢……………一五

第二 河湖……………一六

第三 氣候……………一七

第四 植物……………一八

第五 動物……………一九

第六 住民及沿革……………二〇

第七 宗教風俗……………二一

第八 都市……………二二

第九 產業……………二三

第十 交通……………二四

第二篇 墨西哥

第一章 墨西哥共和國國勢一斑

第一項 墨國大勢摘要

一 面積……………五倍下二

二 人口……………三倍下四

三 一平方哩ノ人口……………十七倍

四 耕作地面積……………二倍下三

五 森林面積……………二倍下五

六 首府人口……………六倍

七 金産出……………四倍

八 銀産出……………十五倍

九 銅産出……………二倍弱

十 國庫經濟……………五倍

十一 輸出入……………二倍

日本ニ比シテ

日本ガ

日本ガ

日本ガ

日本ニ比シテ

日本ガ

日本ニ比シテ

同

同

同

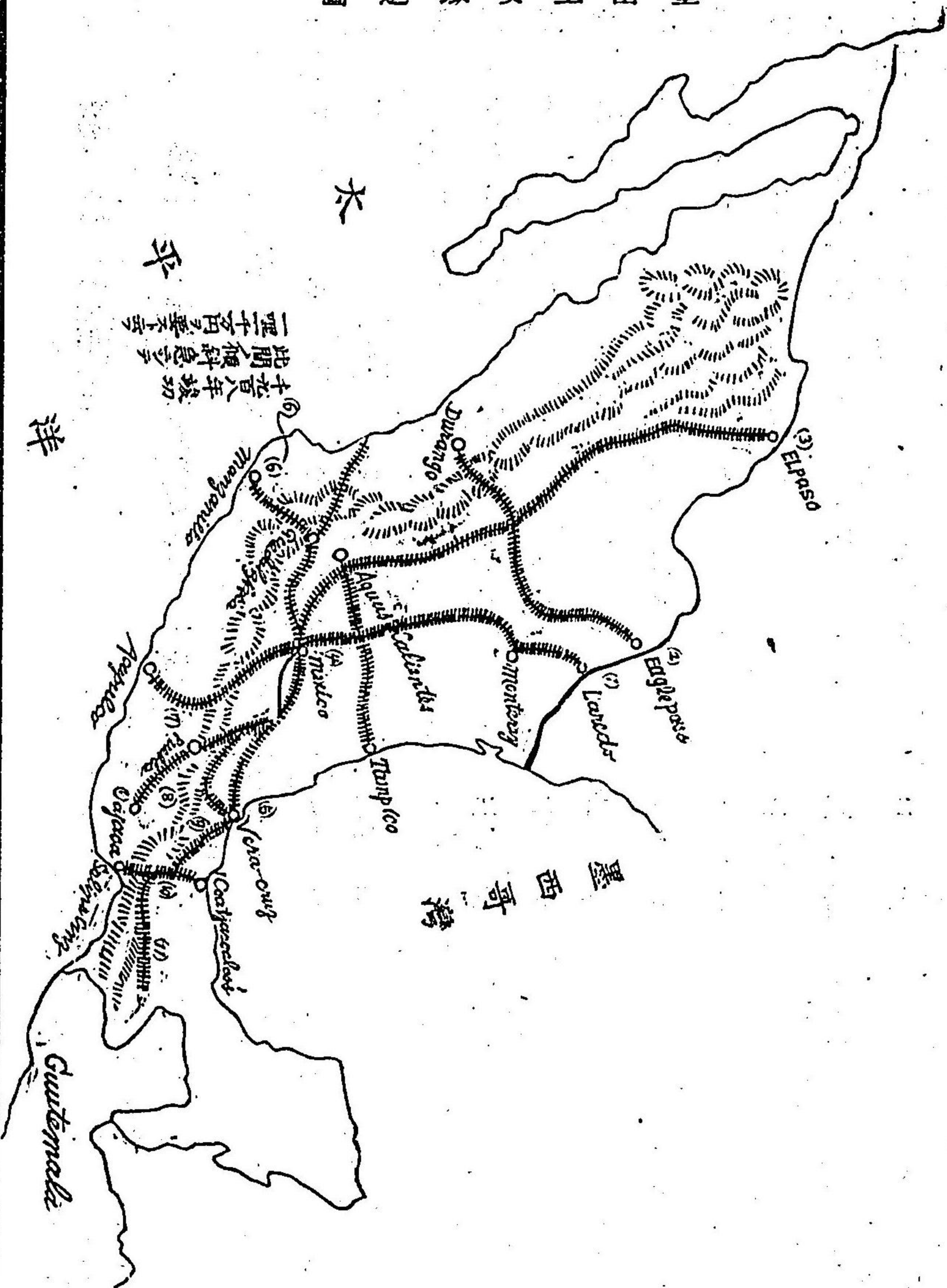
日本ガ

日本ガ

日本ガ



墨國主要鐵道圖



- 十二 商船噸數 日本ガ 六十倍
  - 十三 出入船舶噸數 日本ガ 五倍
  - 十四 鐵道延長 日本ニ比シテ 二倍ト二
  - 十五 電線延長 同 三倍
- 尙ホ墨國ノ大勢ヲ知ルニ必要ナル事項ヲ左ニ摘録ス

第二項 墨國土人ノ系統及墨國ノ人種關係

墨國土人ノ始源ハ北方ニ在ルコト明カナルモ其他ノコトハ今尙ホ不明ナリ其言語ニ於テハ亞細亞語ニ似タル所ヲ發見スルヲ得スト雖モ「エスキモー」人種ノ言語ニ似タル點アルヲ以テ見レハ亞細亞トノ交通ノ跡ヲ止ムルモノト認ムルコトヲ得

此ノ土人ハ現在墨國人民ノ三割八分ヲ占ムルモノニシテ土人ト西人トノ混生種カ四割八分ヲ占メ唯二割九分ノミカ白人又ハ白人ニ近キ人種ヨリ成立ス左レハ墨國ナル國ハ大體ニ於テ印度人ト白人トノ混成人種ナリト稱スルヲ得ヘシ而シテ白人ト其ノ他ノ人種カ比較的ニヨク調和シタル最良ノ標本ヲ示スモノナリ現在ノ大統領デアス氏ノ祖母ハ土人ナリト謂ヒ又國務卿及官吏中ニモ混生種ニ屬スル人多シ然レトモ大體ニ於テ白人ニ富者多ク土人ハ貧者ノ大部分ヲ爲スモノナリ惟フニ墨國カ其人口ノ多キ割合ニ振ハサルハ貧窶ニシテ且ツ白人ニ比シテ懶惰ナル土人カ其多數ヲ占ムルニ因ルモノナリト



云フ

第三項 墨國ノ歴史概要

墨國ノ原始ト見ルヘキハ今ヲ距ル一、四五〇年前、トルテツクス一人カ今ノ首都ヲ隔ル北方五十哩今ノタラノ近傍ニ強大ナル王國ヲ建設シタルニ始マル其ノ後此ノ王國モ分散シ北方ヨリハ續々他人種ノ南下スルアリ而シテ「アツテツク」種ハ今ヲ距ルコト七百年前ニ於テ初メテメキシコ國ノ始原トモ見ルヘキ王國ヲ建設シタリシカ一五一九年西班牙人ヘルナンド・コルテスカ今ノベラクルーズ港ニ上陸シテ土人ヲ征服シ一五二一年八月十三日首都メキシコ市ヲ陥ルルニ及ヒテ舊メキシコ國ハ全ク西班牙ノ統治ニ屬スルコト、ナレリ以後一八二一年ニ至ル迄墨國ハ新西班牙ノ名稱ノ下ニ統治セラレタリ（此ノ間ニ日本ト交通アリシコトハ *Zelia Nuttall* 氏ノ日墨交通舊記ニ明ナリ）

一八一二年九月二十七日コルドバノ條約ニ依テ西班牙ノ政權ハ全滅シ叛將イタービツド凱旋シテ首都ニ入りメキシコ王ト爲ル獨立ノ戰爭未タ終ラサルニ將軍サンタ・アンナ軍ヲベラクルーズニ僱起シ共和政體ヲ宣告シ遂ニ一八二四年十月四日ヲ以テ共和政府ハ憲法ヲ公布シ將軍グ、ビクトリア大統領ト爲ル

以後國內ハニツノ政黨ニ分レ（西人ハ主トシテ中央集權黨ニ屬シタリキ）兩黨派ノ争ヒハ一八二八年ヨリ一八四六年ニ至ル間ノ内亂ノ基トナリ革命的行動ニ依リテ相互ニ政權ヲ左右シタリキ一八四七年

米國ト戰フテ領土ノ五分ノ二ヲ失フ後自由黨政權ヲ領シ一八五七年ヲ以テ墨國ノ現行憲法ヲ制定セリ一八六一年英、西、佛ノ三國同盟シテ墨國ト戰ハントシタリシカ英、西ノ兩國ハ同盟ヲ脱シ佛國獨リ墨國ト戰フ此ノ戰爭ハ一八六二年ヨリ一八六七年迄繼續セリ然レトモ雙方別ニ要領ヲ得ル所ナカリシカ結局佛國ノ勝トナリ澳國ハプスブルクノマキシシリアンニ帝冠ヲ戴カシムルコト、ナリシカ同王ハ一八六七年六月ニ至リテ暗殺セラレタリ

後土人出身ベニト、ジュアレツハ更ニ共和制ノ大統領ト爲リ、後「セバステアン、レルドト、パロ、ブランコ」ノ革命ノ變亂ニ命ヲ失フニ及ヒ將軍ホルヒリオ、シアズ大統領ト爲リ次ノ大統領マヌエルゴンザレスノ次ニ再ヒ選ハレテ大統領ト爲リ以テ今ニ及ヘリ（シアズ氏ノ性行等ニ付キテハ前ニ述ヘタルカ如シ）

是ヲ要スルニ墨國從來ノ歴史ハ之ヲ分テ次ノ數段ト爲スコトヲ得可シ

- 一、土人統治時代（五四四年——一五二二年）
- 二、西班牙統治時代（一五二二年——一八二二年）
- 三、獨立後ノ革命時代（一八一二年——一八六一年）
- 四、佛國來攻時代（一八六二年——一八六七年）
- 五、共和制時代（一八六七年——一八八四年）



六、「シアス」時代（一八八四年—今日に至ル）

第四項 墨西哥領土ノ變遷

殖民時代ニ於ケル新西班牙ノ境界ハ正確ニ言ヘハ無限ナリト云フノ外ナシ然レトモ現時ニ至リテハ明確ナル區劃ヲ樹ツルニ到レリ

南部ハ東南「ゴウテマラ」及「英領ホンジュラス」ニ接シ、東部ハ大西洋（特ニ「メキシコ」灣及「カリビアン」海）ニ面シ西部ハ一面太平洋ニ面セリ

往時ニ於テハ北部ハ北米大陸ニ向フテ無限ノ擴張ニシテ昔シ嘗テ東部「メキシコ」灣沿岸一對ノ地、西ハ加州ニ終リ北端ハ「ミヅリー」河ノ上流ニ達セルノ領域ヲ占ムルモノナリト稱セシモ斯ク廣大無限ノ領域モ專有スルコト能ハスシテ漸次他國ノ侵略ヲ受ケ特ニ佛蘭西ヨリ「フロクダ」及「ミスシツピ」河ノ地ヲ侵サレ割讓スルニ至レリ然シテ此等ノ地域ハ千八百二十年佛國ヨリ北米合衆國ニ分讓セリ此ヨリ先キ北米合衆國ハ千八百一年佛國ヨリ「ルイジアナ」一體ノ購買ヲナセリ當時「ルイジアナ」地域ト稱スル區域ニ就イテハ何人モ明確ナル區劃ヲ知ルモノナシ然レトモ或公法學者ノ説ニヨレハ合衆國南東部一帯及「リオ、格蘭ト、デルノート」(Rio Grand del Norte)ノ間ノ一帯ノ地域ヲ意味スルモノト論セリ

如何ナル墨國ノ爲政家モ當時「アングロ、アメリカン」人種ノ「ミスシツピー」河口ノ地域ニ對スル

發展ノ勢力制ヲ歷スル勢力ナシ如此結果ハ遂ニ境界爭論ヲ生スルニ至リシカ「テキサス」ハ獨立共和國トシテ立チ後千八百三十八年四月二十五日「ワシントン」條約ニテ合衆國ニ加盟ノ調印ヲ爲セリ千八百四十六年—四十七年大戦闘ノ結果(Geard alupe-Hidalgo and Cadsden)條約ヲ結ヒ墨西哥現時ノ北境以外一帯ノ地ハ北米合衆國ノ占領ニ歸スルニ至リタリ

如斯變遷ニヨリ「メキシコ」共和國ノ面積ハ其昔ヨリ殆ント過半以內減スルニ至レリ今之ヲ表示スレハ

- (一)「テキサス」及附近 千八百三十八年 三六二、四八七方哩
  - (二)「アリゾナ」「ニュー、メキシコ」「カリホルニヤ」「ネバダー」「ユタ」及「ワイオミング」ノ一部 千八百四十八年—五三年割讓 五六八、一〇三方哩
  - (三) 現在「メキシコ」…………… 九三〇、五九〇方哩
- 計 七六六、一八五方哩
- 故ニ北米合衆國割讓前總面積 一、六九六、七七五方哩

第五項 現在ノ政體

三權分立主義ヲ執リタル共和制ナリ



(イ) 立法權

二院ニ分ル

A 下院 二百二十七人ノ議員

二年間ニテ改選

B 上院 五十六人

四年間ニテ改選

年ニ二回ノ會期アリ

(ロ) 行政權

大統領

中央

内閣

- 一 外務
- 二 大藏
- 三 遞信
- 四 農商務
- 五 内務
- 六 司法及文部
- 七 軍務

俸給  
 大統領 五萬圓  
 内閣員 一萬五千圓

(ハ) 司法權

- 一 大審院
- 二 地方裁判所
- 三 巡回裁判所

判事ハ人民ノ選舉ニ依リ就職ス

地方

District (Jefe politico 之ヲ統治ス)  
 Municipality (Ayun taniento. 之ヲ統治ス)

之ヲ要スルニ政體ハ北米合衆國ニ模倣シタルモノニシテ格別特殊ノ點ナシ

第六項 墨國ノ政治上及地理上ノ區分

直隸州 (Federal Districts).....二七

州 (States).....二七

領土 (Territory) (Fepic & California).....二七

此等ヲ地理上ヨリ區分シテ四個トス

一 中央地方 (Central States)

二 北方地方 (Northern States)

第三編 墨西哥



- 三 灣 地 方 (Gulf States)
- 四 太平洋地方 (Pacific States)

第七項 鐵道略記

墨國ノ鐵道延長ハ一九〇六年ノ終リニ於テ一三、五〇〇哩(二一、六一二基)ナリ  
今其主要ナル注意事項ノ要點ヲ略記ス

- 一 墨國近世ニ於ケル鐵道ノ延長ハ鑛業國タル墨國ヲシテ商、農、工ノ方面ニ發展ヲナサシメントスルノ動機ヲ作リツ、アリ
- 二 米國トノ交通ハ益米國トノ經濟上ノ交通ヲ密ニシ爲メニ米國資本ノ輸入ヲ促進シタリ
- 三 往時存在シタル地方的ノ關稅制度ハ遂ニ一掃セララル、ニ至ルヘシト期待セララル
- 四 鐵道港灣ニ對スル墨國政府ノ補助金ハ一五〇、〇〇〇、〇〇〇圓ニ垂ントス而シテ主要ナル線路ニ對スル補助金ハ一哩一萬圓ヨリ一萬五千圓ニ及フ此補助ナケレハ一年數百哩ノ延長ハ覺東ナカリシナリ惟フニ現大統領ハ經濟上ノ目的ト統治上ノ目的ヲ以テ斷然タル鐵道擴張政策ヲ執リタルナリ

五 墨國政府ハ數年前ヨリ鐵道株ヲ買收シ以テ米國ニ於ケルカ如キ私鐵橫暴ノ弊ヲ除クコトニカメタリ政府カ大株主タル線ハ即チ National Lines of Mexico ニシテ延長八千哩ニ及フ

六 墨國鐵道ノ主要ナルモノ左ノ如シ

- 一 Forines National Railroad (Laredo - Capital) 839 哩
- 二 Mexican Intersnational Railroad (Eagil Paso-Durango.)
- 三 Mexican Central Railway El pas - Mexico)  
此等ニハ多クノ支線アリテ國內ノ要部ニ通シ當國ニ於テ最も重要ナル幹線鐵道ナリ一九〇六年十一月政府ハ其ノ買收ヲ公布セリ  
政府ノ買收政策ハ一ハ米國ニ對スル正當防衛ニ出テタルモノナリト傳ヘラル
- 四 Hidalgo Railway (Mexico -> Pachuca)
- 五 Interoceanic Railway. (Mexico Veracruz)  
此ノ鐵道ハ當國最古ノ鐵道ニシテ最高所ヨリ海岸ヲ一瞬ニ下ス故最も風景ニ富メリ
- 六、首府ト要港 Manizantlio ヲ連結ス太平洋上ノ貿易ノ爲メニ重視スヘキモノナリ
- 七、首府ト要港 Acapulco ヲ連結スルモノニシテ要用ナリ
- 八、Mexican Southern Railway Puebla ヲ經テ Oaxaca ニ至ル一千萬圓ノ補助ノ下ニ Oaxaca 官源開發ノ爲メニ布設セラレタルナリ
- 九、Vaera Cruz & Pacific Railway.



十、 Tehuantepec Railway 最モ完全ナル兩洋聯結ノ鐵道ナリ其ノ兩端ノ兩港ノ浚渫ニ關シテハ政府ハ既ニ五億圓ヲ費シタリ併シ工事ハ未タ完成ト云フニ至ラス次ノ鐵道ハ N.Y. T.S.F. トノ間ヲ一二五〇哩ヲ聯接スルモノナリ

十一、 Pan-American Railway 一時立消ノ姿ナリシカ「M. Neeland」ト稱スル墨人事業ヲ再興シ一哩ニ萬圓ノ補助ヲ以テ San Gerónimo ナル者今ヤ Guatemala ノ國境ヲ隔ル百餘哩ノ所マテ建設セリ此鐵道ノ Guatemala ニ達スルハ近キニ在ラン

第二款 墨國貿易ノ大勢

墨國ハ商業國ト云ハンヨリハ寧ロ鑛業國ナリ而シテ其貿易ノ大勢ヲ支配スルモノハ常ニ鑛業產物ナリトス左ニ沿革概要ト輸出入ノ大勢ヲ抄記ス

西班牙征服後墨國ノ開港場ハ Acapulco ニシテ主トシテ Manila トノ貿易ノ爲ニ繁華ナリシ而シテ十六世紀ニハ日本及清國トモ交通ヲ開キ同港ハ一時最モ大ナル世界ノ貿易港ナリシナリ然ルニ内亂ノ打撃キタル爲十九世紀ノ初メニハ外國貿易ノ大頓挫ヲ來シタリ然レトモ久シカラスシテ再ヒ勃興シ平和ノ打撃クト共ニ國內ノ鐵道モ漸次完成シ内外ノ商業勃興ノ勢ヲ呈シ來レリ墨國ノ外國貿易ノ其ノ輸出重要品ハ云フ迄モナク貴金屬其ノ劈頭ニ在ルモノニシテ植物纖維 Henequen, 及珈琲並家畜等之ニ次ク而シテ重要輸入品ハ機械、棉花製品、鐵、酒類、紙及其製品並ニ他ノ織物纖維トス

今既往十箇年間ニ於ケル墨國ノ外國貿易發達ノ跡ヲ見ルニ左表ノ如キモノアリ  
即チ

輸出ニ於テハ一八九六―七年ニハ一七、七八四、〇九二圓ナリシモノカ一九〇五―六年ニ於テ二七、一、二三八、八〇九圓ト爲リタルモノニシテ此ノ年間ニ於テ實ニ五割弱ノ増加ヲ示シ  
輸入ニ於テハ一八九六―七ニハ八三、二四八、八六一圓カ一九〇五―六年ニ於テ二二〇、〇〇四、七五五圓トナリ即チ十四割ノ増加ヲ爲シタルモノアリ而シテ一九〇五―六ハ一九〇四―五年ニ比シテ急激ナル進歩ヲ爲シタルモノナリ  
又貿易ノ對手國ハ米國其ノ第一ニ在リテ英、獨之ニ次クモノトス今其ノ詳細ヲ左ニ掲ク

○既往十年間墨國對外貿易表

並ニ重ナル貿易對手國

	輸 出	輸 入
一八九六年	一七、七八四、〇九二 <sup>円</sup>	八三、二四八、八六一 <sup>円</sup>
一八九七年	一三、八〇六、五〇四	九七、二七三、二九〇
一八九八年		







然レトモ保護政策ノ影響及政府ノ工業獎勵法ニ據ル補助及外國資本ノ投下ニ依リ墨國ニ於テモ近時工業ノ起リ來レルモノ多シ左ニ其主要ナルモノニ就キ之ヲ記述スル前、政府ノ工業獎勵法ノ概要ヲ左ニ抄録ス

第二項 工業獎勵法ト外資ノ影響

一九〇三年墨國政府ハ議會ノ協賛ヲ經テ工業獎勵法ヲ制定セリ其ノ概要ハ新規工業ヲ起ス者ニハ左ノ順序方法ニ從ヒ之ヲ補助ス

- 一、十萬圓以上ノ資本ヲ以テスル新工業ナルコト
- 二、此資本ニ對シテハ直稅ヲ免除ス
- 三、前記工業ノ爲メニ輸入スル機械、器具及建築材料ニ對シテハ輸入稅ヲ免除ス
- 四、此ノ特權ノ期間ハ五ヶ年以上十ヶ年未満トス

此ノ工業獎勵法ハ更ニ工業ノミナラス有益ナル一切ノ企業ニモ準用擴充スルコトヲ得ルモノナリ而シテ工業ニ就テハ此法律ノ發布ニ依リ製油業及「ボタン」、「ナイフ」及眞珠ニ關スル工業、金具工業等ノ勃興セルアルナリ其他電燈用「ラムプ」ノ製造業ノ如キ又漸ク起ラントスルノ狀勢ヲ示セリ其他工業以外ニ於テハ鳥糞ニ關スル調査事業ヲ補助シ其ノ他富源多キ土地ニ關スル調査ヲ補助セリ此等ノ效果ハ必ス近キ將來ニ於テ墨國工業ノ起ルヘキ有力ノ動機ナラント稱セラル

其他墨國ノ企業ヲ助ケ工業ノ隆盛ヲ來ス原因ハ外資ノ輸入ニシテ墨國人ハ土地其他不動産ニ投資スルモノ多キモ米國人及佛國人ハ新企業ニ其資本ヲ投下セリ米國人カ墨國ノ企業ノ爲メニ投下シタル資本總額ハ十餘億ニ上リ其半ハ二十五年前ヨリノ投下ニ係ルモ他ノ半額ハ最近五ヶ年間ノ投下額ナリ墨、米ノ商工業上ノ連鎖ハ之レニ依リテ實ニ鞏固ナルモノアリ墨國輸入ノ一〇〇分ノ五八ハ米國ニシテ一〇〇分ノ八〇ノ輸出ハ米國ナルヲ以テ之ヲ見ルモ其一斑ヲ窺フニ足ルヘキナリ

其他鐵道ト云ヒ農業、鑛業ノ如キ總テ大部分米國資本ノ力ヲ以テ開發セラレツ、アルナリ故ヲ以テ將來墨國ノ工業及商業ヲ論スルモノハ決シテ米國ヲ度外シテ之ヲ觀察スルコトヲ得サルノミナラス却テ米國ヲ主トシテ計算ヲ立テサルヘカラス墨國ニ於ケル經濟上及金融上ニ於ケル米國ノ勢力ハ實ニ豫想外ニ大ナルモノアルナリ

今左ニ墨國ノ各種工業ニ就キ之ヲ概述スヘシ

第二款 棉花工業及綿布、棉花ノ貿易關係

第一項 棉花工業ノ沿革

墨國ニ於ケル工業トシテ最モ見ルニ足ルヘキモノヲ棉花工業トス今棉花工業ニ關スル各種主要ノ事項ヲ左ニ抄録ス

- 一、棉花工業ハ西班牙ノ征服以前ニ既ニ存在セリ而シテ其ノ製品ハ相當精巧ヲ極メタルモノモアリタ



リシナリ例へハ黃白棉花ヲ用ヒ染色ヲ用キスシテ色物ヲ織リタルコト若クハ羽毛又ハ兎ノ毛ヲ木棉ニ混シテ一種柔軟ナル綿布ヲ織製セルカ如キ是ナリ

二、棉花ハ交通ノ便未タ開ケサル前ニアリテハ往々之ヲ西班牙ニ輸出シタリ然レトモ又之ヲ西國ヨリ輸入シタル地方モアルナリ(一七六一年—一八一九年ニ至ル間ノ狀況)

三、棉花工業ノ沿革ハ古シト雖モ其ノ工業トモ稱スヘキ時代ニ達シタルハ近々三十年以來ノコトニシテ今日トテモ内地ノ需要ヲ充タスノミニシテ外國へ輸出スルニ至ラス却テ棉花製品ハ未タ外國ノ輸入ニ俟テリ

第二項 綿布ノ輸入

綿布ハ今尙ホ歐洲及米國ヨリ輸入セラル、モノアリ其額實ニ二、四〇〇萬「キロ」其ノ價額五九〇萬圓ニ達セリ(一九〇五年ノ統計)又紡績綿絲並ニ綿布供給國ヲ順次ニ列記スレハ左ノ如シ(一九〇五年ノ統計)

綿絲	英 國	二二、〇二八
	獨 國	一一、一六〇
	米 國	一、一六八
	伊 國	五〇〇

其他

三五、八五六

第三項 綿布ノ輸入細別

綿布ニハ左ノ五種アリ此ノ五種ニツキ更ラニ重大ナル輸入國及分量ヲ表示スレハ左ノ如シ(一九〇五年ノ統計)

種類	A	白色又ハ未漂白ノ綿布五「ミリ」平方ニ縱横ニ	三十本未満
	B	同	三十本以上
	C	染色、色刷綿布	三十本未満
	D	同	三十本以上
	E	白色、染色、綾織、節織綿布	三十本以上
A種	英 國	六、九一七、八一	
	米 國	一、二三五、五八四	
	佛 國	二二九、六六五	日本
	獨 國	二二二、八〇七	二九二
	英 國	一、三〇五、五二一	

第三項 墨西哥



B 種		C 種			D 種			E 種	
佛	獨	英	米	獨	佛	瑞	英	獨	伊
國	國	國	國	國	國	國	國	國	國
二六一、四〇二	一九四、七三七	八二、一一一	二、七二二、一一八	六七八、二二一	五七〇、五七一	二、三三三、三八七	七五一、一六三	一三五、二八〇	一一一、三三八
日本	但シ一九〇三年ニ		日本	日本		之ニ次クハ西班牙		日本	但シ一九〇二年ニ
〇	一四〇		一、三一五				〇	〇	四一四

以上ニ依リテ之ヲ見ルニ英國ハ如何ナル種類ノモノニ就キテモ首位ヲ占メ米、獨、佛、伊、西等之ニ次クヲ見ルヘシ

此等ノ表ニ依リテ之ヲ見ルモ墨國棉花工業ハ縱ヒ相當ノ成效ヲ得ツ、アルニセヨ外品ト戰ヒツ、アルノ事實ヲ知ルニ足ラン

第四項 棉花ノ輸出入

棉花モ外國へ輸出スルト同時ニ輸入シツ、アルモノニシテ之レハ混綿上ノ關係ヨリ來ル當然ノ結果ナルヘシ今輸出入額ヲ對比スレハ左ノ如シ(一九〇五年)

輸 出 額	六、九三七、九〇七
輸 入 額	六、九三七、九〇七

此ノ内輸出ハ主トシテ米國ニ向フモノニシテ輸入ハ主トシテ米、英、獨ナリ

第五項 棉花工業ノ概況

墨國棉花工業ノ爲メニ要スル棉花ノ分量ハ約四千萬、ポンドニ上ル而シテ其大部分ハ米國ヨリ輸入セラル、モノナリ棉花工業ノ爲メニ生活スル人口ノ數ハ八萬戸ニ上ル尤モ此ノ數ノ中ニハ工場ニ田畑ニ棉花ノ爲ニ勞働セル總數ヲ包含ス墨國ノ工場ニ於ケル機械ハ總テ舊式ナリト云フヲ妨ケス然レトモ近時ニ至リ漸次新式機械ヲ採用スルニ至レルモノ少カラス



棉花工場ノ大多數ハ紡織及染色(Printing)ヲ兼ヌルモノニシテ獨立シテ分業セルモノハ少シ一九〇五年ニ於ケル工場數ヲ其ノ專業ニ從ヒ表出スレハ左ノ如シ

紡織色ヲ兼ヌルモノ	一	九
紡色	九	九
工場數一五〇ノ中色	八	九
絹絲製作	五	九
メリヤス		

又工場ノ分布ヲ示セハ左ノ如シ

A	Puebla	三三
B	Veracruz	一四
C	Federal District	九
D	Tlaxcala	八
E	Coahuila	七

由是視之墨國ノ棉花工場ノ多クハメキシコ市ヲ中心トシタル中部地方ニアリト云フヘシ



第六項 各種綿織物

一、綿織物 (Manta)

綿織物ハ(Manta)ト稱セラル、土布ヲ織成シ用キラル、モノニシテ此ノ土布ハ粗笨ナル漂白セラレサル織物ナリ此ノ織物ハ墨國人ノ三分ノ二ノ著物ト爲ルモノニシテ長三〇碼四吋幅ハ三四、一二吋ノモノナリ其ノ代價ハ四圓ヨリ二圓八十錢迄ノ間ニ上下セリ

二、肩掛ケ (Rebozos)

墨國人ハ其ノ白人タルト混生タルト土人タルトヲ問ハス「レボソ」ト稱スル肩掛ケ様ノモノヲ纏フヲ常トス墨國ニ入リタル人ノ風俗上第一ニ注意スルハ此ノ肩掛ケナリ(其ノ他中流ニテハ「シアール」(Chal)ト稱スル肩掛ヲ用ユ之レハ毛織ナリ(後出)此 Rebozosノ爲メニ綿絲ハ多ク消費セララル墨國最良ノ「レボソ」ハ Tencingo 市ノ生産スル所ナリ而シテ當メキシコ市ニ於テモ此ノ生産ニ從事スル工場多シ

其ノ他一般ニ棉花工業ノ利益ハ餘程大ナルモノニシテ恰カモ我國ニ於ケルヨリモ以上ナリ即チ一割五分以上ノ配當ヲ爲セル會社ハ少ナカラサルナリ

附(一般纖維工業品ノ輸入)

因ニ纖維工業製作品ノ當國ニ對スル輸入(一九〇五年乃至一九〇六年)ハ左ノ如シ



一、棉	一、二、六二八、五二一 <sup>五九</sup>
二、リンネン	一、二七〇、六二一
三、羅紗	四、六八一、一三三
四、絹	二、一八四、五九二
五、絹ト他トノ混合	一、八三一、六〇九
六、擬絹	四六、六二四
此價總額 二二、六五四、三二二 ナリ	

第七項 棉花工場ノ視察記要

工場名 Fabrica de Hilados y Tejidos de Algodon (San Angel) (支配人ノ案内及談話)

當工場ハ佛國人ノ經營ニ係リ一七〇萬圓ノ資本ヲ以テ創立シタルモノニシテ職工ハ女工ノミニテ一、二〇〇人ヲ僱使シ一週平均五萬圓ノ綿布ヲ生産ス而シテ動力ハ七八里ヲ隔ル山中ヨリ水力電氣ヲ導ケルモノニシテ犬凡九〇〇馬力ヲ消費ス此電力ハ會社ノ自營ナルヲ以テ一週間三〇〇圓ノ入費ノミナリト雖モ若シ之ヲ買入ル、モノトスレハ一日二〇〇圓ノ價ヲ有スルナラント云ヘリ機械ハ一八九九年製造ノモノモアレトモ多クハ一九〇六年—一九〇七年ノ新式機械ヲ用ユ皆英國式ナリ (Platt Brothers & Cooldham) 等ノ文字アリ

原料棉ハ總テ墨國產ノモノヲ使用ス蓋シ當工場ニ於テ織成セル綿布ハ多クハ土布又ハ「ウンサイ」織ト

モ稱スヘキ太線物ナレハナリ

綿絲ノ値段ハ四六二「グラム」ニ付二二錢ノ割ナリト云ヘリ職工ノ賃銀ハ (Perk wages) ニ依ルモノニシテ一日平均(朝六時ヨリ晚八時迄)ニテ一圓二〇乃至二五位ヲ得ルヲ常トス職工ノ僱使ニツキテハ工場法トモ稱スヘキ法律ナシト雖モ州法ニ於テハ幼年者ノ僱使ニツキテハ制限ヲ立テタリ然レトモ之レヲ履行セラレサルモノ、如シ

又職工ノ保險制度ノ如キモ見ルヘキモノナシ若シ怪我等ヲ爲セルモノアレハ臨機ニ會社ニ於テ相當ノ手當ヲ爲スト云ヘリ當工場ニ僱使スル職工ハ勿論多數ハ土人ニシテ其中男工多ク僱使スルヲ主トスルモノ、如シ例ヘハ機械場ノ如キハ總テ男工ナリ

當工場ノ配當ハ千九百七年後半期ニ於テ八乃至九%ナリ當工場ノ製品ハ主トシテ土人用トシテ全國ニ輸出スルモノナリ當工場ヨリ大ナル工場ハ尙ホ十一ニアルヲ以テ此等ノ工場ヨリ競争ヲ受クルハ勿論ナリ「ツテラスト」ハ當國ニ於テ禁セラレタルヲ以テ競争者間價格ノ協定等ヲ爲スコトハ不能ナリ(有名ナル工場ハ Orizava 及 Pulchra ニアリ)外國輸入品ハ上等品ナルヲ以テ本工場ノ製品トハ競争セサルナリ

當工場ノ視察ニ依リテ得タル事項ノ主ナルモノ

一、一週間七、〇〇〇反ヲ織出ス而シテ此等ノ反物ハ一人二臺ノ受持ニテ間斷ナク織出セリ六三〇臺



ノ機ハ一室内ニ在テ壯觀ヲ極ム墨國ノ棉花工業モ之ヲ輕視スルコトヲ得ストノ念ヲ生シタリ  
 二、乾燥及整理並ニ染色後ニ織成スルコト等ノコトハ日本ニテ嘗テ實見セサル所ナルカ或ハ當國ノ方  
 進歩セルモノ多シ乾燥器ハ頗ル完全ニシテ(Biero Schilde Hirsch Hw)棉花ノ自動乾燥裝置ヲ爲セリ  
 三、土人ト雖モ優秀ナルモノヲ選拔スレハ良好ノ職工タルヘキコト  
 四、石炭ヲ用ユルモノトスレハ一噸十八圓ノモノヲ用キサルヘカラス此石炭ハ Acapulco ヨリ入ル米  
 炭ナリト云ヘリ

第三款 毛織物業

毛織業ハ直接ニ我國トノ貿易上大ナル關係ナケレハ單ニ大體ヲ記スルニ止ムヘシ  
 墨國ハ熱帶ナレハ毛織物ヲ需要スルコト比較的ニ少シ尤モ中央部ノ寒冷ナル高原ニ於ケル上流及中流  
 社會ニ在リテハスヘテ洋服地トシテ毛織物ヲ用ユ此等ノ毛織物ハ大部分外國ノ輸入ニ係ルモノナリ  
 墨國土産ノ毛織物ハ洋服地及「ブランケット」及綿毛混成ノ「ブランケット」及「カシミヤ」等ナリ「カシ  
 ミヤ」ノ如キハ歐米品ノ如ク出來榮ヘ宜シカラスト雖モ其質堅牢ニシテ又安價ナリ  
 毛織物ノ當國ニ對スル輸入(一九〇五年乃至一九〇六年)

- 一、毛 絲 六五、二六〇 二、織 物 二、八九二、四三一
- 三、製作品 一、七二三、四四二

最モ多ク輸入スル國ヲ順次ニ記述スレハ

- 一、毛 絲 獨、佛、英 二、織 物 以上ノ三國
- 三、製作品 獨、佛、米

第四款 養蠶及製絲業並ニ生絲及絹織物ノ輸入

墨國ニ於ケル絹及繭絲ニ關スル事業ハ必シモ大ナラスト雖モ目下發達ノ途中ニ在ルモノナリ其淵源ハ  
 西班牙征服以前ニ遡ルコトヲ得ヘキモ 西班牙政府ハ養蠶ヲ禁止シタルヲ以テ本業ハ一時國內ニ其ノ跡  
 ヲ絶ツニ至レリ然レトモ今ヤ復活シテ政府ノ獎勵ノ下ニ大ナル發達ヲ見ン  
 トスルノ勢ヲ呈セリ

墨國ノ氣候ハ頗ル養蠶ニ適スルモノニシテ下ノ各州ニ於テハ特ニ有望ナル  
 將來ヲ有スルモノナリ



- 1 Oaxaca 2 Puebla
- 3 Hidalgo 4 Jalisco.
- 5 Tlaxcala 6 Michoacán
- 7 Querétaro 8 Veracruz
- 9 Chichahuana 10 Zactecas.



知ルベシ墨國ニ於ケル養蠶ハ中央高原地ニ發達ノ見込アルヲ、直抹州ニ於テハ特ニ白黑桑葉 (White and Black mulberry trees) ノ生長ニ適スルヲ以テ一八八六年ノ頃ニハ四箇ノ大ナル養蠶製絲場アリテ一時ハ墨國全部ノ需要ヲ充タスニ足ルヘシトノ見込アリシモ十分ナル成效ヲ見ルニ至ラスシテ失敗セリ以後政府ハ積極的ニ養蠶ヲ獎勵セリト雖モ今日迄未タ著シキ進歩ヲ爲サ、ルハ一種不可思議ノコトニ屬ス

生絲ノ當國ニ對スル輸入(一九〇五年—一九〇六年)

一九〇六 <sup>英</sup>	一二九、八五六 <sup>日</sup>
米國ヨリ	七、六四二 <sup>日</sup>
内 英國ヨリ	一、九三二
印度ヨリ	一、〇四四
	七三、五三九 <sup>日</sup>
	二八、八一—
	一、五七六

日本ヨリハナシ其他ハ支那、佛、伊等ナリ  
尤モ間接ニ日本品ヲ輸入スルハ疑ナシ

是ニ由リテ之ヲ見レハ當國ニ對シ日本ヨリ直接ニ生絲ヲ輸入スルノ見込アリ

絹絲、絹織物及絹製作品ノ當國ヘノ輸入(一九〇五年—一九〇六年)

一、絹 製 品	一、一四〇、八五九 <sup>日</sup>
二、織 物	九四三、三六六
三、絹 絲	六〇〇、三六六

一、絹製品ヲ最モ多ク輸入スルハ佛國ニシテ之レニ次クハ獨及米ナリ日本ハ輸入國トシテハ低位ニ在リ

二、織物ヲ最モ多ク輸入スルハ亦佛ニシテ米、獨、瑞西、日本其他清、西、英、埃、白、埃、グアテマラ等トス

三、絹絲ハ米國ヲ第一トシ英、獨力主タルモノトス

統計上ヨリ見レハ以上ノ如シト雖モ實際日本ヨリ當國ニ入ルモノ多カラント考フ例ヘハ米國ヨリ入ルト云フハ其ノ實日本ヨリ入ルモノナラン故ニ將來此ノ貿易ヲ直接ニスルノ必要アルハ論スル迄モナシ

第五款 絹織物工業

墨國ニ輸入セラル、生絲ノ多クハ Rebozo ノ製織ニ消費セラル、モノニシテ此等ノ織工場ハ多クハ手工ニシテ其機械ヲ用キテ絹織物ヲ製織スルハ首都ヨリ四十分ノ路程ニ亙ル Tepic ニ於ケル Fabrica de Tejidos de Seda y Rebozos (工場持主 J. Valley, 及 Sulet) アルノミ左ニ本工場ニ就キ視察シタル概要ヲ掲ク

本工場ハ創立日未タ淺クシテ諸事試驗時代ニアルモノ、如シ固定資本五〇、〇〇〇圓内ニ萬五千圓ヲ工場建設ニ用キ織機ハ六箇ノ力織機ニシテ米國製ノモノ(一臺四五〇圓)ヲ用キ水力電氣ヲ引キテ之ヲ動かセリ(電氣總馬力十馬力)職工ハ五六十人ナリ一日平均二圓擦絲工ハ一日平均一圓ノ勞銀ヲ給スト



云フ

當工場ハ(一)精練(二)撚絲(三)織出ノ三箇ノ作業ヲ兼ネタリ宛然日本式ノ工場ナリト云フヘシ(整經機ハ Lyon 製ノモノヲ用ユ)製品ハ Talcia 及 Rebozos ナリ  
本工場ハ新タニ Brucos 商會ト契約シテ生絲ヲ日本ヨリ輸入スルコト、ナレリト云フ而シテ目下用ユル生絲ハ佛國輸入品ナリ

工場所感

- (一) 佛人ナレハ日本人ニ見スルコトヲ好マサルモノ、如ク説明頗ル要領ヲ得ス
- (二) 佛人方絹工業ヲ此地ニ初ムル洵ニ故アリ日本人モ職工ヲ日本ヨリ招キテ此種ノ工業ヲ此地ニ初ムルニ於テハ收益アルヘキコト疑ナシ
- (三) 要スルニ墨國ニ於ケル力織機ニ依ル絹工業ハ未タ其發達ノ曙光ヲ認メタルニ過キス而シテ此ノ工業ノ元祖ハ佛國人ナルコトハ注意ヲ要スル點ナリ
- (四) 工場主ノ談ニ依レハ墨國需要ノ絹物ハ其種類多種ナレハ到底歐米ニ於ケルカ如ク大仕掛ノ工業ヲ起スヲ得スト云ヘリ

#### 第六款 製紙工場

製紙工業モ亦原料ノ多キニ拘ラス著シキ發達ヲ見ス尤モ下等用紙ハ相當ニ生産セラルト雖モ上等品ハ

總テ之ヲ輸入ニ仰ケリ一八九九年ニメキシコ州ノ州政府ハ法律ヲ發シテ El Progress Industrial ト稱スル株式會社ニ補助ヲ與ヘ及一切ノ租稅ヲ免除シテ製紙業等ヲ一府隆盛ナラシメントテ企テタリ此會社ハ Magney ノ織維ヨリ紙ヲ製造スルモノナリ (Tehuacan 部及 Cuautlan 部ニアリ) 一六〇〇人ノ勞働者一、五〇〇馬力ノ水力ヲ用キ今ヤ盛ンニ其業務ヲ初メタレハ一切ノ紙特ニ上等紙ノ製作ハ必ス成效スヘシト期待セザル

紙及紙製品等ノ輸入ハ(一九〇五年—一九〇六年)五、四三七、九二〇圓ニシテ紙ノミハ一、一〇六、六二五圓ナリ而シテ最モ多ク紙ヲ輸入スル國ハ獨及米ナリ

#### 第七款 製糖業

製糖業モ非常ニ有望ナル事業ニシテ利益多キニ拘ラス四五ノ州ヲ除クノ外ハ一般ニ進歩セサル狀況ニ有リ製糖工場ノ多數ハ何レモ舊式ノ製造法ヲ用キ蒸汽力又ハ新式機械ヲ用ユルモノ少シ然レトモ此ノ事業ノ有望ナルコトハ Morelos 州ニ於ケル二三ノ製糖工場ハ四年間ニ其創立資本ヲ回收シタル一事ニ徴スルモ明カナリ

砂糖ノ輸入ハ(一九〇五年—一九〇六年)三七六、〇七八圓ニシテ中大部分ハ米國ヨリ來ル、輸出ハ六七四、二三五圓ニシテ大部分ハ英國ニ仕向ケラレテ次ハ米國ナリ

#### 第八款 酒類釀造業



麥酒(Mescal, Aguardiente)ノ醸造モ亦頗ル幼稚ナル狀況ニアリ葡萄酒及「ブランデー」ノ如キモ生産セラル、ト雖モ以テ國內ノ需要ニ應スルニ足ラス然レトモ「ビール」及「Pale ale」ノ類ハ其性質頗ル良好ナルモノヲ産ス

麥酒醸造ニ用キル原料ハ甘蔗、「マデー」(Maquely)、穀物等ナリ

酒ノ輸入額ハ(一九〇五年—一九〇六年)ニ於テ七、二六四、八二六圓ナリ而シテ最多ク輸入スルハ佛國ニシテ西班牙之レニ次ク獨モ亦相當ノ輸入ヲ爲セリ

#### 第九款 煙草製造業附煙草製造工場ノ視察記事

煙草製造業ハ到ル所ニアリ大仕掛ヲ以テスル工場ニアリテハ何レモ一割五分以上ノ配當ヲ爲セリ

墨國ノ煙草ハ直段頗ル安シ例ヘハ卷煙草ノ如キハ一圓ニ七百乃至八百本ナリ又葉卷ハ千本三十五圓ヨリ八十圓迄位ニテ購入スルコトヲ得可シ

煙草ノ輸出ハ葉二、二一六、二八二圓、葉卷及紙卷三七三、三三〇圓ナリ最モVeracruz地方ヨリ當國ヘ輸入スル分キアリ輸入總計三十二萬圓餘ナリ煙草及煙草工業ハ當墨國ノ主要ナルモノ、一ナルヲ以テ當國ニ於ケル最大紙卷煙草製造場タル El Buen Tono SA(社長 Deon de Rencsat)ヲ視察セリ左ニ其梗概ヲ記ス

當會社ハ六百萬圓ノ資本ヲ以テ二千ノ職工ヲ僱使シ四〇〇馬力ノ電力ヲ以テ紙卷煙草ヲ製造スルモ

ノニシテ世界第一ノ紙卷煙草工場ナリト稱セルモ其眞偽ヲ知ラス會社ハ墨國ノ會社ナリト雖モ資本ハ佛國ノ資本ナリ

而シテ其配當ハ一〇〇分ノ一二ナリ

今當工場ニ於ケル所見ノ概略左ノ如シ

- 一、工場法ノ制裁ナシ又工場法ニ類スル工場ノ組織法ナシ又勞働保險又ハ救濟等ニ關スル制度ナシ
- 二、職工ノ供給ニハ少シモ苦マスト云フ賃銀ハ最良ノ職工ニテ二圓ヲ得ルモノ其ノ他ハ一圓餘リナリ
- 三、夜業時間ハ七——一二 一、 $\frac{1}{2}$ ——七ナリ
- 四、本工場ノ電力ハ一馬力一時間三錢一七ニ當ル又石炭ハ二十二圓五十錢ナリト云ヘリ

#### 第十款 家具製造業及工場視察ノ記事

墨國ニ於ケル上等家具ハ少數ノ人ノ用ユルモノニシテ土人ハ殆ント家具ナシト云フモ可ナリ「atin」國丈ケアリテ「Vain」式及佛國式ノ如キハ最モ貴重セラル、モノ、如シ然レトモ中等ノ實用向キノ家具ハ皆米國式ニシテ米國ヨリ輸入スルモノモ亦尠カラス

小官ノ視察シタルハ Palacio de Herrera 氏ノ工場ニシテ規模大ナルモ仕事ハ極メテ閑散ナリシカ如シ視察事項中特ニ記スヘキハ(一)墨國ニテハ種々ノ製作ヲ爲サ、ルヘカラサル爲米國トノ競争ニハ苦メナ



ル、コト(二)土人職工ハ悉ク其ノ日暮シニテ遠慮ナク又技術上ノ發達モ思ハシカラサルコト(三)土曜及月曜ハ怠ケル者最モ多キコト(四)傘ノ製造ハ原料ヲ悉皆輸入スルコト等ナリシ(説明者Zedler氏)

第十一款 製粉業

製粉業ハアレトモ未タ國內ノ需要ニ應スル足ラス工業トシテハ佛國ヨリ輸入シテ白石(Mill Stone)ヲ用ユルノミニシテ其他ノ機械裝置ハ總テ見ルニ足ラス其稍ヤ見ルニ足ルヘキ工場ハ墨國全體ヲ通シテ五六十ニ過キスト云フ

麥粉其他ノ植物性粉類ノ輸入ハ六四八、三七五圓ニシテ輸出ハ數フルニ足ラス

第十二款 鐵工、製鐵及製鋼業

大ナル鐵工場ハ少シ然レトモ或ハ農具製造ノ爲メ又ハ砂糖等ニ用ユル機械製造等ノ爲メニ鐵工業ヲ營ムモノハアリ  
首都ニ於テハ政府ノ建立セル造兵廠アリ然レトモ之レ又一日三十挺ノ小銃ヲ造ルニ過キスト云ヘハ論スルニ足ラサルナリ

墨國ノ鐵ハ高度ノ Charcoal Iron ニシテ五〇——七〇%ノ鐵ヲ有シ磷及硅素ハ極メテ少量ヲ包有ス鐵工業ノ不振ハ原料ノ點ニアラスシテ木炭ト爲スヘキ薪材ノ不足ニ在リ其ノ他交通不便ノ爲本業ハ未タ十分ニ起リ得リルナリ(原料及木材多キ場所ハアルモ鐵材ノ重キ爲メ之ヲ市場迄出スニ於テ驢馬ノ背

ニ依ルノ外ナシ斯ル運搬法ニテハ到底利益ヲ收ムルヲ得ス)

墨國ニハ有名ナルメルカド山アリ此山ハ亞米利加全部ヲ通シテ最大ナル赤鐵鑛ノ山ニシテ世界ニ於テ最大鐵山ノ一ナリ(其ノ山ハ長サ四、八〇〇呎幅一、一〇〇呎高サ六四〇呎七〇%ノ鐵鑛三億噸ヲ包有ス)此ノ鐵山ノ近傍ニ在ルメキシコ製鐵製鋼會社ハ最モ重要ナルモノナリ其他ジュランゴ州ニモ少ナル工場アリ然レトモ近時ニ至リ更ラニ世人ノ注意ヲ惹クニ至リタル工場ハ Nuevo Leon 州ノ Monterey ニ建設セラレタルモノニシテ一千萬圓ノ資本ヲ以テ一年間一二八、〇〇〇噸ヲ産出スルノ規模ナリ其他 Puebla Tepeyahualco ノ工場又注意ニ値ス要スルニ漸次新興ノ時代ニアルモノト謂フヘシ

鐵類ノ當國ヘ輸入セラル、ハ二一、六四九、四四〇圓ニシテ最モ多キハ家屋ノ建築用材ニシテ一、六〇〇萬圓ニ達ス最モ多ク輸入スル國ハ米國ニシテ之レニ次クハ獨及英ナリ

第十三款 陶器業

陶器ハ國中諸方ニ於テ製造セラル主要ナル産地ハ Guadalupe 州ノ Zicatuncan Guanajuato Puebla 等ナリ而シテ此地方ノ陶器及土器ハ何レモ特徴ヲ有ス而シテ當國ノ陶器中銅色ニシテ一種異様ノ光澤アルモノヲ造レルハ注意スヘキコトナリ當國土人ハ手先キ器用ニシテ土人形ヲ造ルカ如キハ最モ巧ナリ而シテ寫真又ハ實物ヨリ人形ヲ造リテ其ニ近キハ實ニ驚ク可キモノアリ  
陶磁器輸出入ノ重ナルモノ左ノ如シ



輸出 九、八〇五圓  
米國 七、八〇〇圓  
西國 一、〇〇〇圓

輸入 九五四、八二六圓  
米國 一六二、六四七  
英國 一五三、一九〇  
獨國 四六九、四九〇  
佛國 三六、五二三  
日 七七、五五〇  
本 三二、六一三  
三、五一四

當國ニ對スル清國、西班牙、伊太利ノ輸入ハ我國ニ比シテ大ナリ故ニ我陶磁器ノ當國ニ於ケル前途ハ尙ホ遼遠ナリト云フヘシ小官ハ當地市場ニ於テ森村モノヲ發見セス故ニ森村組ニシテ之ヲ輸入スルニ於テハ必ス優ニ其販路ニ苦マサルヘシ

第十四款 金物業

金物ニ關スル小工場モ到ル所ニ在リ然レトモ見ルヘキ工場ナシメキシコ市ハ此等ノ作業ノ中心ナリ或ハ鐵又ハ鐵ニ鍍金シタル金具帶及建築用ノ棒等ヲ造レリ然レトモ其ノ輸入ノ多キコト次表ニ明カナリ

輸入鐵器(珐瑯ヲ含ム)

内珐瑯鐵器

米國ヨリ輸入ハ最上位ニ在リ

内獨國之レニ次キ

英

日本ハ一二五圓ノ輸入アルノミナルモ是レ亦將來有望ナル輸入品ナルヘシ

第十五款 帽子製造業

帽子ハ到ル所ニ作ラルト雖輸入品モ亦少カラス即チ次ノ如シ

輸入	一、一〇〇、〇〇〇圓 <sup>内</sup>	一、厚キ帽	三二五、八七六
		二、木綿織出帽	七、九〇〇
		三、雜種	六二九、九五三
		四、形付帽	八〇、〇〇〇
			重ナル輸入國ハ米、伊、佛ナリ

サレハ本邦ハ帽子製造業ニシテ進歩センカ之ヲ此國へ輸入スルハ至難ノ業ニ非サルヘシ或ハ目下ノ製品ト雖モ之ヲ試賣ヲ爲シテ可ナリト思考ス

第十六款 燐寸業

第三篇 墨西哥



當國ニ於テハ木及蠟「マツチ」ノ製造業ハ盛ニ行ハレ特ニMexico市ニハ大ナル工場アリ又 Pueblaモ其ノ產地ナリ日本「マツチ」ハ當地ニ輸入ノ見込アリヤト云フニ當國ニテハ蠟「マツチ」非常ニ安價ニシテ土人ト雖モ木ノ「マツチ」ヲ用キサルヲ以テ「マツチ」ハ當分輸入ノ見込少シト云フヘシ（燐寸ノ輸入ハ一九〇五―六年ニ於テ一二、五〇四、キロ「ミ」シテ其代價七、二七〇圓ナリ其ノ内米國ヨリ一、一六六、キロ「百耳義ヨリ六九〇「キロ」トス）

第十七款 硝子工業其他ノ雜工業

當國ニ斯業ハ無キニ非サルモ窓硝子及燭ノミナリサレハ年々數百萬圓ノ輸入アリ板「ガラス」ハ白國ヨリ來ル其他獨逸モ多量ニ輸入シツツテリ燭ハ百貳參萬圓ノ輸入アリ、輸入品中米九拾萬、獨八拾五萬圓ヲ占ム

玻璃製品ニ付キテハ小官ハ當地ニ日本商品ヲ輸入シテ好望ナリト認ム特ニ燭ノ如キハ最モ然リトス墨人ハドロノウォーク及羽毛細工ニ巧ミニシテ又馬毛ヲ以テ種々ノ細工ヲ爲スコトモ殆ント他國人ニシテ競争スル能ハサル所ナリト云フ

棉子工業 棉子(Cotton Seed)ハ年々五萬圓以上ノ輸出アリ又其ノ粉ハ六拾萬圓ノ輸出アリ而シテ内地ニ於テモ子棉油工業ハ相當ノ發達ヲ爲セリ中ニハ百萬圓以上ノ資本ヲ以テ營ムモノモアリ糟ハ内地各地方及阿蘭及獨逸ニ輸出セラレ油ハ重ニ石鹼製造ニ用キラル

第十八款 墨國ニ於ケル日本商店及日本取扱店

第一項 首都ニ於ケル日本商店

一、Bruxelles 商店(佛國人)ハ横濱加藤源治氏ノ代理店ト爲リテ主トシテ絹織物特ニ絹製手巾及雜貨ノ卸賣ヲ爲セリ此ノ商店ニハ小林溫吉氏及黒田清策氏ノ兩氏在勤シ一年大凡二十五萬圓ノ賣上高ヲ有スト云フ

二、El Nuevo Japon. 此亦加藤氏ノ小賣店ニシテ四十年一月ノ創業ニ係ル原利吉氏長ト爲リ濱口氏、沖本繁人氏等之レニ從事セリ月二五圓ノ店ヲ借入レ絹物及一切ノ雜貨ヲ取扱ヒ一ケ年大凡一萬七八千圓ノ賣上ケアリト云フ

三、青山嘉四郎氏商店 三十七八年頃ノ創立ニシテ竹細工及雜貨等 Bruxelles 商店ヲ經由シテ取寄セ之ヲ小賣ス一ヶ月五百圓ノ店ニ使用人四人ヲ使役シ年一五、〇〇〇圓位ノ賣上ケアリト云フ主トシテ竹ヲ桑港ヨリ(日本品)ニ輸入シ之ニ加工シテ賣出シ居レリ

四、外岡貞太郎氏商店 之レ亦前同段 Bruxelles 商店ヨリ竹ヲ購入シ加工ノ上販賣ス使用人三人年賣上高一、〇〇〇圓位ナリ家賃一四〇圓ノ店ヲ賃借セリ  
此等ノ日本商店ニ對スル競争店

一、卸賣ノ方ニテハ Bretz, Winkler, Mendelson, Newman等ノ代理店アリテ絹物ノミニテ大凡一、〇〇



〇、〇〇〇圓位ハ輸入セリ

二、小賣ノ方ニテハ

- (一) La Mariposa (蝴蝶)ト稱スル清、米兩國ノ開店セルモノナリ主トシテ日本雜貨ヲ橫濱ヨリ仕入レテ之ヲ賣リ居レリ二〇〇圓ノ店ヲ有シ四人ノ使用人アリ又 Chihuahua Meriata (Yukatun Vara Cruz)ノ諸市ニ支店ヲ有シ日本品ハ少クトモ八萬圓ヲ賣リ居レリト云フ有力ノ競争者ナリ何トナレハ其販賣價格時トシテハ非常ニ安ケレハナリ
- (二) 故土屋金吾氏妻(土人)商店 土屋金吾氏死亡ノ後ハ其店ハ土人ナル妻ノ經營ニ歸シ Crysan Themon ト稱シテ三〇〇圓ノ家賃ノ家ニ在リテ二、〇〇〇圓以上ノ賣上高ヲ有ス
- 序ニ記ス日本商店ニ非サルモ移民會社ハ一時 (一)大陸(村上泰藏) (二)日本(小林直太郎) (三)東洋(齊藤千之) (四)熊本移民會社(早野某)等各 Officeヲ有セシモ移民制限後ハ大陸ノ小野寺奇雄ノ事務所ヲ有スルノミナリ尤モ大陸ハ Yaky Calley 日本ハ Chiops ニ各數萬「エーカ」ノ土地ヲ購入シ移民ノ計畫アリト云フ

第二項 地方ニ於ケル日本商店

- (一) Guadaluajara ニ出口氏及水無方兩氏ノ竹細工商店(二) Aguas calientes ニ水無方氏ノ竹細工
- (三) Morina ニ小西氏ノ竹細工 (四) Guanajuato ニ須藤氏ノ竹細工店アリ

又外國店ニシテ日本品ヲ取扱フモノハ Sante 市ニ於ケル和同益ナル清國商店アリテ家賃三五〇圓ノ店ヲ賃借シ相當ニ日本雜貨ヲ取扱ヒ居レリ

第三項 日本商店ノ將來

日本商店ノ取扱ニ係ル絹物及貨雜ハ總計五〇〇、〇〇〇圓ニ充タス卸賣ニ對スル競争者ハ歐米人ニシテ小賣ニ對スル競争者ハ清國人ナリ要スルニ日本商店ハ腹背敵ヲ控ヘタル形ニシテ將來相當ノ資本ヲ以テ現下ノ狀勢ヲ救援スルニ非サレハ大發展ヲ遂クルコトハ近キ將來ニ於テハ六ツカシキカ如ク感セテル絹物ノ卸賣ノ如キハ彼ノ紐育ニ於ケル生絲ノ商權ヲ漸次日本人ノ掌裡ニ收メタルカ如ク如何ニシテモ之ヲ本邦ノ手ニ歸セシメサルヘカラスト雖モ未タ日本大商人ノ當地ノ商業ニ競争ヲ試ムルモノナキヲ以テ外國商人ノ對敵ヲ如何トモスヘカラスト有様ニ在リ若シ日本大商人ノ當地ニ開店スルコトヲ欲セサル以上ハ日本ノ小商人ハ須ラク相合資シテ以テ強大ナル商敵ト戰フノ用意ナカルヘカラスト信ス

第十九款 墨國ニ對スル日本重要輸出品

第一項 緒言

墨國ト日本トノ貿易ハ總テ桑港ヲ經由スルモノナルヲ以テ本邦品ニシテ墨國ニ入ルモノ又墨國品ニシテ本邦ニ輸入セラル、モノモ共ニ米國名義ニナリ居ルモノ多シサレハ日本大藏省統計ニ依レハ日本ト



墨國トノ貿易中本邦ノ墨國へ輸出スルモノ三十七年ニ於テ十四萬餘圓三十八年ニ於テ六萬餘圓三十九年ニ於テ四十一萬圓ト爲リ居レルモ此等ハ總テ前記理由ニ依リ其ノ實際ヲ示スモノニ非ス本邦品ノ墨國ニ對スル輸入ハ少クトモ百五十萬圓以上ニ上ルモノナリ

#### 第二項 絹織物(羽二重)

絹織物ハ多クハ外商ノ手ニ依リ輸入セラレ或ハ歐洲ヲ經由シテ當國ニ入ルモノモ少カラス羽二重ニシテ當國ニ需要セラル、ハ四匁ヨリ五匁半ニ至ル迄ノ輕目物ニシテ土人ハ一切之ヲ需要セス白人婦人ノ上衣(表衣)及下衣ニ用キラル、モノナリ日本ヨリ直接ニ輸入セラル、モノハ其仕上頗ル惡シク且ツヘロヘロセル故皺ニ爲リ易ク爲ニ表衣トシテハ頗ル評判宜シカラス將來ハ如何ニシテモ佛國仕上方ノ方法ヲ採リ「シツクリ」ト固キ方賣レ行キ宜シ

(注意)

此ノ點ハ紐育ニ於テ調査シタルト全ク反對ナルカ如キモ當地商人ハ紐育ニ於テ需要セラル、モノハ多クハ裏地ニ用キラル、モノニシテ當地ニテハ表衣ニ用キラル、ニ依リテ此差ヲ生スルモノナリト云ヘリ

又前回報告ノ糊又ハニカワ「セラチン」ノ附著程度ノ不均一ナルヨリ生スル非難ハ當地ニハナシ要スルニ當地ニ入ル日本羽二重ノ精練仕上ノ宜シカラサルハ事實ナリト認ム將來十分ニ研究セシムル

必要アルヘシ

羽二重ノ競争品ハ Liberty Satin, 及 Peau de Soir 等ニシテ此等ノ製品ハ將來日本ニテ織成ノ見込ヲ立テサルヘカラス當地商人ハ此等ノ品ノ模造品ヲ日本ヨリ輸入スルヲ希望セリ市場ニ於ケル賣價ハ日本羽二重五付二十吋七〇錢、佛國「タフエタ」二碼二圓五十錢ナリ

#### 第三項 絹手巾(三六—四〇「インチ」平方)

主トシテ土人用 (Musado) ニシテ裝飾防寒用ニ用キラル又一種ノ迷信ヨリ之ヲ頸巻キトスルヲ病氣ヨケノ方法ナリト考ヘ居レリ冬期ニ於テ最も需要多シ色合ハ赤色其他原始的ノ意匠ノモノ多ク需要セラる當國ニ對スル輸入高ハ約七千五百圓ノ見込内三分ノ二ハ外商ノ取扱ニ係ル

土人向キノ外 Handkerchief トシテ賣レ行キナキニ非ス然レトモ多クハ首都及其ノ附近ナリ小手巾ハ全ク地方ニハ賣行ナシ

日本絹手巾ニ對シテハ目下有力ナル競争者ナク將來ノ賣レ行キモ確ナリ

#### 第四項 花 筵

花筵ハ年々小額ノ輸入アルノミニシテ賣レ行キ宜シカラス惟フニ(一)墨國ハ貧富ノ懸隔甚シキヲ以テ中等社會ノ員數少キト(二)米國ヨリ安價ナル敷キ物ノ輸入アル故ナラン然レトモ將來ハ地方へ盛ンニ試賣ヲ爲スニ於テハ必シモ今日ノ需要ニ止マラサルヘシ(Green 商店目下之ヲ取扱フ)此ハ日本商人ノ



注意ヲ要スル所ナラン

### 第五項 生絲

絹工業ノ未タ起ラサルハ第五款ニ述ヘタルカ如シ然レトモ日本生絲ハRebozosノ製織ニ用キテRebozosルハ輸入セラレス皆當國ノ製織ナリ「キロ」三十八圓ノ輸入税ニシテ禁止税ニ近キカ故ナリ絹Rebozosノ需要ハ中流婦人ニシテ下流婦人ハ木綿製ノモノヲ用ユ(序ニ記ス Rebozosニ類シテChalト稱スルモノアリ之レハ黒毛織ノ佛獨製品ノ輸入アリ又Tapateト稱スル四角ナル婦人用ノ頸卷アレトモ目下廣ク用キラレス)

### 第六項 雜貨

(一)日本ノ陶磁器其質脆弱ニシテ英獨品ニ當ルニ足ラス一種ノ珍奇品トシテ半ハ好奇的ニ賣レ行クノミナリ(二)漆器モ當地氣候ノ乾燥ニ堪ヘスシテ龜裂ヲ生スルコト北米ト同シ(三)其他ノ木製品亦然リ(四)屏風扇子ノ如キハ意匠千篇一律ナレハ之ヲ嶄新ナラシムルヲ努ムルヲ要ス(五)銅器、青銅器ハ數フルニ足ラス(六)日本製ノ竹細工品ハ關稅ノ關係ヨリ竹材トシテ輸入スルヲ可トス(七)玩具ハ將來見込アリ(八)籠細工ハ北米ト異リ賣レ行キ面白カラス(九)紙製品特ニ紙ナブキン其他裝飾用紙製品ハ有望ナリ(十)「ブラシ」有望ナリ(十一)玻璃製品試賣ヲ爲スノ價値十分ナリ

### 第七項 運輸商慣習及關稅制度

日本ヨリ當地ニ入ル貨物ハ皆桑港ヨリEl Pasoヲ經由シMexican Central Railwayニ依リ南下スルモノトス日本ヨリノ運賃ハ絹物百封度四圓八十錢雜貨亦同斷ナルモ最高キモノハ九圓六十錢ヲ要ス通常桑港迄ノ運賃ハ日本ニテ支拂ヒ他ハ當地ニテ拂フヲ例トス

金融ニ關スル商慣習ハ著後一箇月拂ヒナリ尤モ之レハ日本ノ特別ノ事情ニ依リ期日ヲ早メタルモノニシテ歐米品ナレハ三箇月乃至六箇月ヲ猶豫セリト云ヘリ(之レ日本商人ノ弱點ナリ)日本正金銀行其ノ衝ニ當レルモ豫メ當地荷受人ノ信用狀ヲ回附スルニ非レハ日本ニ於テ支拂ヲ爲サス又豫メ内地商人ヨリ一定ノ保證金ヲ徵收スト云フ而シテ當地荷受人ニシテ支拂ヲ爲サ、ルトキハ荷出人ニ於テ正金銀行ニ對シ賠償ノ責ヲ負フハ勿論ナリ

關稅ハ重量税ニシテ百般ノ製造品ニツキテハ相當ノ保護税トナリ居レリ絹物ニ對シテハ市税(從價一分五厘)ヲ加ヘテ約五六割ニ當ル尤モ生絲ニ對シテハ「キロ」二圓二十錢ナレハ一割未滿ナリ絹物ハNet Weight 雜貨ハLegal W 陶器食料品ハGross W ナリ關稅ノ檢査ハ嚴重ノ方ニテ荷物ノ約半分ハ開クヲ例トスモ申告ニ相違アレハ北米ニ於ケルト同シキ重大ナル制裁アリ

當墨國ト日本トノ商業關係ニ於テ當地人ノ苦訴スル所左ノ如シ(Brixelles氏談)

一、米國 Northern Pacific 鐵道ノ貨物ノ管理宜シキヲ得スシテ時々荷物ハ異ナリタル方向ニ誤送セラレ約五箇月ヲ經テ不著ノコトアリ又途中ニテ延滯スルコトアリ爲メニ支拂ノ上ニ種々ノ齟齬ヲ生ス



(此危險歩合ハ二十五分ノ一ナリト云ヘリ)

- 二、正金銀行カ大事ヲ執ルヲ以テ荷爲替ニ對シテ横濱ニテ支拂ヲ爲スニ際シテモ豫メ荷出人ヨリ一定ノ金額ヲ銀行ニ預ケ入ル、ニ非サレハ假令信用狀アリト雖モ割引ヲ爲サ、ルカ如キハ實ニ不理ノ甚シキモノナリ將來ハトウシテモ銀行ノ活動ヲ新タニスルニ非レハ南米貿易ハ起ラサルヘシ
- 三、爲替上ノ責任不明ニシテ荷出人ト荷受人トノ銀行ニ對スル義務關係不明ナリ此等ハ將來ニ於テ秩序整理ヲ要ス云々ト云フニ在リ

#### 第八項 日墨將來ノ貿易品

(一) 日本ヨリ墨國ニ輸入ス可キ商品

當國ノ工業ハ稍起ラントスルノ曙光ナキニ非サルモ動力ノ供給ニ於テ不足ヲ感スルヲ以テ(石炭ノ高價及水力電力ノ普及セサルコト)將來ニ於テ大ナル工業國ト爲ルコトハ到底之ヲ期待スルコトヲ得ス加フルニ土人ノ性質極メテ懶惰ナルヲ以テ手工業ト雖モ長足ノ進歩ヲ爲スヘキ見込ナシ左レハ半製品以上ノ日用品ハ將來ニ於テモ其大部分ハ外國ニ仰カサル可カラサルヤ論ナキ所トス

現時墨國ニ對シ日用品ノ供給ヲ爲ス國ハ米、英、獨、佛ノ四箇國ヲ以テ其最大ナルモノトス日本ニシテ墨國トノ貿易ヲ擴張セント欲セハ勢ヒ此等ノ四箇國ノ勢力範圍ニ侵蝕セサルヘカラス而テ如何ナル商品ニ付四箇國ノ範圍ニ侵入スヘキヤ

- A 絹物及絹製品 日本製品ニシテ日本商人ノ手ヲ經ルモノ其ノ總額ニ於テ未タ外商ノ四分一ニ過キス墨國貿易ノ擴張ハ先ツ此ノ商權ヲ日本ニ回收スルヲ以テ第一著トセサルヘカラス
- 此ノ商權ヲ恢復シタル後ハ進ンテ佛、伊製品ノ範圍ニ入ラサルヘカラス佛、伊ノ範圍ニ進入スルニハ豫メ日本ニ於ケル工業上ノ發展ト製法ノ改良トヲ以テ條件トス
- B 綿絲及綿布 綿絲及綿布ハ英米獨ニ於テ之ヲ供給ス而シテ内地工業ノ發達ハ漸ク之ヲ自給セントスルニ至レルモ尙ホ年々巨額ノ輸入アリ若シ日本ヨリ當地ニ直航々路ヲ開クニ於テハ恰カモ清國市場ニ於ケルカ如ク日本ノ製品モ亦歐米品ト角逐シ得ルノ見込アリ特ニ綿縮ミノ如キハ有望ナリト思料ス
- C 毛織物 日本製「モスリン」ノ如キハ試賣ヲ爲スヘキモノナリ此等ハ山嶽地方氣候冷涼ナル所ニ於テ需要アルヲ以テナリ
- D 生絲 日本生絲ニシテ外商ノ取扱ニ係ルモノヲ日本商人ノ手ニ回收スルコトハ難事ニ非ルヘシ
- E 陶磁器 『森村モノ』ノ如キハ最モ有望ナリ
- F 花筵 從來成績良好ナラサルモ是亦販路擴張ノ見込アリ
- G 玻璃製品 以テ歐米品ト競争スヘシ但シ中以下ノ家庭ニ需用セラル、モノニ限ルハ勿論ナリ
- H 一切ノ雜貨 有望ナリ製作上信用ヲ博スル丈ノ堅牢ナルヲ必要トスルノミ



要スルニ既製品ノ範圍ニ於テハ大凡如何ナル貨物ト雖モ當地ニ販路ヲ擴張シ得可キ見込アリ蓋シ當地ノ人民ハ北米合衆國ヨリモ其文化ノ程度生計ノ程度ニ於テ遙カニ下位ニ在ルヲ以テ比較的粗末ニシテ且ツ安價ナル日本品ハ當地ノ中流社會ニ其販路ヲ見出スヲ得可シ

(二) 墨國ヨリ日本ニ輸入スヘキ貨物

A 金銀塊 金銀塊ノ低價ナルハ論ヲ俟タス

B 砂糖 南米及爪哇等ト比較シテ他日貿易品タル見込アリ(但シ日本内地ノ糖業發達ニ制限セラ  
ル、ハ勿論ナリ)

C 護謨原料 將來ハ日本ニ於テモ相當ノ需要起ルヤ必セリ

D 各種纖維 Heneguan Ixile 等

E 生皮

F 硬木 (Hard Wood) 日本ニテ内地向キ及輸出向西洋家具ノ製造始マルニ於テハ需要起ラン

G 珈琲及「コ、ア」ノ類

### 第三章 鑛業

墨國ノ富源ハ鑛産ニ於テ特大ナルヲ見ル太平洋及大西洋ノ間ニ火山の隆起ヲ爲セル墨國ニハ幾何ノ隠レタル寶ヲ藏スルヤハ蓋シ何人モ測算スルヲ得サル所ナルヘシ今左ニ其ノ大勢ヲ抄録シ併セテ分布

ノ概況及石炭ニ關スル調査ノ概要ヲ掲ケン

#### 第一款 大勢

墨國ニ於ケル鑛業地方ハシエラズドル山脈ニ沿フテ西北ヨリ東南ニ走り其長サ六百六十里ニ及フ而シテ其ノ最モ富有ナル部分ハ山脈ノ西方傾斜面海拔千「メートル」以上ノ所ニ在ルモノトス(古來ヨリ有名ナル鑛山ハスヘテ此ノ西方ノ部分ニ在リ)

一五二六年—一七〇〇年ノ間西班牙人ハ總テ舊式陳腐ノ探掘ニ從事シタリシカ一八二四年ニ英人カ初メテ新式ノ方法ヲ以テ探掘シタルヨリ以來近世的方法ノ適用ヲ見ルニ至レリ

#### 第二款 鑛物ノ分布

1 Chihuahua	(1)	地方	銅、鉛、水銀、銀、石炭
2 Sonora	(2)	地方	金、銀、水銀、鐵
3 Sinaloa	(3)	地方	銀、金
4 Durango	(4)	地方	銀
5 Jalisco	(5)	地方	銀、銅、石炭
6 Michoacan	(6)	地方	銅 (未タ開ケス)
7 Zacatecas	(7)	地方	銀



8 Guerrero (8) 地方 金、銀、鉛(未タ充分ニ開ケス)  
9 Queretaro (9) 地方 鉛、辰砂、銀

要スルニ墨國ノ金銀鑛ハ西方大山脈ニ沿フテ存在スルモノニシテ東部山脈ノ方ニモ鉛、石炭鐵ノ如キハ發見セラルモ到底之ヲ西方ニ比ス可クモアラサルナリ其他下カリフォルニヤ(Lower California)ノ半島ハ硯角水ナキ所ナリト雖モ鑛物ニ富メリ此ノ半島カ即チ California 州ノ海岸山脈ヲ構成スルモノニシテアラユル鑛物ニ富メリ

其他墨國ニハ St Luis Potosi 州ノ山脈アリ百分ノ七十乃至八十ノ鹽分ヲ包含セリ

近時墨國鑛業ノ發達ノ趨勢ハ金鑛ノ方遙カニ鉛鑛ノ產出ヨリモ進歩著シキ一事ヲ注意セサルヘカラス  
一九〇二年ノ如キハ金塊ノ外國輸出額一千萬圓ニ垂ントセリ而シテ銀塊ノ輸出ハ五千萬圓ニ垂ントセリ  
今一九〇二—三年ノ產額ヲ以テ一九〇五—六年ノ輸出額ニ比較スレハ左ノ如シ

銀	一九〇二—三年(產額)	一九〇五—六年(輸出)
金	八二、三〇〇、〇〇〇 <sup>円</sup>	一二五、四〇〇、〇八三 <sup>円</sup>
銅及銅鑛	三二、五〇〇、〇〇〇	三一、六九五、七七七
鉛及鉛鑛	一九、六〇〇、〇〇〇	二八、六五五、八九六
	五、六七〇、〇〇〇	四、九六七、八〇五

アンチモニー及其ノ鑛	一、一三九、〇〇〇	一、〇三九、〇八〇
アスファルト及石炭	三五、〇〇〇	一七、二〇六
其他	一五〇、〇〇〇	—
大理石	二〇〇、〇〇〇	七七、九二三
計	一四一、五九四、〇〇〇	一九一、八五三、七七〇

一九〇二—三年ノ產額實ニ一億四千萬圓ニシテ一九〇五—六年ノ輸出額一億九千八百八十五萬圓ナリ由是觀之如何ニ墨國ノ金鑛產物カ近時長足ノ進歩ヲ爲シツ、アルヤヲ推知スルニ足ル可キナリ

第三款 石炭及石油

墨國ノ一大缺點ハ石炭ノ產出自由ナラサルニ在リ而シテ一時石炭床ノ諸方ニ發見セラル、アリテ之ニ人氣ヲ集メタルコトアリト雖モ或ハ交通ノ便ナキヨリ或ハ斷層多キヨリ或ハ其性質善良ナラサル事ノ關係ヨリ今尙ホ當國ハ石炭ノ供給ニ苦ムノ國ナリ墨國主都ニ於テ先ツ第一ニ吾人ノ注意ヲ惹クモノハ煤煙ノ少キニ在リ殆ント之レナシト云フモノナリ之ヲ我東京又ハ大阪ニ比スレハ到底比較ニナラサルナリ工業國トシテ墨國ノ運命ハ一ニ石炭ノ供給其ノ途ヲ啓クコトヲ得ルヤ否ヤニアルナリ  
サレハ從來墨國政府ニ於テモ特ニ委員ヲ設ケテ炭床ノ探檢ニ從事セシメ大ニ世人ノ注意ヲ惹キタルコトアリシモコアブイラニ於ケル發見セノラ州ニ於ケル發見ブエブラ、ホボ、リオン、オギザカニ於ケ



ル發見何レモ完全ナル結果ヲ收メサリシハ墨國ノ爲メ不運ナリト云フヘシ  
 翻テ石油ハ如何ト云フニ之レハ石炭ニ比シテハ餘程有望ナルカ如シ而シテ Matamoros ニ於テ「アスフ  
 アルト」床ノ上ニ發見セラレタルモノ最モ有望ナリト云フ又テアンテベックニ於テモ石油泉アリテ其  
 性質モ良好ナリト云ヘリ要スルニ石油ハアレトモ未タ之ニ對シテ著シク資本ヲ投セサルヲ以テ將來資  
 本ノ投下セラル、ニ從テ石油國ト爲リ得ルノ見込ナキニ非サルヘシ

アスフアルトハ精良ナルモノヲ生シ現ニ合衆國等ヘ對シテモ之ヲ輸出スルニ至レリ其地方ハ Tampico  
 Tampico 等ナリ

石炭ノ輸入 一九〇五—六年ニ於テ一、一八四、六〇六、〇五一基 五、五九三、二〇六圓ニシテ米ハ約  
 四〇〇萬圓英一五五萬圓ノ割合ナリ而シテ「ヨークス」ハ三六三、四五一、五三〇基 代價二、六三九、七  
 六四圓ナリ米ハ二〇〇萬圓次ニ獨ハ五五萬圓ナリ

石油ノ輸入 原油ハ一、二二六、三三一圓ニシテ精製油ハ一、二八七、〇一三圓ナリ而シテ重ナル輸入國  
 ハ米國ナリ

石炭ノ貿易關係ニツキテハ左記一九〇三年英國領事ノ報告書ノ一節ニ依リ大要ヲ推知セラレタシ

(一) Veracruz 港 一九〇二年ノ上半期當港ニ入りタル石炭ハ一〇四、八〇七噸ニシテ此等ハ多ク米國  
 ヨリ來ルモノナリ尤モ英國モ其一部ヲ出シ白耳義ハ極メテ僅少ナル額ヲ供給シタリ米炭ノ多クハ西

方ヴァジニア州ヨリ入ル而シテ英國ヨリ來ルモノハ Cardiff 地方ヨリ來ル Briquets (Patent fuel) ニシ  
 テ鐵道用ニ供セラル、モノナリ當港ニ於ケル平均受渡ハ一日二〇〇乃至四〇〇噸ナリ而シテ船卸ノ  
 平均入費ハ Patent fuel ニ在リテハ一噸三五錢通常炭ハ四五錢ナリ石炭ノ賣價ノ平均ハ一噸一一圓  
 五〇錢ヨリ一三圓ナリ尤モ此ノ賣價ヨリ雜費一圓七十錢位ヲ控除シテ賣主ニ支拂ハル、モノトス  
 (二) Progreso 毎日平均八〇〇乃至一、〇〇〇噸ノ需要アリ石炭一噸平均二十圓ヨリ二十二圓ニシテ  
 當港ニ入ルモノハスヘテ米國ヨリ來ル何故當港ニ於テハ格別ニ高價ナリヤト云フニ船卸ノ便ニ於テ  
 非常ニ缺クル所アルニ依ル

(三) Coatzacoalcos Tehantepec 鐵道ノ需要及 Salina Cruz 港並ニ Coatzacoalcos 兩港ノ改良工事ノ爲  
 メニ輸入セラル而シテ需要額ハ一ヶ月大約三、〇〇〇噸ナリ

(四) Tampico 一九〇二—三年ノ輸入額左ノ如シ  
 米二五〇、〇〇〇英三二、六二〇「ヨークス」ハ獨一四二、四四九米二九、八六〇英五、二一六ニシテ  
 Coal 一 Cokes ヲ合セテ四九〇、〇九六噸ナリ

米炭ノ大部分ハフロリダ州 (Pensacola) ヨリ來ル Louisville & Nasville 鐵道ニ依リ Pensacola 港ヨリ出  
 ツルモノナリ獨ノ「ヨークス」ハ Amsterdam, Rotterdam 及 Untwerp 港ヨリ來ルノキシコ中央鐵道  
 ノ之レガ積卸ニ付最新ノ裝置ヲ爲セリ



## 第四章 農業

(墨國農業ノ現狀及政府ノ施設附林業)

### 第一款 農業ノ現狀

墨國從來ノ殖産的企業ハ鑛産ニ重キヲ置キ農業ニ注意ヲ爲スコト比試的ニ少カリシカ如シ米人之ヲ評シテ『若シ墨國ニ於テ鑛業ニ投下セラレタル資本ヲ以テ農業ヲ起シタランニハ墨國ノ富ハ恐ク今日ニ四倍スルモノアラン』ト墨國主都附近ノ狀況ヲ見ルモ此ノ評ノ必シモ當ラサルニ非ルヲ知ルニ足ル墨國農業上ノ富源ハ將來豫想外ニ大ナルヘント雖モ今日ニ於テハ未タ開發スルニ至ラス農産ノ種類ヨリスルモ當然熱帶國ノ有スヘキモノ、外氣候ニ變化多キカ爲各種溫帶地方ノ植物ヲ産スルヲ以テ農産ノ種類モ亦從テ多キコトヲ得可シ

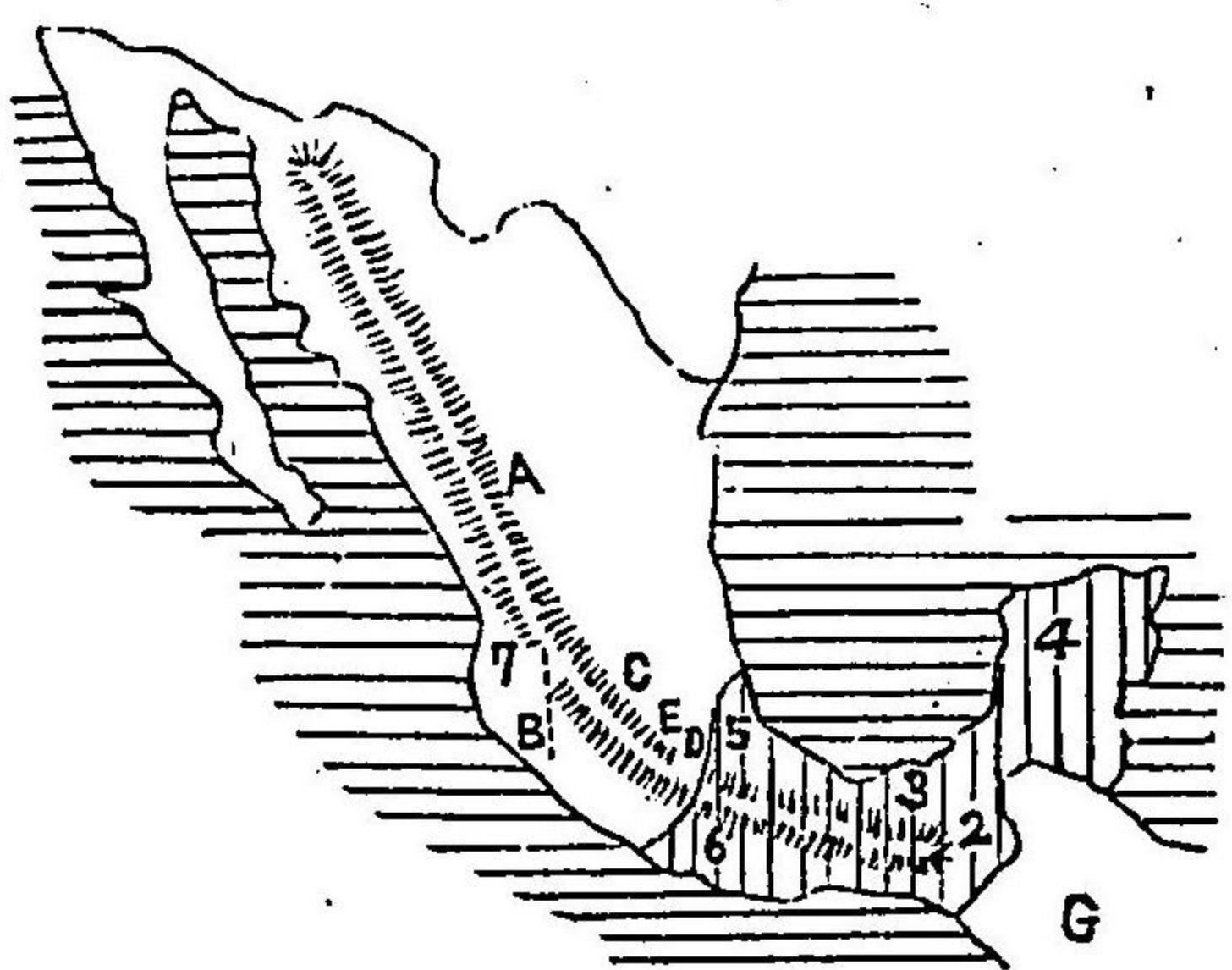
墨國ヲ農産分布ノ成況ニ依リテ之ヲ大別スレハ

- 一、低地 砂糖、ラバーノ産地
- 二、溫帶地方 珈琲ノ産地
- 三、中央高原 穀物ノ産地

### 第一項 低地

農産上最モ豐饒ナル地方ニシテ砂糖ノ如キモ三十呎ノ高サニ達シ煙草ノ如キモ一莖三十「インチ」ノ長

サヲ有スルヲ常トス又珈琲ノ如キモ喬木ノ大サヲ有シ一木ニシテ十二「ポンド」ノ産額ヲ有スルガ如キハ必スシモ驚クニ足ラサルナリ其他貴重ナル樹種ノ如キモ此ノ地方ニ最モ繁殖ス唯此等低地地方ノ農業經營ヲ妨害スルモノハ氣候ノ暑熱ナルト虫害ノ多キニ在リ  
前記ノ地方ハ以下ノ諸地方ヲ包含ス



1	2	3	4	5	6
カハヲ	珈琲	砂糖	王蜀黍	豆類	米

### 第二項 溫帶地方及高原地方

此ノ地方ハ氣候好良ナリト雖モ灌溉ノ便少ク土地モ又低地地方ニ於ケルカ如ク豐饒ナラス而シテ最高



ノ寒冷ナル地方ニ至リテハ特ニ其地味不良ナリ只五百「メートル」ヨリ千「メートル」ノ高サニ在ル地方ニ於テハ珈琲ヲ耕作スルヲ得可ク又世界ニ有ラユル種類ノ果物ヲ生産シ得ル見込アルノミ

要之

Oaxaca (1) Chiapas (2) (上圖ノ一及二) 地方ハ珈琲産地トシテ世界第一ナリト云フラシルト雖モ之ニ超越スルコト難シトハ一般ノ定評ナリ

Veracruz, (3) Tabasco (3) 及 Tepic (7) ハ煙草ノ産地トシテ其品質ハ遙カニ Cuba ノ上ニ在ルモノナリ

Quirango, (A) Jalisco, (B) Guanajuato, (C) Puebla (D) Mexico (E) (前圖参照)ノ地方ニ於テハ玉蜀黍及小麥ヲ無限ニ生産ス其ノ他

Yucatan ノ Henequen 又ハ麻ニ於ケル

Tlaxcala Puebla カ Maquey ヲ産シ

Tamaulipas Coahuila ノ葡萄ヲ産スルカ如キ何レモ墨國ノ大富源ヲ成ス

### 第三項 農業ノ不振

斯クノ如ク墨國ノ富源ヲ列舉シ來レハ盡グル所ヲ知ラスト雖モ實際ノ農業經營ハ毫モ此ノ天成ノ富饒ニ副ハサルヲ如何セン耕作地トシテ有望ナル土地モ空シク放抛セラレ農業上有益ナル耕作方法、器械

器具ノ如キモ未タ普及セス農産物ノ輸出トシテハ殆ント見ルヘキモノナキ又怪ムニ足ラサルナリ唯珈琲ノ如キ又果物ノ如キ或ハ Henequen ノ如キ安値ナルモノ家畜ノ如キモノ、ミ輸出セラル而シテ此等ノ輸出ト雖トモ實際天然カ賦與シタル安値ヲ以テ輸出セラル、モノニハ非サルナリ

抑墨國カスノ如ク天物ヲ暴珍スルカ如キ狀況ニ至ル所以ノモノハ一ニ勞働者ノ不足トニ交通ノ便ナラサルニ依ルモノナリ蓋シ墨國ノ山多キノ一事ハ非常ニ交通ノ利便ヲ阻害スルモノニシテ同時ニ灌溉ノ便ヲ得ルニ難カラシムル原因ヲ爲セリ其他尙ホ一般農民ノ無智ニシテ肥料ヲ施スコトヲ知ラサルカ如キハ同時ニ墨國ノ農業發達ヲ遅々タラシムルモノト云フヘシ

### 第二款 政府ノ農業獎勵

是ニ於テカ政府ハ農業ノ進歩ヲ促進スルカ爲積極的經營ヲ實施セリ

- 一 雜誌ヲ毎月發行シテ之ヲ農業者ノ内ニ配付スルコト
  - 二 其效果トシテ養蜂及養蠶ノ事業カ開始セラレタリ
  - 三 種苗、種子ノ配付特ニ葡萄苗及「オリブ」苗ノ配付ノ如キハ效果著シ
- 今墨國政府カ主トシテ輸入配付シツ、アル種苗種子ノ種類ヲ列記スレハ次ノ如シ

- 1. Grapevine
- 2. Chapuro Salado
- 3. Samatan tobacco
- 4. Giant corn



5. Jute  
6. Huayule  
7. Cork tree (*Quercus suber*)  
8. Chorgoi (*Hachys tubifera*)  
9. Eodier plant (*Zaccation le Geceira*)  
10. Riga (其他)

尙ホ政府ハ養蠶業ヲ起スノ目的ヲ以テ伊太利ヨリ輸入シタル桑樹ノ無代配付ヲ爲シ支那日本佛國ヨリ蠶種(Cocoon)ヲ輸入シテ是レ亦無代ニテ配付ヲ爲シタリ此業ノ獎勵ニ依ル結果ハ一八九五年ノ「イラブアト」(Impuato)ノ博覽會ニ展示セラレタルカ其成績頗ル良好ナリシト云フ結局墨國ニ於ケル養蠶事業ハ今ノ狀況ニテハ甚タ大ナラズト雖モ將來世界ノ注意ヲ值スルモノナリ(本案ノ獎勵ハ Cortesノ征服時代ニ始マルト云フ)

其ノ他政府ハ廣ク地質調査ヲ行ヒ各種植物ニ關スル播種、培養、疾病ノ調査等ヲ行ヒ其報告ヲ公ニセリ其他農業ニ關スル博覽會ヲ開設シテ農産及農具ニ關スル獎勵ヲ行ヒ此ノ開期間ハ學者及實際家ヲシテ種々ノ講演ヲ爲サシメ主トシテ家畜ノ育成、農具ノ利用、養蠶、園藝及其他ノ重要ナル事項ニ關スル知識ノ擴布ヲ圖レリ

政府ハ斯ノ如ク各種ノ方法ヲ以テ農業ノ助長ヲ計レリト雖モ元來墨國ノ地勢タル陸地ハ急ニ海上ヨリ何干「メートル」ト云ヘルカ如キ高サニ上レルヲ以テ雨水ヲ保留シ漸次ニ之ヲ土地ニ吸收セシムルコトハ至難ノコトニ屬ス即チ雨水ハ急流ヲ爲シテ海ニ入り高地ニ止マラサルヲ以テ到ル所水利ノ便ヲ缺ケ

リサレハ五月以後十月迄ノ間ニ於ケル降雨期ノ降雨ハ中央高地及溫帶地方ニトリテハ農業上最モ大切ナルモノニシテ若シ此ノ委間ニ於テ降雨少キトキハ (San Luis Potosi 州 Za Catceas 州ハ常ニ然リ) 又ハ降雨期ニ多少ノ變動ヲ生セシカ一切ノ植物ハ洞死シ家畜ハ飲料水ノ不足ノ爲ニ仆ル、ニ至ルモノトス此ノ如キ状態ナルヲ以テ水利ノ便ヲ圖ルコトハ一私人ノ事業ニ放抛スヘカラスト爲シ墨國政府ハ一八八八年法律ヲ發シテ灌溉獎勵ニ關スル積極的方法ヲ採リタリ(法律略ス)此法律ハ灌溉ニ關スル事項ノミナラス又水力利用ニ關スル獎勵法ヲ定メタリ而シテ其効果漸次見ルヘキモノアリト云フ

### 第三款 林業

各地ニ於ケル森林ノ濫伐ハ漸ク良好ノ森林ヲ失フニ至ルノ虞アルニ至リタルヲ以テ政府ハ法律ヲ發シテ我舊森林法ニ該當スヘキ事項ヲ定メ亦國有地ヲ州有地ニ移シテ地方團體ニ經營セシムルノ方ヲ定メタリ然レトモ林業ニ對シテハ農業ニ對スルカ如ク未タ積極的ノ獎勵法ヲ定ムル迄ノ時期ニ達セス墨國ニハ建築用材及器具用材ニ乏シカラス特ニ「マホガニー」(Mahogany)材ノ產出額ハ百二十萬圓ニ達ス合衆國ニ於テ需要セラル、此ノ材木ノ半分ハ墨國ノ輸出ニ係ルモノナリ(其他ノ Hard wood ハ種類頗ル多シト雖モ交通ノ關係ヨリ未タ伐採スルニ至ラサルモノナリ此等ハ總テ遺棄セラレタル富源ノ一ナリ)

合衆國ニ於ケル器具等ハスヘテ此ノ「マホガニー」材ヲ以テ造ラル、モノ多ク我國ヨリ輸出スル普通ノ



用材ハ其實脆弱ナルヨリ到底之レト競争スルコトヲ得ス況ンヤ合衆國ノ需要ハ日ニ月ニ其ノ蒼澤ノ度ヲ嵩ムルヲ以テ我國ヨリ輸出スル器具ハ最早將來ニ於テ見込ナシ而シテ「マホガニー」材ハ我國ニ於テ未タ廣ク用キラル、ニ至ラス故ニ將來當國ヨリ之ヲ輸入シテ器具ノ製造ヲ爲ストキハ内外ノ需要ニ應シテ相當利益アルヘシト考フ

林産物輸出入左ノ如シ(一九〇五—六年)

輸出	(一) 鐵道枕木 一九〇、一六四	輸入	(一) 板其他建築材 五、四九一、八四〇
(二) 上等硬木 一、六九一、七九七		(二) 上等建築材 三〇、〇〇八	
		(三) 其他 二、三三二	
輸入ノ中(一)ハ米國ヨリ五四六萬圓(二)ハ佛國ヨリ二二、二〇六圓ナリ			

第四款 主要農産物概説

主要農産物ヲ概説スルニ當リ直接我國ノ關係薄キ品種ハ總テ之ヲ除外シタリ例ヘハ Cocoa Caffe Vanilla ノ類是ナリサレハ本章所述以外ニ於テ墨國ノ主要農産物多クアルハ固ヨリナリ

第一項 玉蜀黍

玉蜀黍ハ墨國ノ穀物(Cereals)中其ノ主要ノ程度ニ於テ第一ニ位スルモノナリ玉蜀黍ハ墨國土人ノ主食物ニシテ恰モ米カ我國ニ於ケルト同シ土人ハ之ヲ一種ノ菓子(Fortifis)ニ製シテ食用ニ供ス現時玉蜀

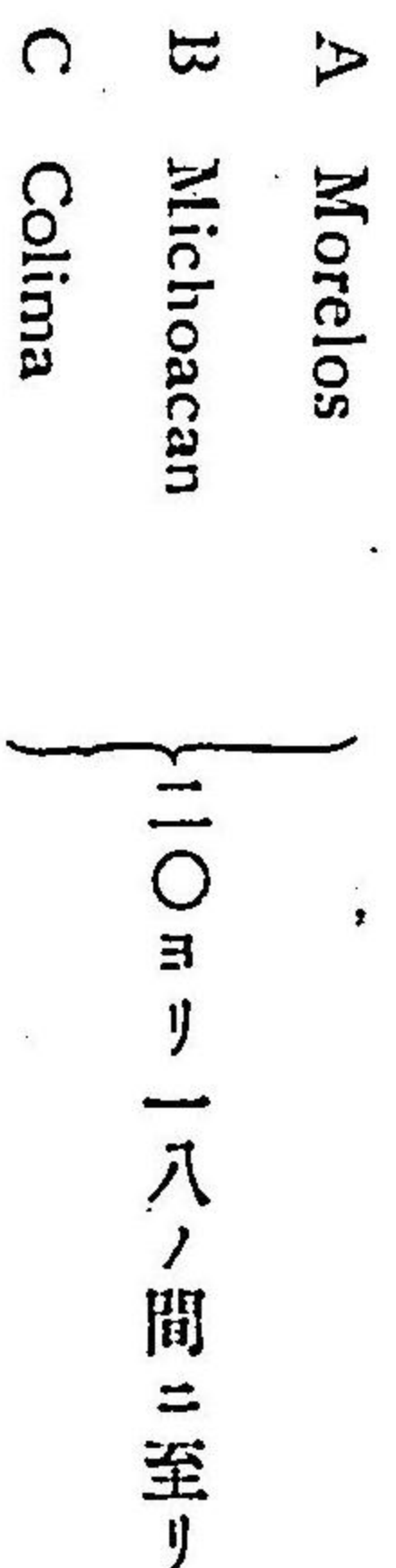
黍ノ生産額ハ約二千二百萬石(四千萬 Hectoliters)ニシテ一石約六圓ノ價格ヲ有ス即チ一ヶ年ノ産額一億二千二百萬圓ニ該當ス

第二項 小麥

小麥ハ海拔六、〇〇〇「ヒート」ヨリ九、〇〇〇「ヒート」ノ高地ニ産ス然レトモ灌溉ノ不充分ナル爲メ假令土地ハ其耕作ニ適スト雖モ未タ充分ニ耕作ヲ盛ンナラシムルヲ得ス勿論其産額ハ年々増加シツ、アレトモ尙ホ北米合衆國ヨリノ輸入ハ數百萬「キロ」ニ及ヘリサレハ小麥若ハ小麥粉ヲ墨國ヨリ我國ニ輸入スルノ希圖ハ到底成立セサルモノト知ルヘシ

第三項 米

墨國ニ於テ米ヲ産スルハ



地方ニシテ其産額約二百萬「キロ」價格二百七十萬圓ナリ而シテ米ノ輸入ハ百二十七萬餘「キロ」ニシテ其價格十五萬三百餘圓ナリ而シテ輸出ハ四十七萬「キロ」代價九萬圓ナリ(近時ニ至リ Durango (D)ニモ耕作ヲ開始セリト云



フ)日本ヨリ上米ヲ輸入スルハ多少見込アルヘシト雖モ大ナル貿易品タルヲ得ルモノニ非スト思料ス

第四項 煙草

煙草ハ墨國主産物中注意スヘキモノ、一ニシテ其耕作ハ年ヲ追フテ増加シ其ノ輸出モ亦激進シツ、アリ墨國ノ煙草ハ一ノ香味アリテ其良好ナルモノハ「ハバナ」ヲ抜クニ足ルサレハ墨國ノ煙草ニシテ「ハバナ」ニ輸出セラレ「ハバナ」煙草トシテ外國ニ賣レ行クモノ多シト聞ク墨國ノ煙草ハ北米及中央米國ノ諸國及歐洲各國ニ賣レ行キ宜シ我專賣局ニ於テハ夙ニ攻究アリタルコト、信スルモ若シ未タシナレハ墨國ヨリ精良ニシテ安價ノ煙草ヲ輸入シテ試製スルハ一策ナルヘシ

第五項 棉花

墨國ニハ棉花耕作ニ適スル地多キモ其耕作法未タ甚タ幼稚ニシテ以テ國內ノ需要ヲ充タスニ足ラスニ百萬圓餘ノ棉花ハ年々北米合衆國ヨリ輸入セラル、サレハ棉花ヲ我國ニ輸入スルノ計畫ハ到底成立セサルヘシ

墨國棉花ノ特徴ハ其纖維長クシテ強キノ點ニ在リサレト其色合ヒ及光澤ノ點ニ於テ他國ノ棉花ト混合使用スルノ必要アリト云ヘリ(尤モ土布ハ墨國棉花ノミニテ製セリ)

第六項 護謨原料 (Rubber)

墨國ニハ護謨ノ木ノ種類ノミヲ以テスルモノ、五〇〇種アリテ之レカ耕作ニ從事スル主要ナル大會社

ノ數ハ二十六アリ産額百三十萬キロ、價格百四十萬北米合衆國、佛國、獨國、コロムビア、蘭國等へ輸出スルモノ亦多シサレハ我國ニ於テモ之レカ輸入ヲ圖リテ可ナラン

第七項 甘蔗 (Sugar cane)

甘蔗ノ耕作ニ適スル地ハ少カラサルモ之レカ製造ヲ爲スカ爲メニ設備ヲ爲スコトハ交通ノ不便ナルノ點ヨリ非常ノ失費ヲ要ス之レカ爲砂糖業ハ起ルヘクシテ久シク起ラサリシカ墨國政府ハ輸入防壁ノ目的ヲ以テ「キロ」十五錢ノ關稅ヲ外糖ニ掛ケタル以來本業ノ振興見ルヘキモノアリ墨國ハ今ヤ砂糖ノ輸出國タルノ地位ニ達シタリ去レハ我國ニ於テ墨國ヨリ粗製糖ヲ輸入スルヲ得ルノ時機ハ來ルヘシト考ヘラル

第八項 「チクル」護謨 (Chicle)

是レ一種ノ護謨ニシテ「チコガポット」(Chicogapote)ト稱スル樹ヨリ滲出ス此ノ護謨原料ハ「吸ヒ護謨」(Chewing-gum)ヲ造ルニ用ケラル、モノニシテ「吸ヒ護謨」ハ北米合衆國目下ノ流行ニシテ其原料ハスヘテ當國ヨリ輸出セラル當國ヨリ「チクル」ノ輸出高ハ百七十萬圓ニ及ヘリ内米國へハ百六十萬圓ヲ輸出ス

「チクル」護謨ノ外當國ニ産スル護謨ノ主要ナル種類「メスキテゴム」(Mesquite gum)及「コバル」樹脂 (Copal Resin) 等ナリ



第九項 「ヘネクエン」(Henequen)

ユカタン半島ノ特産ニシテ其産額三千七八百萬圓ニ及フ而シテ其輸出モ二千九百五十萬圓以上ニ達セリ(政府ハ收入ノ見込ヲ以テ一時「キロ」ニ錢ノ輸出税ヲ課セシモ今ハ廢止セリ)  
「ヘネクエン」ノ用途ハ其ノ纖維ヲ以テ帆綱ヲ造ルニ在リ而シテ敷物ニ造ルコトアルモ其量ハ少シ蓋シ其實固キ故ナリユカタン及カムベチエニハ大ナル製造場アリト云フ此植物ハ好シテ不毛ニシテ砂礫多キ土地ニ生ス灌溉及肥料ヲ須サス我臺灣ニ移植ヲ試ムヘキモノナリ

第十項 「イクスル」(extle)

是レ亦「タムピコ」纖維(Tampico fiber)ノ名ヲ以テ北米合衆國ニ廣ク輸出セラレ主トシテ紙ノ原料トシテ用キラル、モノナリ産額五百萬圓ニ及ヒ輸出三百七十萬圓ニ達ス重ニ輸出セララル、ハ米國ニシテ之ニ次クハ獨國ナリ

前項及本項ノ外墨國ニ産スル纖維ノ種類ハ多シ以テ我國ニ輸入シテ或ハ製紙原料ト爲シ或ハ漆器漆地ニ應用スルコトヲ得可シ

第五款 牧畜業

墨國ハ畜産國トシテハ今正ニ進歩ノ途中ニ在ルモノニシテ一般ニ云ヘハ産毛ハ一頭ニ付其量巨頗ル輕少ナレハ今ヤ英米ヨリ良種ヲ輸入シテ改良ヲ爲シツ、アルナリ

目下畜産業ノ最モ熾ナル地方ハ

- 1 Jalisco
- 2 Chihuahua
- 3 Guanajuato
- 4 Michoacan
- 5 Veracruz
- 6 Zacatecas
- 7 Yucatan



ニシテ主トシテ中央部ニ在リト雖モ北方國境ニ近キ所モ亦有望ナル家畜地帯ナリト云フ當國農商務省ハ一九〇二年ヲ以テ家畜統計表ヲ

作製セリ之レニ依レハ各種家畜ヲ合算シテ頭數千五百萬頭價額一億二千四百圓ナリ

墨國家畜ノ輸入ハ常ニ合衆國ヲ以テ其相手トスルモノニシテ普通種ヲ輸出シ改良種ヲ輸入スルモノナリ年々合衆國ニ對スル輸出ハ百萬頭ニ及ヘリ

生皮 多クハ合衆國ニ輸出セラル其額年々七八百萬圓以上ニ上ル最モ多ク輸出セラル、ハ羊皮ニシテ四百萬圓以上ニ達ス

家畜ノ國內消費ノ額モ少カラス最モ多ク屠殺セラル、ハ山羊ニシテ次ハ羊次ハ豚ナリ而シテ其數三百萬頭以上ニシテ價額六千萬圓以上ニシテ價額六千萬圓以上ニ達ス

一九〇五—六年ノ統計ニ依ルニ當國ヨリ織物用ノ毛ノ輸出ハ數フルニ足ラス而シテ其輸入ハ不淨羊毛



三二七、三八二圓精製羊毛七〇〇、七三七圓而シテ半精製羊毛五八、七〇六ナリ結局當國ヨリ日本へ羊毛ヲ輸出スルノ見込ハ絶テナシ

附錄  
墨西哥地誌一斑



# 墨西哥地誌一斑

## 位置境界

### 第一 位置と地勢

**位置** 此國ハ北ハ北米合衆國東ハ「メキシコ」灣並ニ「カリブ海南ハ英領」ホンヂユラス、「ガウテマラ」ノ中央「アメリカ」諸國及ヒ大西洋ニ面シ西ハ太平洋ニ臨ム  
 即南北ハ北緯十五度五十八分ヨリ三十三度五分ニ至リ東西ハ西經八十七度四十六分ヨリ百十七度五分ニ至ル  
 地域ハ本土ト下「カリホルニア」並ニ「ユカタン」ノ二半島トヨリ成ル  
 地勢 陸地ノ外貌ハ不規則ニシテ一定ナラズト雖概シテ高原多ク南北ノ最長ハ千九百二十五哩ニシテ東西ノ廣キ處ハ千五百哩ニ及フ數條ノ高キ山脈此國ヲ縱斷スカリホルニア半島ハ太平洋中ニ出ツルコト七百哩ニシテ幅ハ三哩ヨリ百五十哩ニ及フ  
 此國本土「カリホルニア」半島トノ間ニ「カリホルニア」アリ長サ七百哩幅最モ廣キ所ハ百五十哩ニシテ「コロラド」河ハ北米合衆國ヨリ南下シテ此灣ニ入ル此灣ハモト一帯ノ陸地ナリシカ地盤ノ陷落ニヨリテ此灣ヲ成セルモノ、如シト云フ  
 此國ハ一見山脈ノ隆起甚シキ觀アリト雖内地ハ六千尺乃至八千尺内外ノ高原ノ横ハルノミ此高原ノ成因ハ碎屑物ノ堆積(久シキ年月間斷ナキ堆積)ニ依リテ生シタルモノナリ

## 地域

高原ノ成因ノ重ナルモノ  
 一、山嶽ノ破壞ニヨリ碎屑物ノ堆積ニ成ルモノ  
 二、火山ノ噴出ニ成レルモノ  
 故ニ高原ノ處々ニハ山脈ノ破壞ニヨリテ生シタル堆積ノ横ハルヨ目撃シ得ヘク又處々ニ火山ノ噴出ニヨリテ生シタル高原地方モアリ之ヲ要スルニ此國ノ中央高原ハ造山力ニヨリテ構造セラレタルニアラスシテ此國中央ニ横ハル幾條ノ河谷ヲ填充堆積シタルヨリテ成リタルノ觀アリ、高原ノ東西兩翼ハ明カニ山脈ノ起原ヲ現ハシ東西ノ平野低地ニマテ陷落ノタメニ成レルニ條ノ大山脈城廓ノ如ク横ハレリ

シイラ||マドル||オリエンタル(東山脈)  
 シイラ||マドル||オクシデンタル(西山脈)

墨西哥地誌一斑



火山

本國ハ火山ノ數甚タ多ク此國最高ノ地點ハ火山ヨリ成レリ  
 最高ノモノハ星山ト稱ス(シタルテペトル)其高サ一萬八千二百五十六尺  
 次ハ輝線ト稱ス(ボボカテペトル)一萬七千五百二十尺次ハ白婦人ト稱ス(イクスタシファトル)一萬六千九百六十尺  
 其他一萬二千尺以上ノ火山七座アリテ此國ノ威嚴顯容ヲ保テリ而シテ此等ノ火山ハ大半休火山ニ屬ス  
 此國ノ雪線ハ約一萬五千尺ナレハ上記ノ三高山ハ四時白雪ヲ藏ケリ  
 輝線ハ「メキシコ」市ヨリ四十哩東ニ位シ山麓ナル「アマカミカ」市迄鐵道ノ便アリ幅一哩深サ一千尺ノ噴火口アリ山腹ノ下半部ハ松  
 柏科ノ植物繁茂スレトモ火山岩灰等黒砂ノ間ニ堆積セリ上半ハ樹木矮小雪線ニ入レハ氣温著シク低ク空氣ハ稀薄トナリ登山ニハ呼  
 吸切迫心臓ノ激動激シク甚タ困難ヲ覺ニト云フ頂上ノ大噴火口ハ實ニ偉大ナルモノニシテ現時熔岩ヲ噴出セサルモ硫黃性ノ臭氣ヲ噴出  
 スルコト夥シク、ヨリ出硫黃ハ品質優良ナルヲ以テ名高ク輸出亦多シ印度人ハ現ニ採掘ニ從事セリ

第一 河 湖

河川  
 此國ハ流レ洋々タル大川ニ乏シク隨ツテ舟楫ノ便アル河川亦少ナシ  
 北米合衆國ヨリ來リ此國ノ北部ヲ貫流シ「カリフォルニア」灣ニ注ク「グラント」河ノ如キモ亦舟楫ノ便大ナラス是レ此國ノ河川ハ乾  
 燥ノ時期ニ入レハ大小何レノ河川モ水流枯レテ河床ヲ現バシ一度降雨ノ時期ニ入レハ増水甚シク河川一時ニ汎濫シ急激流ト變スルヲ  
 以テナリ然レトモ兩岸ノ沃野ハ年々漸養醗成セラレ樹木ノ繁茂繁榮ノ豐潤ヲ助クコト大ナリ  
 此國湖澤ノ大ナルモノナシ其中著名ナルモノハ「チャバラ」ニシテ其他二三ノ小湖アリ何レモ風光明媚ナリ  
 六ノ湖水ノ盆地ハ「メキシコ」市及其附近一帶ノ曠野ヲ作レリ現時積水ヲ堆ヘテ古ノ面影ヲ存スルモノアリ第十六世紀西班牙人侵入ノ  
 當時「メキシコ」市ハ湖水ニヨリテ圍繞セラレタル幾多ノ小島ヨリ成レル市ナリキト云フ彼「フムホルト」(千七百六十九年生千八千  
 五十九年死)ノ此地ヲ探檢セシ時ハ「メキシコ」市ノ東方一哩ノ處ハ是等湖水ノ西畔ナリシト云フ  
 其後湖水漸ク縮少シ現時ハ市ノ東端ニ哩ノ處ニ湖水アリ平均深處ハ二尺内外ナリト云フ  
 此市ハ賑活盛ナルノミナラズ出口ナキ「メキシコ」市ノ下水ハ皆此湖中ニ流ル、ヲ以テ昔時ヨリ「マリア」病ノ流行夥シキニモ此地ハ海

氾濫  
排水工事

按七千餘尺ノ高度ニアルヲ以テ此種病氣ノ流行ヲ緩和スルニ足ルト雖其死亡率ハ千分ノ四十ニシテ文明國ノ都市中死亡率最高シト云  
 フ排水工事ハ市民ノ健康ト密接ノ關係アルヲ以テ應ニ三年工事ヲ創メ明治三十一年ニ完成ス其工事ノ宏大ナル長五十三哩ニ渡ル運河及  
 ヒ長サ六哩ニ及フ隧道ヲ開鑿シテ汚水ノ運搬清潔ヲ圖レリ

第二 氣 候

此國ノ暑熱ハ合衆國ノ中部及南部ノ暑熱ノ如ク、夏季ノ暑熱ハ北米合衆國ノ中部若クハ南部ホト暑カラス  
 夏季ノ暑熱ハ夏季ノ暑熱ノ如ク、夏季ノ暑熱ハ北米合衆國ノ中部若クハ南部ホト暑カラス  
 海岸一帶ハ海風來リテ夏ハ涼シク冬ハ暖カナリ  
 高原一帶ノ地ハ氣候一般ニ溫和ニシテ盛夏ノ時ト雖氣温華氏九十度以上ニ昇ルコト稀ニシテ嚴寒ノ候ト雖氷點以下ニ下ラズト「メキシ  
 コ」市ニ於テハ降雪スルコト稀ナリト云フ  
 然レトモ此國熱帶下ニ位スル海岸地方ハ濕潤ニシテ暑熱甚シク「ユカタン」半島ノ「メリダ」ニ於ケル最高氣温ハ華氏百〇五度ニ昇リ殆  
 シト察息スル程ニシテ不健康地ナリ  
 要スルニ本國ハ地勢上三帶ニ分チ得ヘシ

- 一、熱帶地方 海拔九百尺以下ノ平地
- 二、溫帶地方 海拔三千尺乃至五千尺ノ地
- 三、寒帶地方 海拔七千尺以上ノ地

此區分モ此國ノ南北西部ニ於テハ著シキ差異アリ此國ノ季節ハ二期ニ分ル乃チ

- 一、降雨期 五六月ノ交ヨリ十月若クハ十一月迄
- 二、乾燥期 十一月頃ヨリ翌年四月五月ノ交迄

降雨期  
 降雨期ニ入レハ休息ノ状態ニアリシ生物活氣ヲ呈シ此國ノ山川原野ノ風光歡喜悅樂ノ情ヲ語ルモノ、如シト云フ降雨期ノ終頂ニ達スレ  
 ハ毎日急雨降り續キ殊ニ午後二時ヨリ四時迄ハ最も激甚ナリ  
 乾燥期ニ入レハ殆ント降雨ナシ雨量最も多キハ此國ノ北部ニ位スル「ヌエボ、レオン」州ノ「モンテレー」市附近ニシテ平均一年間ノ

墨西哥地誌一斑







ル所草木  
繁茂ス

ヒコレリ其他草珍嘉木至ル所ニ繁茂シ彈性護膜樹無花果樹「アカシア」、紅木殊ニ多シ「ユカタン」半島ニハ「マンゲローヴ」ノ巨大ナルモノ茂生ス  
此國海拔四千五百尺乃至六千尺ノ内地ニハ一帯ニ常緑ノ樹類ノ樹木多ク六千尺以上ノ地ニハ松檜樅等ノ類多ク殊ニ樅類ノ森林ハ九千尺乃至一萬尺ノ山嶽ニ於テモ盛ニ繁茂セリ  
中央高原以南ノ石灰岩ノ伏在スル地方ニ於テハ七千五百尺ノ高地ニ於テモ椰子樹茂生ス南部ノ山嶽ニ於テハ六千尺ノ高地ニ於テモ椰子トシテ喬木ノ森林ヲ見ルコト珍ラシカラス

仙人掌

仙人掌ハ此國ノ高原地方一帯ニ生長スル一種ノ「サボテン」ニシテ此國ニ産スルモノハ功用多ク「ユカタン」半島ニ産スルモノハ殊ニ其種ナリ即チ其葉ハ長キ纖維ヨリ成ルヲ以テ其纖維ヲトリテ「ハンモック」ヲ造リ其他諸種ノ藥物網等ヲ製ス  
中部「メキシコ」ニ産スル仙人掌ハ最も大ナルモノニシテ地味不毛ナル懸崖絶壁或ハ殆ント土壤ナキ山脊ニ發生シ其根ハ深ク地中ニ至リ葉分ヲ吸收スル其大ナルモノハ四十尺乃至六十尺ニ達ス  
此國ニ生長スル仙人掌ニハ「コチニール」蟲寄生スルヲ以テ又「コチニールフイツツ」ト名ツク此蟲ハ貴キ洋紅ヲ分泌スル一種ノ益蟲ナリ

龍舌蘭

龍舌蘭ハ仙人掌ノ一種ニシテ「メキシコ」市附近ニ最も多ク産ス「ユカタン」亦有名ナル産地ナリ其葉ハ長サ十尺乃至十二尺ニシテ厚サハ五寸乃至八寸ナリ此等數葉ノ内部ニハ一種綠色ノ圓錐體様ノモノ附生ス成熟シタル龍舌蘭ノ圓錐狀ノ附著物ヲ切斷スルトキハ約五升ノ液汁ヲ生ス各一本ノ龍舌蘭ハ一個ノ是等附著物ヲ具備スルヲ以テ一本ノ龍舌蘭ハ之ヲ切斷スルトキハ約六ヶ月間繼續シテ數「パレー」(「パレー」ハ我カ七斗九升餘)ヲ出スト云々汁液ハ最初ハ美味ニシテ清泉ノ如シ數時間置クトキハヨク醗酵スルヲ以テ一日ノ中ビール性ノ酒類ヲ作ルヲ得ヘシコノ酒ハ國民一般普通ノ飲料トシテ用キラル、モノナリ

第五 動物

動物  
平地ハ南  
米ト同種ナ

此國ハ野生動物多シ平野ニ棲息スルモノハ南米諸國ト類ヲ同フスルモノニシテ高原地方ニハ合衆國ト同種ノモノ棲息セリ動物學上ヨリ言ヘハ本國ハ正シク遷移地方ト稱スルヲ得ヘシ

ニシテ高  
地ハ北米  
ト同種ナ  
リ

四足獸類中大ナルモノハ、狼、亞米利加虎、虎、野狸ノ類、食蟲獸、「ナマケモノ」等ニシテ北緯十九度以内ノ森林ニハ野狸多ク棲息ス野牛ハ嚴冬ノ候群ヲアシテ北西地方ヨリ來ル大熊ハ北部地方ニ棲ム各種ノ鳥類多ク高原ヲ旅行スル客ハ往々「モノマネドリ」ニ驚カサル、事アリ鸚鵡巨嘴鳥、蜂雀等ニ著名ナルモノナリ  
海牛ハ此國ノ東海岸ニ近キ澤湖ニ棲ム河ニハ鱈魚棲息セリ  
鮮明ナル紫色染料ヲ供給スル蠶虫貝屬ハ此國ノ兩海岸ニテ採取セラル  
昔時ハ「カリフォルニア」灣内ニ産シタル真珠貝モ有名ナリシカ現今其採取衰ヘタリ  
西海岸ニハ鯨、海豹類ノ來ルコト往々アリト云フ

第六 住民及沿革

本國ノ住民ハ三種類ニ分チ得ヘシ  
一、土人タル印度人ニシテ其種族甚タ多シ  
二、西班牙人竝ニ他ノ歐洲人ノ子孫  
三、十六世紀ニ西班牙人大西洋ヲ橫斷シ此國ニ侵入シ印度人ヲ征服シ此樂土ヲ占領セシ以來是等ノ西班牙人ト印度人トノ間ニ成レル混血種族

而シテ其割合ハ印度人ハ百分ノ三十八西班牙人竝ニ他ノ歐洲人ノ子孫ハ百分ノ十九混血種ハ百分ノ四十三ニシテ西班牙語ヲ用イ風俗習慣西班牙人ニ異ナルコトナク現時此種族最モ此國ノ勢力ヲ占ム  
千九百年(明治三十三年)ノ調査ニヨレハ人口ハ  
千三百六十萬五千九百十九人  
男六百七十一萬六千七人  
女六百八十三萬九千四百五十五人  
面積七十六萬七千方哩ナルヲ以テ一方哩ニ付十七人ノ割合ナリ



十九世紀ニ於ケル本國ノ人口ヲ調査スルニ土人ハ漸次減少ノ傾向ヲ示セリ

本國ノ印度人ハ大體ニ於テ平和ヲ愛シ勞働ニ從事シ德義ヲ重シシ人種的僻見殆ントナク他國人ニ對シ溫和親切ナリ

千五百十九年西班牙人「コルテツ」此國ニ侵入シ(後奈良大永元年)同二十一年全ク此國ヲ征服シ首府ヲ占領スルヤ之ヲ西班牙國ノ殖民地ト

シ新西班牙ト命名セリ其後三百年間西班牙ノ領土ナリシカ八百十年ニ至リ「ピタルゴ」革命軍ヲ起セリ

千八百二十一年(仁孝文政四年)「イタービド」革命軍ヲ起シ西班牙代官ヲ國外ニ放逐シ本國ヨリ獨立シ帝國トナリシモ二三年ニシテ合

衆國ニ倣ヒ共和制ヲ布ケリ

千八百三十六年「デキカス」洲ハ本國ヨリ分離シテ合衆國ニ入ル

千八百四十六年ヨリ同四十七年迄弘化三年ヨリ四年北米合衆國ト戦端ヲ開キ尙後政變激甚ヲ極メ遂ニ外國ノ干渉ヲ來シ千八百六十三

年ニ至リ佛國皇帝「ナポレオン」三世ハ軍隊ヲシテ本國ヲ侵サシメ共和政ヲ廢シ帝政ノ創立ヲ宣言シ埃國皇帝ノ弟「マキシミアン」大公

ヲシテ皇帝トナセリ翌年大公親シク本國ニ來リテ君臨セリ

是ニ於テ米國ハ「モンロー」主義ヲ唱導シテ「ナポレオン」ノ政策ヲ攻撃シケレハ「ナポレオン」ハ遂ニ撤兵ノ止ムナキニ至リ「マキシミ

リアン」皇帝ハ終ニ統殺セラレ再ヒ共和制トナリ(慶應三年)今日ニ至ル

本國ノ政治ハ北米合衆國ニ則リ聯邦共和制ニシテ二十七州ニ地方及一聯合區ヲ以テ政治區域トス行政權ハ大統領之ヲ司リ立法權ハ國會

ニアリ國會ハ元老院及下院ヨリ成リ元老院議員ハ各州ヨリ二名ツ、出スナリ

左ニ住民及沿革等ニ關スル荒川公使ノ談話ヲ抄録ス

サテ「メキシコ」ノ事ハ四世紀アタリニ知ラレテ居ル様ナリアマス其時ノ人種ハ「トルテツク」人種ト書イテアリマスカ其人種ハト

チラノ方カラ來タモノカサツバリ分リマセメサウ云フ者カ隨分水イ間「メキシコ」ヲ占領シテ居ツタ彼等ノ持ツテ來タ文明ハ埃及ノ

文明ヲ輸入シテ居ルトウシテ埃及ノ文明ヲ輸入シテ居ルカソレハ未タ研究中テアリマシ是ハ今晩御列席ノ坪井博士ナトカ御イテニナ

ツテ御研究ニナツタラハ大ニ御發見ニナルコトト思ツテ居リマシ同市ノ博物館ニ昔ノ石器カ大變集マツテ居リマスカ近頃發見ニナ

云フ學識カ無イカラ如何ナル利益ヲ與ヘルカト云フコトハ御話カ出來ナイ現ニ漸ク此頃テアリマシ何年前テアリマスカ近頃發見ニナ

再ヒ共和

制トナル

ナポレオ

ン三世ノ

干渉

政體

ツタ「ピラミツド」カアリマシ其「ピラミツド」ハ「メキシコ」ノ都市カラ鐵道ヲ滿ク二時間クラキテ行ケル所テソレヲ政府ノ力ヲ用キテ  
政府ノ物トシテ發掘シテ居リマスカ嚴重ニシテ誰ニ拘ラス此土地ニ在ル物ヲ取ツテハナラヌト云フコトニシテアル種々珍シイ物カ  
出マスソレニ依ツテ見ルト埃及ノ「ピラミツド」ニ於テ見ルヘキ物ト同シテアリマシトウシテ此埃及ノ文明ヲ持ツテ來タモノカ誰モ  
分ラナイト云フ譯テ四世紀アタリカラ知ラレテ居リマシソレカラ十四世紀アタリマテ矢張り「トルテツク」人種カ蔓ツテ居ツタ様テ  
アリマスカ「アステツク」人種ト云フノカアル是ハモウ一層「トルテツク」人種ヨリエライ人種ノ様テ是カ帝國ヲ建テ、其ノ他ニ今  
マテ在ツタ王國カ深山アツテ其上ニ帝王トシテ「メキシコ」ニ都ヲ建テ、居ツタト云フコトテアリマスカ其帝王カ詰リ西班牙カラ取  
ラレルマテノ帝王テ其時ノ帝王ハ「モンテズマ」ト云フ人テアリマシ其人ノ時代ニハ非常ナ文明ヲ成シテ居ツタト見エマシ又大層發  
掘モシタモノト見エル戦ヲスル時ニ帝王ノ用キル槍ヲ防シ物カアルソレナトモ銀テ造ツテアルソレカラ毎晩ノ食事ニ金ノ皿ヲ用キタ  
ト云ヒマス

ソレカラ此「メキシコ」ノ位置カ大西洋ト太平洋ノ殆ト真中クラキニアツテ鐵口少シ太平洋ノ方ニ寄ツタ位置ニアル一最近イ所カ  
大西洋ノ「ベラクルス」ト云フ所此「ベラクルス」ト云フ所カラ鐵道ヲ行キマシト十五六時間モ掛ルカラ歩イタ距離ハ大變ナモノテ  
四百哩内外ノ距離テアラウト思ヒマスソレヲ毎日鮮ラシイ魚ヲ都府ニ持込シタト云フコトカ書イテアリマシトウシテ熱イ國テ魚ヲ腐  
ラセスニ持ツテ來タカト云フコトヲ調ヘテ見ルト人ヲズツト立タセテサウシテ手カラ手ニ魚ヲ渡シタト云フコトテアリマシ郵便ナト  
モサウ云フ様ナ状態テ以テ運シテ盛ニ其帝國ハヤツテ居ツタ所カ千五百十八九年ノ頃西班牙カヤツテ來タ「キユバ」方カラヤツテ來  
タ「キユバ」ハ既ニ其前ニ西班牙カ取ツタ「キユバ」ノ方カラ西班牙ノ總督カ航海中風ノ工合ニ依ツテ「メキシコ」ノ一ツノ港ニ寄  
セラレタト云フコトテソレカラ以テ「メキシコ」ヲ多少研究シテ來テ戦ヲヤツテ見タガ負ケタ又其後續イテ戦ヲシタ愈々千五百十九  
年ト思ツテ居リマシカ其時「コルテス」ト云フ人カ行ツタ其コルテスト云フ人カ征服シタノテ是ハナカナカエライ將軍テ且ツ外交官  
テアツタ詰リ西班牙カ兵ヲ幾ラ用キタ分ラナイカ極少數ノ兵ヲ用キテ居ルドウシテ此大帝國ヲ亡シタカト思フト「モンテズマ」ト  
云フ帝王ノ下ニ幾ツモ王國カアル其王ヲ外交上テ「アンパツサドル」ヲ以テ動かシテサウシテ自ラ西班牙ノ兵ヲ以テ之ヲ伐ツタト云  
フコトカ事實テアル様テアリマシ先ツサウ云フ成立チテアリマシ



ソレカラ今ノ千五百十九年二十年頃カラ後來年カ「メキシコ」ノ獨立百年目テコイマスカ其百年前マテハ西班牙ノ領分テ西班牙ノ總督ヲ以テ政治ヲヤツテ居リマシタ其今「コルテス」ト云フ人カ征服シテ以來「メキシコ」ノ物産モ非常ニ増シテ來タ其「メキシコ」ノ例トシテ砂糖カ今日ハ「メキシコ」ニ限ラヌ南米モ到ル所熱イ土地ハ砂糖ヲ製スルコトカ非常ニ盛テアル其砂糖ヲ製スルコトハ其時分ニハ無カツタ其砂糖ヲ製スルコトハ「メキシコ」ヲ取ツテ以來馬ヲ繁殖セテ西班牙「メキシコ」ヲ征伐スル時最モ「メキシコ」人カ戰ニ負ケタ所以ハ誠ニオカシナ話テアリマスケレトモ斯ウ云フコトカアリマス西班牙カ騎兵ヲ用テテ「メキシコ」人ハ馬ヲ見タコトカ無イカラ頭ハ人間テ下ハ動物テアル是ハ「メキシコ」ノ帝王ノ虐政ヲ天カ罰スル天罰ヲ蒙ル時テアルト云ツテ非常ニ恐怖心ヲ一般ニ起シタソレテ騎兵ヲ見テハスシテ逃ケテ散々ニ破レタト云フコトモアルクラキテアルカラ馬ハ無カツタ馬ハ「コルテス」カ持ツテ歸ツテ來タ即チ西班牙カ征服シタ以來ノコト砂糖モ其通リソコテ「メキシコ」ノ物産ハ天然ノ物産ハ御承知テアリマセウカ鐵產テ金銀ヲ初メトシテ銅テアラウカ鐵テアラウカ石灰テアラウカ石油テアラウカ有ラユル礦物ニ富ンデ居ル此金銀ノ採掘ハ餘ホト古イモノテ即チ西班牙カ領シテ以來盛ニヤツテ居ルソコテ「メキシコ」ノ物産ハ御承知テアリマセウカ「メキシコ」ハ金貨本位テ其金ハ自國カトシテ用キラレテ居ルクラキモノテアル其クラキ銀カ澤山出タ又今モ出テ居ル金モ其通リ「メキシコ」ハ金貨本位テ其金ハ自國カラドク採掘シテ居リマス礦物カ第一ノ天然產物テソレカラ砂糖是ハ先刻申シタ通り「カナリ」カラ輸入シテ盛ニヤツテ居ルソレカラ「ハネケン」(麻芋ノ一種)是ハ何處ノ國ニモ無イヤウトモノテ非常ニ強イモノテアリマス是ハ大變「メキシコ」ノ貿易上ノ重ナル物産テアリマシテ今日ハ未タ日本ニハ來マセウカ亞米利加ノ方ニ出シテ殆ト三萬四千萬圓ノ輸出ヲシテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス此方面ニモ矢張り日本ノ勞働家ナトヲ入レヤウト圖ツタコトモアルカ其地方ハ「ユカタ」ト云フ所テアツテ尤モ今日ニ及ンテモ疫病ノ憂カアルカラ不健康ノ土地テアルソレタカラ日本政府ハヤラヌ所カ朝鮮人ヲ送リマシタ是ハ四年カ五年前登千人送ツタノカ今ハ七百人殘ツテ居ル是ナトモ「ハネケン」ニ從事シテ居ル段々人カ殖エサヘスレハ物産ハズンノ殖エテ行ク奈何セン廣イ割合ニ人口カ少ナイ固ヨリ統計カ精細テナイカラ幾ラト云フコトヲハツキリ言フ譯ニハ行キマセウカ人ノ言フ所ニ依レハ千五六百萬人テ其内漸ク二百萬人位カ西班牙人種——白人種他ハ間ノ子又ハ土人カ多數ヲ占メテ居ツテ九百萬八千ハ土人テアルト云ツテ居

ル土人ハ先キニ申シタ「トルテック」人種モ居リマセウ「アステック」人種モ居リマセウ種々違ツタ人種モ居ルソレテアリマセウカ私ナトカ見リト日本人ト餘程似テ居ル鐵道ヲ造ツテ居ル工夫カ日本人ト一絲ニヤツテ居ルカトレカ日本人トレカ土人カ分ラナイ竹格ト云ヒ矢張り穿物ハ草鞋テアリマス旁々「メキシコ」人ハ「メキシコ」ノ元來ノ土人ハ日本カラ來タモノテハナイカト斯ウ言フ日本人カラ言ツタラ日本人ハ「メキシコ」カラ來タモノテハナイカト言フカモ知レヌソコハ我々ニハ判斷カ出來ナイカソコハ坪井サンカ御イテニナツタラハ御研究カ出來ルト斯ウ思フ

ソレテ大體國ノ有様ト國ノ建設ノ由來ソレト物産ハトシテノカト云フコトヲ御話申シタ之ヲ開發スルニ付キマシテ第一ニ要スルモノハ鐵道テアリマスソコテ三十年コノ方現大統領ノ「ゼネラルデヤス」ト云フ人カ非常ニ豪傑テ非常ニ政治家テアツテ私ハ非常ニ感服シテ居ル此人カ大統領ニナツテ以來非常ニ通信運搬ノ方法ニ力ヲ盡シテソレマテハ合衆國ノ資本ヲ以テハ恐シイ大キナ國強イ國テアルカフ成ルヘク鐵道ヲ造ラヌヤウト云フコトニシテ居ツタカ現大統領ハ非常ニ大膽ナ人テ先見ノ明カアルカラ構ハナイ彼カ利用スレハ此方モ利用スルト云フ覺悟テアツタト見エテ勝手ニヤレト云フコトニシタソコテドク「亞米利加人カ資本ヲ下ロシテ鐵道ヲ造リ今ヤ既ニ一萬哩以上ニ達シテ尙ホ續々進行シテ居ル此鐵道ノ運搬カ第一進ンテ居ル如何ニ物産カアツテモ運搬カ無ケレハ逆モイケルモノテナイ例ヘハ南米ナラハ南米ハ國カ廣イ物産ニ富ンテ居ルト云ツテモ交通ノ便カ無ケレハ如何ニ寶カアツテモ運フコトカ出來トイ「メキシコ」ハ既ニサウ云フ風ニ進ンテ鐵道モ出來盛ニ港ヲ築イテ居ル其港ノ中テ太平洋岸ノ方カ今マテハ甚タイケナカツタカ漸ク三年前ニ至ツテ其ナツタ其太平洋岸ノ「サリナクル」マンサニヨト云フ此二港ニ日本ノ船ヲ入レルコトニシタ「サリナクル」ハドウ云フ所カト云フ「メキシコ」ノ大陸ノ極狭イ所「サリナクル」ト大西洋岸ノ方ノ土地ノ名テ「コアチヤコアコレ」此間ニ鐵道ヲ造ツタ是カ殆ト二百五十哩モアリマセウカ鐵道行キマスト八時間クラキテ行ク大西洋ノ方カラ來ル物ハ「コチヤコアコレ」カラ鐵道テ以テ太平洋岸ノ方ニ送ツテ日本ニ持ツテ來ル南米ニモ持ツテ行ケルハ中米ニモ持ツテ行ケル此航路ハ非常ニ肝要ナ點テアリマス此太平洋岸ノ方ニ亞米利加ノ東海岸ノ方カラ來ル東ノ海岸カラ西ノ海岸ニ長イ鐵道ヲ持ツテ行クト運賃ハ莫大ナモノ船テ持ツテ來ルト廉イ故ニ此鐵道ハ此目的テ出來タ即チ謂ハユル世界的ノ航路テアル世界ノ設計テアル日本ハソレヲ利用シテ航路ヲ開イタ是ハ大切ナ航路テニ依ツテ將來貿易モ發達スルテアラウ從ツテ人サヘアレハ幾ラテモ天然產物カアルカラ開發スルコトカ



出來ル如何ニ開發シテモ貨物カ無ケレハ何ニモナラナイコレ此航路カ出來レハ非常ニ日墨ノ貿易ノ  
ミナラス亞米利加ノ或ル部分或ハ歐羅巴カラテモ「スエズ」ヲ廻リヨリモ此方ヲ廻ツテ來ルサウ云フ希望ヲ有ツテ居ルソレカラ砂糖  
ノ方ハ是ハモウ「メキシコ」ノ金持ノ人ハ皆日本テ云ヒマス別荘ノ様ナルモノヲ有ツテ居ル幾ラテモ土地カアルカラ大キナ土地ヲ有  
ツテ居ルソレニ先ツ今ノ砂糖黍ヲ植付ケテサウシテ重モニ砂糖ソレカラ玉蜀黍ナトノ農産物ヲ盛ニシテ居ル是モ今マテハ「メキシ  
コ」タケノ需要テアツタカ是カツ鐵道カ出來同潤ノ便カ開ケテ來ルトキハ外國ノ方ニ賣レルカラ多ク益々積殖スルニ違ヒナイと思フ  
此今ノ農園ニ雇入レル爲ニ日本ノ移民ヲ入レ讓山ニ雇フ爲ニ日本ノ移民ヲ入レタ是カトツチカト云フト殘念ナカラ甚タ不結果ニ終ツ  
テ居ル移民ノ事ハ今夜御話イタシマセヌ物産ハトウ云フモノテアル斯ウ云フモノテアルト云フコトハソレテ以テ御承知下サイ

第七 宗教風俗

此國ハ至ル所教會堂カ建テラレ國民ノ大多數ハ「ローマ」天主教ヲ信仰ス近頃遠教會堂ハ多クノ財產ヲ有シ民治上非常ノ勢力ヲ振ヒシカ  
政府ハ幾分ノ教會堂ヲ沒收シテ或ハ附屬ノ建物ヲ學校等ニ代用シ或ハ工場ホテル等ニ利用シタルヲ以テ以前ノ勢力ヲ失フニ至レリ  
此國人ハ乾燥期ニハ正午ニ店ヲ閉チ午後三時迄遊食笑話午睡等ニ費シ三時ヨリ又開店シ各自ノ業務ニ從事スルコト他ノ熱帶地方ノ人民  
ト同シ

此國風ノ支配者

可憐ナル  
ビオン族

ビオンノ  
婦人

是等ノ勞動者ハ負債ニヨラサレハ生活スル能ハサル可憐ノ民族ニシテ通常「ビオン」ト呼フ「ビオン」トハ借金ノ補償トシテ債主ニ僕事  
スルモノ「彼等ノ生計狀態ハ實ニ見ルニ堪エヌト云フ  
「ビオン」ノ男子ハ通常身ニ白キ木綿シャツ及ヒ「ゾボン」ヲ穿チ足ニハ粗末ナル履ヲ穿ツ頭ニハ廣キ緑ノ帽ヲ被リ肩ニハ毛布ヲ纏ヘリ  
「ビオン」ノ婦人ハ通常洗足ニシテ頭ニ何モ戴カス綿製ノ衣服ヲ纏ヒ時トシテハ肩掛ヲ身邊ニ著ク此等ノ「ビオン」ハ野菜鶏卵其他ノ物品  
ヲ彼等居住ノ村落ヨリ程近キ市ニ持チ來リ販賣スルヲ常トス  
國人ノ大多數ハ玉蜀黍ヲ常食トス「ビオン」ノ婦人ハ玉蜀黍ノ調理法トシテ先ツ石灰水ニ浸シテ柔カニシ後チ之レヲ粉末トナシ之ヲ捏

玉蜀黍ヲ  
常食トス

黑豆モ亦  
常食ノ一  
ナリ

粉トナシ火ニ煮リテ麹類(パン)様ノモノトナス之ヲ彼等ハ「トナラ」ト名ツケ常食トナス味美ナリ「ビオン」ハ「バター」ヲ用ヒス限  
ニ鹽又ハ赤胡椒ヲ用ヒテ調味ス

此國人ノ常食ノ一トシテ用フルハ黑豆豆ニシテ國人ハ「フリオル」ト云フ此國貴賤貧富ヲ問ハス何レノ階級モ好シテ食用ス即食事ノ終  
リニ黑豆ノ皿ノ出ツルハ此國普通ノ慣習ナリ又此國人ノ嗜好スルハ「チヨコレート」ナリ

第八 都市

此國ノ都市ハ風光美シキ山ニヨリテ圍繞セラレ流清キ河畔ニ立ツヲ常トス  
首府「メキシコ」モ此例ニ漏レズ「ボボガベトル」及白婦人ト名ツケルニ大噴火山ハ四時白雲ノ王冠ヲ戴キテ首府ヲ飾レリ平原ニハ處處ニ  
綠林アリテ其間ニ鏡面ノ如キ湖澤散在シ日光之ニ映スルトキハ光景ノ美言語ニ絶スト云フ「メキシコ」河ハ市ノ附近ヲ流ル  
市街ノ建物ハ歐米風ナリ此國人ハ河水ヲ利用シテ洗濯スル風大ニ行ハレ高キ建物少ナク大抵三階位ナリ屋上ニハ物乾場ヲ設クルモノ多  
シ富有者ノ邸宅ニハ庭園花園ノ設アルヲ以テ花木草木ノ茂生スルヲ見ル「フラザ」ニハ毎夕樂隊ノ演奏スルアリ都人士ハ樹園ニ逍遙シ  
之ヲ聽キ以テ一日ノ鬱ヲ慰スルナリ中央教會堂附近ノ「フラザ」ノ側ニ「ナシヨナルパレス」アリ此國々會議事堂其他政府官衙等ノ建  
物多シ

メキシコ  
附近ノ美  
麗平原

第九 産業

本國ハ礦物ニ富ミ探採ノ盛ナルコト國名ト共ニ何人ノ臆畏ニモ浮フ程ニシテ銀銅金水銀鉛鐵白金硫磺等ヲ産セリ  
銀ノ一年間ノ採掘額ハ平均一億三三萬圓ニシテ金ハ一十萬圓乃至千二百萬圓ナリ

銀礦ノ產地トシテ有名ナルモノハ此國中央高原ニ位スル「サカテカス」「グアナチユアト」「カトリス」ノ地方ニシテ蛋白石ハ中央高原ニ位  
スル「クウエレタロ」地方ニ於テ採掘セラレ絨氈瑪瑙ハ同シ中央高原ニ位スル「アエブラ」地方ニ於テ盛ニ採掘セラレ海外ニ輸出セラ  
ル

要スルニ此國ハ銀產地ニシテ「コロンブス」ノ「アメリカ」發見以來銀礦大ニ發見セラレ世界ノ市場ニ供給シタルコトノ大ナル他ニ殆  
ニ

墨西哥地誌一覽

礦物ノ探採  
高時探採  
現時探採  
金銀ノ探採  
數千以上  
ニシテ比上  
スルモノ  
ヲ超ス

首府メキ  
シコ  
北緯十九  
度西經九  
十分四九  
分海抜七  
千九百尺  
位ス  
メキシコ  
附近ノ美  
麗平原

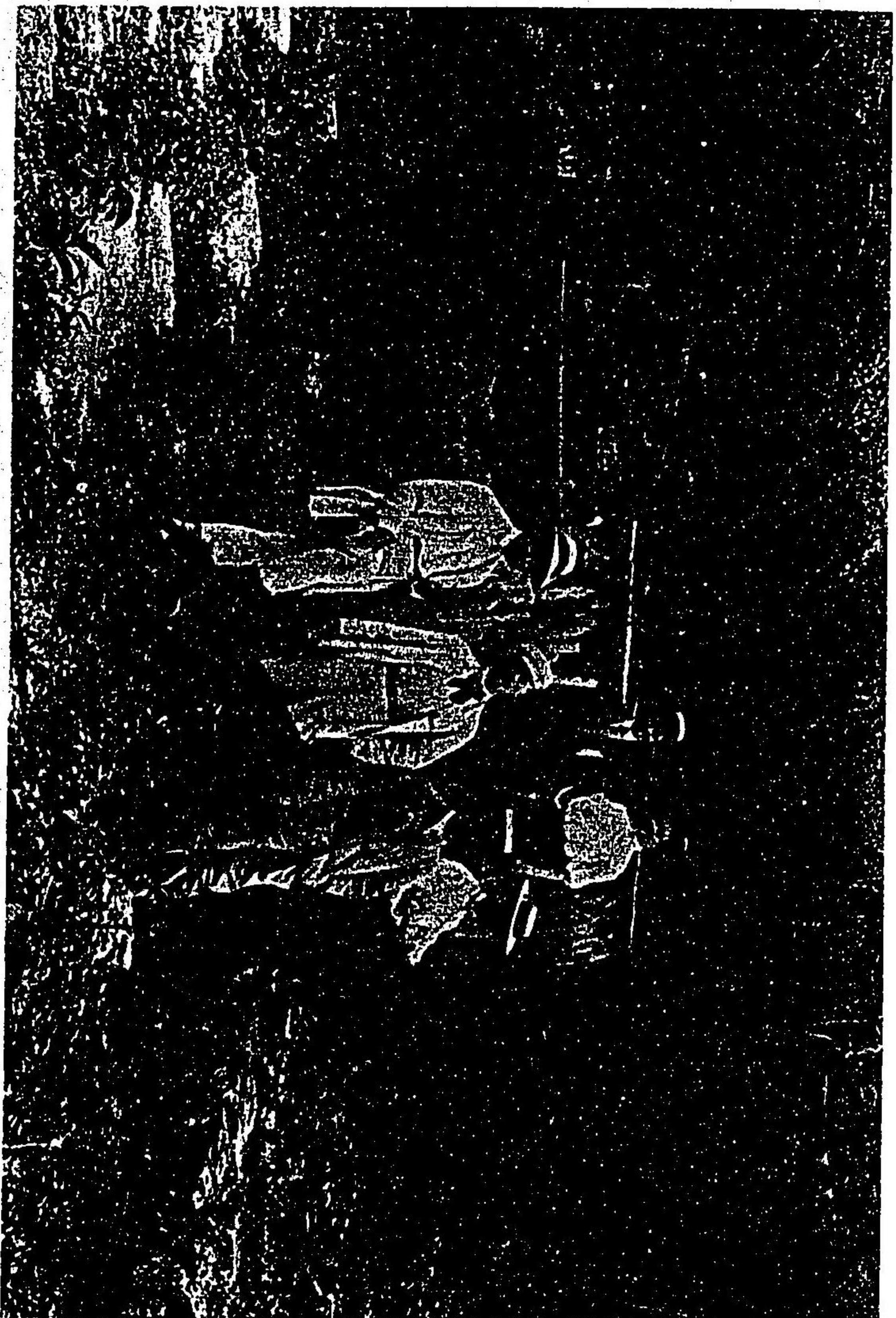






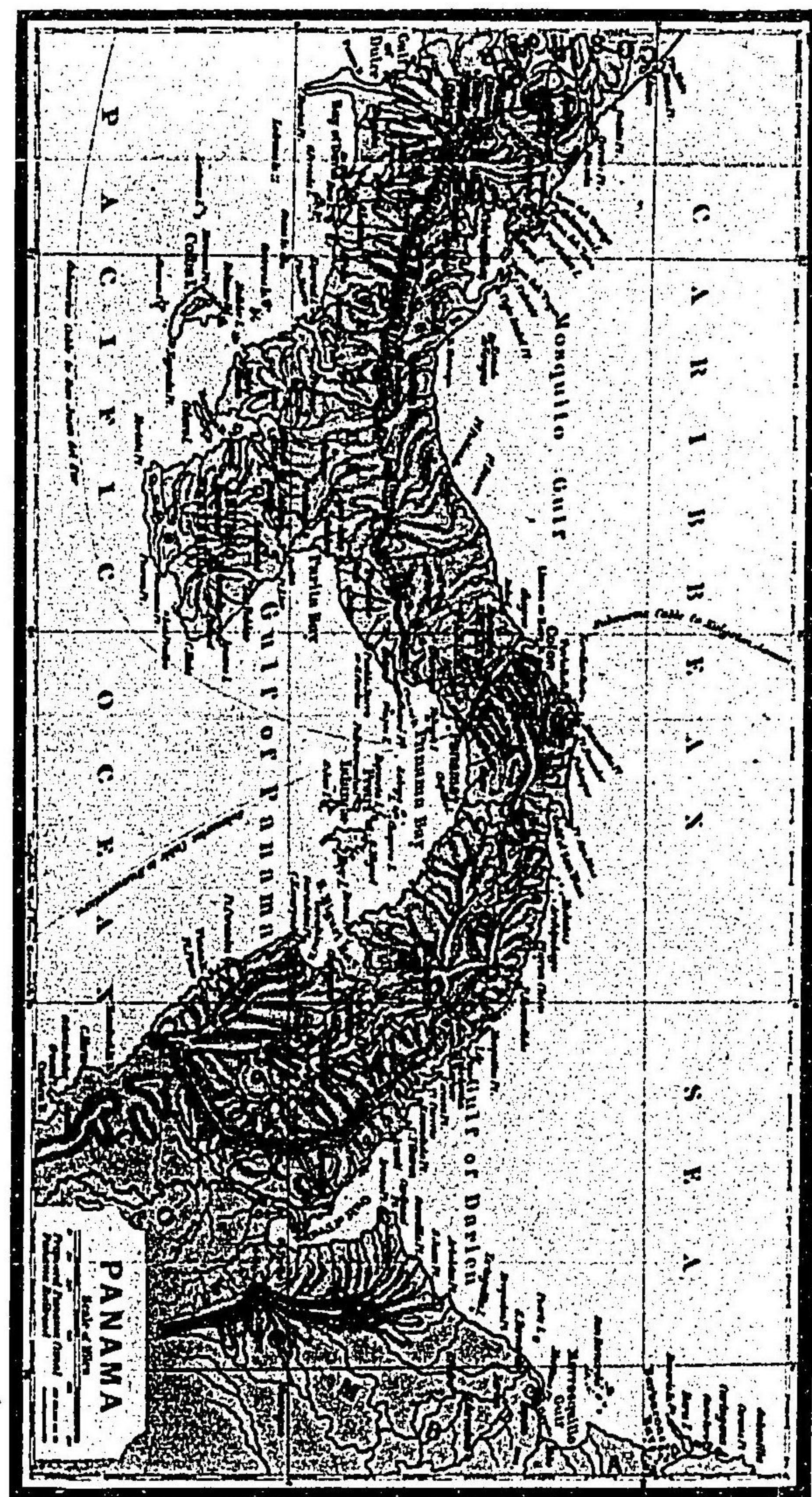
第三篇 巴奈馬





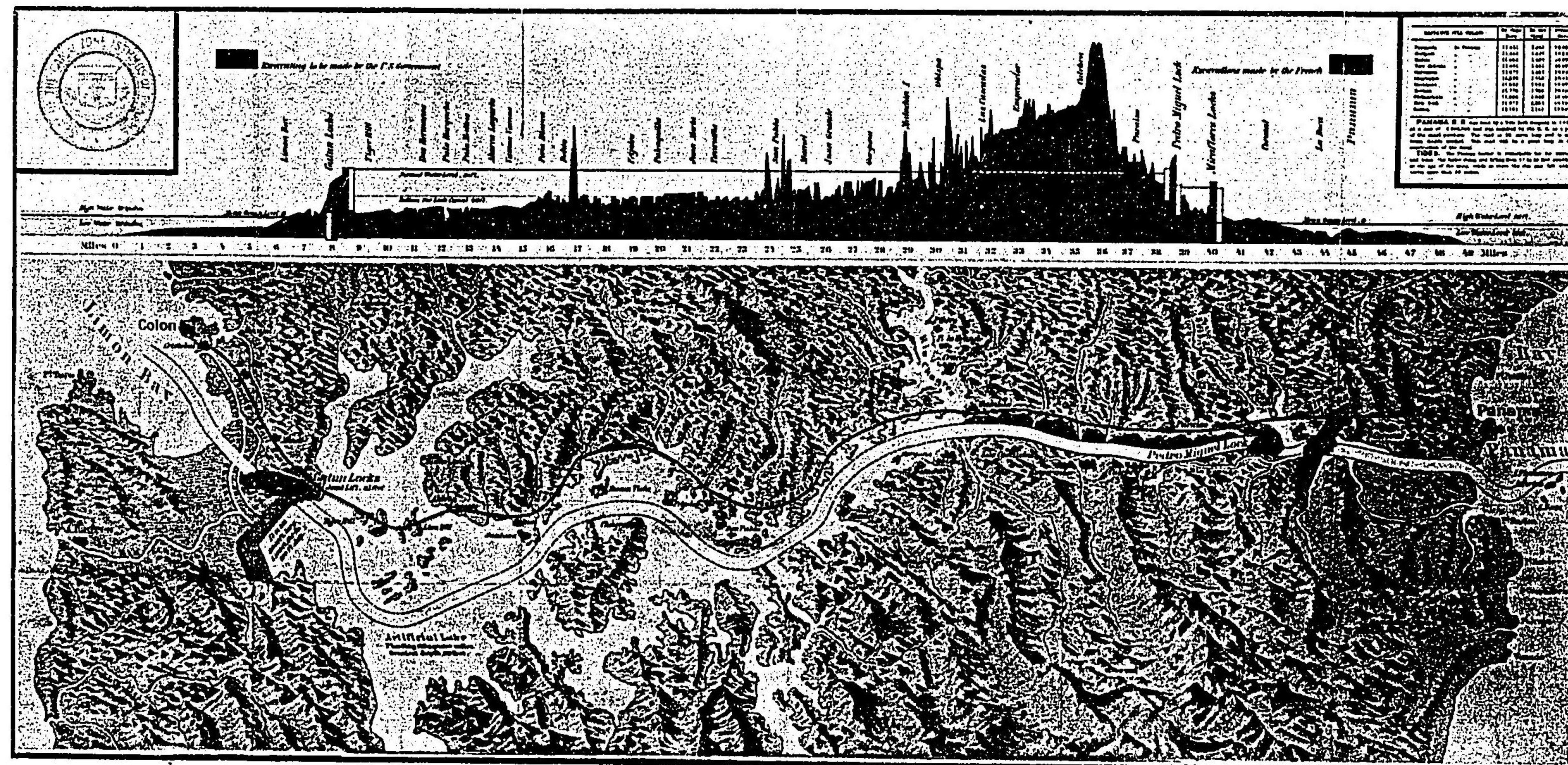
西班牙佔領時代之馬塞殘墟





巴 奈 馬 全 圖





リナノモルタレラセ鑿開ニ既ハ分部キ黒テシニ面斷横ノ峽地馬奈巴ハ圖ノ部上  
 リナノモルタシ瞰下ヲ峽地ハ圖ノ部下



目次

第三篇 巴奈馬……………一三三

第一章 巴奈馬運河開鑿進行ノ現狀……………一三三

第二章 開鑿設計ノ概要……………一四七

第三章 世界ノ運河ニ於ケル巴奈馬運河ノ位置……………一五〇

第四章 運河開鑿事業ノ沿革略……………一五二

第五章 巴奈馬共和國……………一五三

第六章 巴奈馬共和國ニ對スル米國ノ勢力……………一五五

第七章 運河開鑿ノ影響附開通後ノ哩程表……………一五八

附 錄

巴奈馬地誌一斑……………一六五

第一 位置地勢……………一六五

第二 地方誌……………一六五

目次



第三	鐵道	一六七
第四	運河	一六七
第五	氣候	一六九
第六	産物	一七九
第七	沿革	一八〇
第八	政體	一八〇

## 第三篇 巴奈馬

### 第一章 巴奈馬運河開鑿進行ノ現状

巴奈馬開鑿ノ事業ハ明治四十一年六月一日迄ニ於テ左ノ如キ進行經過ヲトリタリ

開鑿セラルヘキ土地ノ總平方「ヤード」

八〇、六九八、二四八

同日迄ニ開鑿セラレタル土地ノ分量

四一、〇四五、四二六

内譯

(1) 佛人ノ開鑿シタル分

二二、六〇〇、〇〇〇

(2) 米人

一八、四四五、四二六

即チ地峽開鑿工事ハ既ニ其大半ヲ了シタルモノニシテ既ニ開鑿セラレタル分ノ中其大半ハ佛國人ノ事業ニ屬スルモノナルコトヲ知ルヘシ(佛國人ノ事業ニ付テハ沿革ノ章參照) 去年ニ於ケル功程ハ一ヶ月ニ九三二、六二四平方「ヤード」ヲ開鑿シタルヲ以テ此比例ヲ以テ將來ヲ推ストキハ三ヶ年ト七ヶ月ヲ以テ開鑿ヲ了ルヘシ

然レトモ巴奈馬地峽ノ開通ハ開鑿ノ完成ト同時ニ成ルモノニ非ス何トナレハ同地峽ハスエス地峽トハ異リ所謂 Lock Canal (水開運河)ニシテ運河ノ地域ハ水平線ヨリ高キコト四〇「フヒート」チレハ海上ノ水平線ニ在ル船舶ハ水壓ヲ用テ之ヲ少クトモ四〇「フヒート」ノ高キニ上ケサルヘカラス而シテ此